

# 長江浦地区遺跡群

霧島演習場周辺農業用施設設置助成事業長江  
浦地区圃場整備事業に伴う発掘調査報告書

## 本文 編

- 内丸遺跡
- 弁財天遺跡
- 馬場田遺跡
- 水流遺跡
- 役所田遺跡
- 小路下遺跡
- 浜川原遺跡

2002

宮崎県えびの市教育委員会

# 長江浦地区遺跡群

霧島演習場周辺農業用施設設置助成事業長江  
浦地区圃場整備事業に伴う発掘調査報告書

## 本文編

うちまる 遺跡  
内丸遺跡  
べんさいでん 遺跡  
弁財天遺跡  
ばばだ 馬場田遺跡  
つる 水流遺跡  
やくしょでん 遺跡  
役所田遺跡  
おろのした 小路下遺跡  
はまかわばる 浜川原遺跡

## 序

えびの市は、宮崎県の南西場に位置し、北の九州山地と南の霧島山系に囲まれた狭長な盆地であります。県内で唯一西へ流れる川内川は盆地中央を蛇行し、大小20あまりの小河川が合流しています。河岸段丘は発達し、段丘面の殆どは周知の遺跡であり、当地が日向・肥後・薩摩の分岐点にあたることから、古くから様々な文化、文物が混交した独特の地域として発展してきました。

標高1700mを測る韓国岳を主峰とする霧島山系は大量の雨水をもたらし、市内各所にある豊富な湧水や小河川は、幾多の生命を育んできました。また、寒暖の差が大きいために農産物は良質で、特に米は、古くから真幸米として名を馳せていました。

平成元年度、防衛庁補助による長江浦地区の圃場整備事業が採択されましたが内丸遺跡が周知の遺跡として工区内に存在していました。工事に先行して県文化課が試掘調査を実施したところ、新たに6ヶ所の遺跡も発見し、記録保存の措置をとりました。

本書は、平成2年度に調査した内丸・馬場田（1次）・弁財天遺跡、平成3年度に調査した馬場田（2次）・水流遺跡、平成4年度に調査した役所田・小路下遺跡、さらには平成11年度に調査した浜川原遺跡、計7遺跡の発掘調査報告書であります。

長江川と弁財天・浜川原の湧水を根幹とし、氾濫原を開拓してきた人々や、それ以前の縄文時代後晩期の膨大な遺物を残した人々の歴史が明らかになりました。

本書が学術資料としてだけでなく、生涯教育や学校教育の場で活用され、埋蔵文化財の保護に対する理解と認識が深まれば幸いです。

なお、調査にあたりご指導・ご協力いただいた諸先生方や県文化課諸氏、調査に対してご理解ご協力いただいた西諸県農林振興局・県土地改良・工事関係者ならびに地権者・耕作者の諸氏、発掘作業・整理作業に従事していただいた作業員の方々に対しまして厚く御礼申し上げます。

平成14年3月

えびの市教育委員会

教育長 松 田 忠 信

## 例　　言

1. 本書は、平成2～4年度および11年度に実施した、霧島演習場周辺農業用施設設置助成事業長江浦地区圃場整備事業に伴う内丸遺跡・弁財天遺跡・馬場田遺跡・水流遺跡・役所田遺跡・小路下遺跡・浜川原遺跡の発掘調査報告書である。
2. 調査はえびの市教育委員会が主体となり、内丸遺跡は平成2年9月17日から11月6日までと、平成3年1月7日から2月1日まで、弁財天遺跡は平成2年11月1日から平成3年1月23日まで、馬場田遺跡は同年2月1日から3月27日までと、10月14日から12月20日まで、水流遺跡は12月9日から平成4年1月28日まで、役所田遺跡は平成4年10月25日から11月16日まで、小路下遺跡は同年11月9日から平成5年1月30日まで、浜川原遺跡は平成11年6月25日から11月27日まで実施した。
3. 本報告作成のための整理作業は、平成12・13年度に実施した。
4. 馬場田遺跡の調査の一部は、県文化課の東・飯田両氏に御協力いただき、水流遺跡については、対象地全域を飯田氏に調査していただいた。
5. 本書掲載の遺構は、S A：竪穴住居・竪穴状遺構、S B：堀立柱建物跡、S K：土坑・土壙墓、S D：溝状遺構、S X：自然流路、S Z：用途不明、として略している。
6. 掃図記載の方位は、国土座標軸の北方位である。
7. 浜川原遺跡は、(株)スカイサーバイに航空測量を委託し、遺構の全体図を作成した。
8. 遺構の写真記録は担当調査員が、出土遺物の写真撮影は中野がおこなった。
9. 本書の第9章の執筆は本市教育委員会の東が、その他の執筆と編集は中野がおこなった。
10. 調査の関連資料および出土遺物は、えびの市歴史民俗資料館に保管、一部展示している。

## 調査組織

### 特別調査員

上 村 俊 雄 鹿児島大学教授（現在鹿児島国際大学教授）（平成2年度）  
西 健一郎 九州大学文学部助手 （平成2年度）  
大 橋 康 二 佐賀県立九州陶磁文化館係長（現在、副館長）（平成2年度）  
宍 戸 章 宍戸地質調査研究所長（平成4年度・石材鑑定）

### 調査協力 宮崎県教育庁文化課

面 高 哲 郎  
東 憲 章 平成3年2月に調査担当  
飯 田 博 之 平成3年11月～平成4年1月に調査担当

### 調査主体 えびの市教育委員会

教 育 長 平 田 敏 正（平成2～4年度）  
平 田 郁 郎（平成11年度）  
松 田 忠 信（平成12年度～）  
社会教育課長 上別府 文 夫（平成2～3年度）  
外 國 秀 雄（平成4年度）  
馬越脇 泰 二（平成11年度～）  
課長補佐 野 間 寛 俊（平成2・4年度）  
松 永 章（平成3年度）  
赤 崎 正 史（平成11年度）  
文化係長 上加世田たず子（平成12年度～）  
技師 中 野 和 浩  
同 東 真 一（浜川原遺跡担当）

### 平成2年度

発掘作業員 綱屋カチ、池上ミヨ子、市原千恵子、内村キミ、大内田春江、小菜キエ、小菜ノブ、大溝光志、柳木トミ子、加治佐良子、上水流百合子、川口虎彦、楠元ミチエ、楠元ヨシ子、黒江弘子、白坂けい子、新原芳子、新屋敷節子、千田かず子、竹中トシ子、田中のり子、谷口薰、田中マサエ、谷口伸子、出水幸子、出水一美、永田テル子、西脇ミキ、萩原ケイ子、萩原モリエ、原口キミ子、東藤勲、福岡好子、福満悦子、前田フサ子、前原美智子、宮前ハツミ、山下フミ、山本トミ、横山和子  
遺構実測 大内田、加治佐、黒江、白坂、新屋敷、田中のり子、出水一美、福満

実測補助 西脇、萩原ケイ子  
整理作業員 川上茂子、谷口伸子、鶴田美恵子、長野真弓

#### 平成3年度

発掘作業員 有馬一馬、稻次ミコ、内村キミ、櫻園スミ子、大内田春江、奥松政子、小菜キクエ、小菜ノブ、桜木トミ子、川上茂子、川口虎彦、楠元ミチエ、栗下ミチコ、白坂けい子、千田かず子、竹内睦子、竹中トシ子、田中のり子、鶴田美恵子、樋嘉ヨネ、出水幸子、出水一美、寺田春日、永田テル子、萩原ケイ子、原口キミ子、東嶽ヨシ子、福満悦子、藤本ノリ、外屋ミチ子、前田フサ子、松岡ミキ、山下フミ  
遺構実測 大内田、川上、竹内、田中、鶴田、出水一美、福満  
実測補助 白坂、萩原、原口  
整理作業員 加藤佳代子、川上、神田真知子、木野涼子、竹下美千代、鶴田、鳥集美代子、長野、仲西真奈美、平江イツ子、福満、村岡道子

#### 平成4年度

発掘作業員 荒川キリ、石川イク、稻次ミコ、内村キミ、内村シズコ、内村ヨリ子、内村タミ、櫻園スミ子、大内田春江、奥松政子、小菜キクエ、小菜ノブ、桜木トミ子、尾野上ハルミ、上水流百合子、上谷川貴美子、木脇ヒサエ、栗下美智子、里岡カズ子、千田カズ子、新屋敷節子、竹上ミエ子、田中のり子、田中マサエ、谷口薰、谷口佐知子、谷口光子、鶴田美恵子、樋嘉イリ子、樋嘉ヨネ、出水幸子、出水一美、徳重ムツ子、鳥集美代子、永田テル子、西鶴ヨシ子、萩原ケイ子、原口キミ子、東嶽ヨシ子、廣津レイ子、福満悦子、宝代トミ子、前田フサ子、松岡ミキ、的場マツエ、宮路ミホ、山内ユキエ、山下ユキ子、横山茂夫  
遺構実測 大内田、新屋敷、田中のり子、鶴田、出水、福満  
実測補助 上谷川、萩原、原口  
整理作業員 大内田、加藤佳代子、川上茂子、黒肱真由美、黒肱令子、新屋敷、田中のり子、谷口佐知子、谷元幸子、鶴田、出水、長野真弓、山下貞子

#### 平成11年度

発掘作業員 有村奈々子、有留カズ子、今村ヒトエ、入木シマ、梅木イツ、大木場登美子、小野まり子、小畠則子、小畠フジ子、上水流百合子、川上シズ、木原典子、小屋敷直子、菖蒲久子、新久保トミ子、新原敏子、新屋敷節子、末田ハツミ、杉元富子、杉元八重子、園田菊野、鶴田ヨシエ、出水一美、堂園イソ、中川ハルエ、中尾タミ、中尾ミエ、永田テル子、永田美智子、西脇ミキ、野田キミエ、浜川マサ子、原口キ

ミ子、春口ミス、平野アツ子、橋渡文絵、福永静枝、福満サヨ、宝代トミ子、外屋  
ミチ子、星指利江子、堀迫サミ、堀迫ツヤ子、松岡ヨシ子、松下ヤエ子、三角園友  
市、蓑輪和子、宮田ハツ子、山内サチ、山口ミツ、山崎フジ子、山里マスコ、山下  
秋子、山下一男、山宮ミエ、山本ユキエ、吉村サダコ、吉村ハヤ、米倉トシ子

遺構実測 小屋敷、新屋敷、出水、樋渡、蓑輪

実測補助 木原、永田美智子、西脇、原口、星指

整理作業員 大田由美子、川上茂子、新浜脇征子、西郷ゆかり、玉利節子、長野真弓、丸尾さ  
おり、吉次ムツ子、米倉千春

平成12年度

整理作業員 入木和代、大田由美子、川上茂子、坂元星奈、新浜脇征子、玉利節子、徳澄みど  
り、長野真弓、福元ゆかり、丸尾さおり、茂田かおる、本坊美佐子、米倉千春

平成13年度

整理作業員 入木和代、大田由美子、川上茂子、坂元星奈、新浜脇征子、徳澄みどり、丸尾さ  
おり、茂田かおる

## 本文目次

第1章 はじめに.....	1
第2章 遺跡の位置と歴史的環境.....	1
第3章 内丸遺跡	
第1節 はじめに.....	7
第2節 基本的層序.....	7
第3節 古代～近世の調査.....	9
第4節 古墳時代.....	10
第5節 繩文時代.....	24
第6節 まとめ.....	49
第4章 弁財天遺跡	
第1節 はじめに.....	51
第2節 基本的層序.....	51
第3節 古代～中世の調査.....	52
第4節 近世.....	94
第5節 出土遺物.....	94
第6節 まとめ.....	110
第5章 馬場田遺跡	
第1節 はじめに.....	111
第2節 基本的層序.....	111
第3節 古代～近世の調査.....	112
第4節 古墳時代.....	122
第5節 繩文時代.....	133
第6節 まとめ.....	234
第6章 水流遺跡	
第1節 はじめに.....	235
第2節 基本的層序.....	235
第3節 繩文～弥生時代の調査.....	236
第4節 古代～中世.....	236
第5節 近世以降.....	238
第6節 まとめ.....	238
第7章 役所田遺跡	
第1節 はじめに.....	245

第2節 基本的層序	246
第3節 弥生時代以降の調査	246
第4節 繩文時代	251
第5節 まとめ	465
第8章 小路下遺跡	
第1節 はじめに	467
第2節 基本的層序	467
第3節 III区の調査	471
第4節 IV区	478
第5節 V区	498
第6節 VI区	504
第7節 VII区	511
第8節 VIII区	518
第9節 IX区	520
第10節 X区	534
第11節 XI区	542
第12節 まとめ	562
第9章 浜川原遺跡	
第1節 はじめに	563
第2節 基本的層序	564
第3節 古代以降の調査	564
第4節 古墳時代	570
第5節 弥生時代	600
第6節 繩文時代	600
第7節 まとめ	622
第10章 総括	623

## 挿 図 目 次

第1図 遺跡の位置と周辺の遺跡位置図	2	第3図 遺跡の位置と周辺の地形	4
第2図 長江浦地区遺跡群位置図	3	第4図 村境坑実測図	5

## 内丸遺跡

第1図 内丸遺跡 地区割図	7	第19図 S K-01 出土遺物実測図	23
第2図 古代～近世遺構分布図	8	第20図 調査区出土遺物実測図	24
第3図 II区中央南側セクション西壁層序	9	第21図 S K-12・26・31 遺構実測図	26
第4図 S B-01遺構実測図	9	第22図 S K-13・17・25・31・58遺構 実測図	27
第5図 S D-01～10断面層序図	10	第23図 S K-40・41 遺構実測図	28
第6図 繩文～古墳時代 遺構分布図	11	第24図 S K出土繩文土器実測図(1)	29
第7図 S A-01 遺構実測図	12	第25図 S K出土繩文土器実測図(2)	30
第8図 S A-02 遺構実測図	13	第26図 S K出土繩文土器実測図(3)	31
第9図 S A-01 出土遺物実測図(1)	14	第27図 調査区出土繩文土器実測図(1)	32
第10図 S A-01 出土遺物実測図(2)、 S A-02 出土遺物実測図(1)	15	第28図 調査区出土繩文土器実測図(2)	33
第11図 S A-02 出土遺物実測図(2)	16	第29図 調査区出土繩文土器実測図(3)	34
第12図 S A-02 出土遺物実測図(3)	17	第30図 調査区出土繩文土器実測図(4)	35
第13図 S A-02 出土遺物実測図(4)	18	第31図 調査区出土繩文土器実測図(5)	36
第14図 S A-03 遺構実測図	19	第32図 調査区出土石器実測図(1)	37
第15図 S A-03 出土遺物実測図(1)	20	第33図 調査区出土石器実測図(2)	38
第16図 S A-03 出土遺物実測図(2)	21	第34図 調査区出土石器実測図(3)	39
第17図 S A-03 出土遺物実測図(3)	22	第40図 調査区出土石器実測図(4)	40
第18図 S K-01 遺構実測図	22		

## 弁財天遺跡

第1図 弁財天遺跡 地区割図	51	第13図 S B-14・15 遺構実測図	66
第2図 遺構全体図	53・54	第14図 S B-16・17 遺構実測図	67
第3図 I・Ⅲ区遺構分布図	55・56	第15図 S B-18～20 遺構実測図	68
第4図 S X-01 層序・断面図	57・58	第16図 S B-21・22 遺構実測図	69
第5図 I区西中央部逆茂木遺構実測図	59	第17図 S B-23～25 遺構実測図	70
第6図 I区南西隅逆茂木遺構実測図	60	第18図 S B-26～30 分布状態	71
第7図 II区遺構分布図	61	第19図 S B-26～30 遺構実測図	72
第8図 S D-02 断面層序図	61	第20図 S K-05 遺構実測図	73
第9図 S B-01～04 遺構実測図	62	第21図 S K-02・03 遺構実測図	74
第10図 S B-05～08 遺構実測図	63	第22図 S K-04・25 遺構実測図	75
第11図 S B-09・10 遺構実測図	64	第23図 S K-01 遺構実測図	76
第12図 S B-11～13 遺構実測図	65	第24図 S K-06 遺構実測図	76

第25図	S K-07 遺構実測図	77	第39図	II 区出土中世国産陶器・布目瓦 実測図	90
第26図	S X-01 出土遺物実測図(1)	78	第40図	S K-06 出土遺物実測図	91
第27図	S X-01 出土遺物実測図(2)	79	第41図	II 区出土輸入陶磁器・近世国産 陶磁器実測図	91
第28図	S X-01 出土遺物実測図(3)	80	第42図	III 区遺構内出土遺物実測図(1)	92
第29図	S X-01 出土遺物実測図(4)	81	第43図	III 区遺構内出土遺物実測図(2)	93
第30図	S X-01 出土遺物実測図(5)	82	第44図	S K-05 出土遺物実測図	93
第31図	S X-01 出土遺物実測図(6)	83	第45図	III 区出土輸入陶磁器実測図	94
第32図	S X-01 出土遺物実測図(7)	84	第46図	S K-01 ほか出土錢貨・銅製品 実測図	95
第33図	S X-01 出土遺物実測図(8)	85	第47図	I 区出土石器・石製品実測図 (1)	96
第34図	I 区 II ~ IV a 層出土遺物実測図	86	第48図	I 区出土石器・石製品実測図 (2)	97
第35図	I 区遺構内出土遺物実測図	87	第49図	III 区出土石器・石製品実測図	98
第36図	S X-01 中央南側突出部出土遺物 実測図	87			
第37図	I 区遺構・II ~ III 層出土輸入陶磁 器実測図	88			
第38図	II 区遺構内出土遺物実測図	89			

## 馬場田遺跡

第 1 図	馬場田遺跡 地区割図	111	第16図	S A-09 遺構実測図	126
第 2 図	遺構分布図	113・114	第17図	S A-10~13 遺構実測図	127
第 3 図	I 区南壁層序実測図	115	第18図	S A-14 遺構実測図	128
第 4 図	I 区北壁、S A-01~SD-02断面 層序、SK-01 遺構実測図	116	第19図	S A-15 遺構実測図	129
第 5 図	SD-05 断面層序図	117	第20図	S A-16・17 遺構実測図	130
第 6 図	S A-05 遺構実測図	117	第21図	S A-18 遺構実測図	130
第 7 図	S B-01 遺構実測図	118	第22図	S A-19 遺構実測図	131
第 8 図	S B-02~04 遺構実測図	119	第23図	S A-21・22 遺構実測図	132
第 9 図	S A-01 遺構実測図	120	第24図	S A-22 遺構実測図	133
第10図	S A-02 遺構実測図	121	第25図	S K-04・09 遺構実測図	133
第11図	S A-03 遺構実測図	122	第26図	S K-03 遺構実測図	134
第12図	S A-04 遺構実測図	123	第27図	調査区出土繩文土器実測図(1)	136
第13図	S A-06 遺構実測図	124	第28図	調査区出土繩文土器実測図(2)	137
第14図	S A-07 遺構実測図	125	第29図	調査区出土繩文土器実測図(3)	138
第15図	S A-08 遺構実測図	126	第30図	調査区出土繩文土器実測図(4)	139
			第31図	調査区出土繩文土器実測図(5)	140

- 第32図 調査区出土縄文土器実測図(6) ..... 141  
 第33図 調査区出土縄文土器実測図(7) ..... 142  
 第34図 調査区出土縄文土器実測図(8) ..... 143  
 第35図 調査区出土縄文土器実測図(9) ..... 144  
 第36図 調査区出土縄文土器実測図(10) ..... 145  
 第37図 調査区出土縄文土器実測図(11) ..... 146  
 第38図 調査区出土縄文土器実測図(12) ..... 147  
 第39図 調査区出土縄文土器実測図(13) ..... 148  
 第40図 調査区出土縄文土器実測図(14) ..... 149  
 第41図 調査区出土縄文土器実測図(15) ..... 150  
 第42図 調査区出土縄文土器実測図(16) ..... 151  
 第43図 調査区出土縄文土器実測図(17) ..... 152  
 第44図 調査区出土縄文土器実測図(18) ..... 153  
 第45図 調査区出土縄文土器実測図(19) ..... 154  
 第46図 調査区出土縄文土器実測図(20) ..... 155  
 第47図 調査区出土縄文土器実測図(21) ..... 156  
 第48図 調査区出土縄文土器実測図(22) ..... 157  
 第49図 調査区出土縄文土器実測図(23) ..... 158  
 第50図 調査区出土縄文土器実測図(24) ..... 159  
 第51図 調査区出土縄文土器実測図(25) ..... 160  
 第52図 調査区出土縄文土器実測図(26) ..... 161  
 第53図 調査区出土縄文土器実測図(27) ..... 162  
 第54図 調査区出土縄文土器実測図(28) ..... 163  
 第55図 調査区出土縄文土器実測図(29) ..... 164  
 第56図 調査区出土縄文土器実測図(30) ..... 165  
 第57図 S A -01 出土遺物実測図、S A -  
     02出土遺物実測図(1) ..... 166  
 第58図 S A -02 出土遺物実測図(2)、  
     S A -03 出土遺物実測図(1) ..... 167  
 第59図 S A -03 出土遺物実測図(2)、  
     S A -04 出土遺物実測図、S A -06  
     出土遺物実測図(1) ..... 168  
 第60図 S A -06 出土遺物実測図(2) ..... 169  
 第61図 S A -06 出土遺物実測図(3)、  
     S A -07 出土遺物(1) ..... 170  
 第62図 S A -07 出土遺物実測図(2) ..... 171  
 第63図 S A -07 出土遺物実測図(3) ..... 172  
 第64図 S A -07 出土遺物実測図(4)、  
     S A -07か12 出土遺物・S A -08・  
     09・11出土遺物実測図(1) ..... 173  
 第65図 S A -11 出土遺物実測図(2)、  
     S A -11か13 出土遺物実測図(1) ..... 174  
 第66図 S A -11か13 出土遺物実測図(2)、  
     S A -12・13・15 出土遺物実測図 ..... 175  
 第67図 S A -15 出土遺物実測図(2)、  
     S A -19・20・22・23・05出土  
     遺物実測図 ..... 176  
 第68図 S D -02・03・04出土遺物実測図、  
     S D -05 出土遺物実測図(1) ..... 177  
 第69図 S D -05 出土遺物実測図(2)、  
     S K ・P P 出土土師器・S A 出土  
     土器片加工円盤実測図 ..... 178  
 第70図 III層ほか出土弥生土器・土師器  
     実測図(1) ..... 179  
 第71図 III層ほか出土土師器実測図(2) ..... 180  
 第72図 III層ほか出土土師器実測図(3) ..... 181  
 第73図 III層ほか出土土師器実測図(4) ..... 182  
 第74図 III層ほか出土土師器実測図(5) ..... 183  
 第75図 III層ほか出土土師器実測図(6) ..... 184  
 第76図 III層ほか出土土師器実測図(7) ..... 185  
 第77図 III層ほか出土土師器・土師質  
     土器・黒色土器実測図 ..... 186  
 第78図 III層ほか出土土師質土器・中世  
     国産陶器・布目瓦・布痕土器・土  
     器片錐・土器片加工円盤実測図(1) ..... 187  
 第79図 III層ほか出土土器片加工円盤(2)、  
     土錐実測図 ..... 188  
 第80図 調査区出土須恵器・束縛系須恵器

実測図	189	すり石実測図(1)	196
第81図 調査区出土輸入陶磁器実測図(1)	190	第88図 調査区出土すり石実測図(2)	197
第82図 調査区出土輸入陶磁器実測図(2)、 近世国産陶磁器実測図	191	第89図 調査区出土すり石実測図(3)	198
第83図 調査区出土打製石鎌・石錐・石匙・ 石斧片加工品実測図	192	第90図 調査区出土すり石(4)・敲き石 スクレイバー・砥石実測図(1)	199
第84図 調査区出土スクリエイバー・切目石 鍤・打欠石鍤実測図(1)	193	第91図 調査区出土砥石(2)・石鍋・ 温石・台石実測図(1)	200
第85図 調査区出土打欠石鍤実測図(2)	194	第92図 調査区出土台石・石皿実測図 (2)	201
第86図 調査区出土石斧実測図	195	第93図 調査区出土台石・石皿実測図 (3)	202
第87図 調査区出土円形打製石器・敲き石			

#### 水流遺跡

第1図 水流遺跡 地区割図	235	第5図 V区全体図	238
第2図 IV区遺構分布図	236	第6図 調査区出土遺物実測図(1)	239
第3図 IV・V区断面層序	237	第7図 調査区出土遺物実測図(2)	240
第4図 IV区SK-01 遺構実測図	238	第8図 山の神祭祀其実測図	241

#### 役所田遺跡

第1図 役所田遺跡 地区割図	245	第14図 出土遺物実測図 縄文土器(4)	264
第2図 I区遺構分布図	247・248	第15図 出土遺物実測図 縄文土器(5)	265
第3図 I区断面層序図	249・250	第16図 出土遺物実測図 縄文土器(6)	266
第4図 PP-01・SK-01 遺構実測図	251	第17図 出土遺物実測図 縄文土器(7)	267
第5図 SA-01・03 遺構実測図	252	第18図 出土遺物実測図 縄文土器(8)	268
第6図 SK-11・SZ-01 遺構実測図	253	第19図 出土遺物実測図 縄文土器(9)	269
第7図 SK-02・05・06・12・13・15 遺構実測図	255	第20図 出土遺物実測図 縄文土器(10)	270
第8図 SK-14・17・18・19・21 遺構 実測図	256	第21図 出土遺物実測図 縄文土器(11)	271
第9図 SK-16・24 遺構実測図	257	第22図 出土遺物実測図 縄文土器(12)	272
第10図 SK-22・23 遺構実測図	258	第23図 出土遺物実測図 縄文土器(13)	273
第11図 出土遺物実測図 縄文土器(1)	261	第24図 出土遺物実測図 縄文土器(14)	274
第12図 出土遺物実測図 縄文土器(2)	262	第25図 出土遺物実測図 縄文土器(15)	275
第13図 出土遺物実測図 縄文土器(3)	263	第26図 出土遺物実測図 縄文土器(16)	276
		第27図 出土遺物実測図 縄文土器(17)	277
		第28図 出土遺物実測図 縄文土器(18)	278



第97図	出土遺物実測図 繩文土器(87)…347	第130図	出土遺物実測図 繩文土器(120)…380
第98図	出土遺物実測図 繩文土器(88)…348	第131図	出土遺物実測図 繩文土器(121)…381
第99図	出土遺物実測図 繩文土器(89)…349	第132図	出土遺物実測図 繩文土器(122)…382
第100図	出土遺物実測図 繩文土器(90)…350	第133図	出土遺物実測図 繩文土器(123)…383
第101図	出土遺物実測図 繩文土器(91)…351	第134図	出土遺物実測図 繩文土器(124)…384
第102図	出土遺物実測図 繩文土器(92)…352	第135図	出土遺物実測図 繩文土器(125)…385
第103図	出土遺物実測図 繩文土器(93)…353	第136図	出土遺物実測図 弥生土器・土師器・ 土師質土器・中世国産陶器(1)…386
第104図	出土遺物実測図 繩文土器(94)…354	第137図	出土遺物実測図 中世国産陶器(2)・ 輸入陶磁器・金属製品・土製品・ 土器片加工円盤(1)…387
第105図	出土遺物実測図 繩文土器(95)…355	第138図	土器片加工円盤(2)…388
第106図	出土遺物実測図 繩文土器(96)…356	第139図	土器片加工円盤(3)…389
第107図	出土遺物実測図 繩文土器(97)…357	第140図	土器片加工円盤(4)…390
第108図	出土遺物実測図 繩文土器(98)…358	第141図	出土遺物実測図 石器・石製品(1)…391
第109図	出土遺物実測図 繩文土器(99)…359	第142図	出土遺物実測図 石器・石製品(2)…392
第110図	出土遺物実測図 繩文土器(100)…360	第143図	出土遺物実測図 石器・石製品(3)…393
第111図	出土遺物実測図 繩文土器(101)…361	第144図	出土遺物実測図 石器・石製品(4)…394
第112図	出土遺物実測図 繩文土器(102)…362	第145図	出土遺物実測図 石器・石製品(5)…395
第113図	出土遺物実測図 繩文土器(103)…363	第146図	出土遺物実測図 石器・石製品(6)…396
第114図	出土遺物実測図 繩文土器(104)…364	第147図	出土遺物実測図 石器・石製品(7)…397
第115図	出土遺物実測図 繩文土器(105)…365	第148図	出土遺物実測図 石器・石製品(8)…398
第116図	出土遺物実測図 繩文土器(106)…366	第149図	出土遺物実測図 石器・石製品(9)…399
第117図	出土遺物実測図 繩文土器(107)…367	第150図	出土遺物実測図 石器・石製品(10)…400
第118図	出土遺物実測図 繩文土器(108)…368	第151図	出土遺物実測図 石器・石製品(11)…401
第119図	出土遺物実測図 繩文土器(109)…369	第152図	出土遺物実測図 石器・石製品(12)…402
第120図	出土遺物実測図 繩文土器(110)…370	第153図	出土遺物実測図 石器・石製品(13)…403
第121図	出土遺物実測図 繩文土器(111)…371	第154図	出土遺物実測図 石器・石製品(14)…404
第122図	出土遺物実測図 繩文土器(112)…372	第155図	出土遺物実測図 石器・石製品(15)…405
第123図	出土遺物実測図 繩文土器(113)…373	第156図	出土遺物実測図 石器・石製品(16)…406
第124図	出土遺物実測図 繩文土器(114)…374	第157図	出土遺物実測図 石器・石製品(17)…407
第125図	出土遺物実測図 繩文土器(115)…375	第158図	出土遺物実測図 石器・石製品(18)…408
第126図	出土遺物実測図 繩文土器(116)…376		
第127図	出土遺物実測図 繩文土器(117)…377		
第128図	出土遺物実測図 繩文土器(118)…378		
第129図	出土遺物実測図 繩文土器(119)…379		

## 小路下遺跡

第1図 小路下遺跡 地区割図	467	S D-01北壁層序図	499・500
第2図 遺構全体図	468	第31図 S B-20~22遺構実測図	501
第3図 III区遺構分布図・西壁層序図	469・470	第32図 V区出土遺物実測図(1)	502
第4図 S A-01遺構実測図	471	第33図 V区出土遺物実測図(2)	503
第5図 S B-01~10 遺構実測図	472	第34図 V区出土遺物実測図(3)	504
第6図 S K-01~03 遺物実測図	474	第35図 VI区遺構分布図	505・506
第7図 III区出土遺物実測図(1)	475	第36図 S K-01・02遺構分布図	507
第8図 III区出土遺物実測図(2)	476	第37図 S D-02・S K-05遺構実測図	508
第9図 III区出土遺物実測図(3)	477	第38図 VI区出土遺物実測図(1)	509
第10図 III区出土遺物実測図(4)	478	第39図 VI区出土遺物実測図(2)	510
第11図 IV区遺構分布図・西壁・北壁 層序図	479・480	第40図 VI区出土遺物実測図(3)	511
第12図 S B-11~14遺構実測図	481	第41図 VII区遺構分布図・北壁・東壁・ほか 断面層序図	513・514
第13図 S B-15~17遺構実測図	482	第42図 S A-01・02遺構実測図	515
第14図 S B-18・19遺構実測図	483	第43図 S B-23~29遺構実測図	516
第15図 S K-14~17遺構実測図	484	第44図 S B-30遺構実測図	517
第16図 S K-15~17出土遺物実測図	485	第45図 VII区出土遺物実測図(1)	517
第17図 S K-20遺構実測図・出土遺物 実測図	486	第46図 VII区出土遺物実測図(2)	518
第18図 S K-9・13・21・24~27・28・29・31・ 33・35・38 遺構実測図	487	第47図 VII区遺構分布図	519
第19図 IV区出土遺物実測図(1)	488	第48図 S B-31・32遺構実測図	520
第20図 IV区出土遺物実測図(2)	489	第49図 VII区出土遺物実測図	520
第21図 IV区出土遺物実測図(3)	490	第50図 IX区遺構分布図・ S D-02断面図	521・522
第22図 IV区出土遺物実測図(4)	491	第51図 S A-01・02遺構実測図	523
第23図 IV区出土遺物実測図(5)	492	第52図 S A-03遺構実測図	524
第24図 IV区出土遺物実測図(6)	493	第53図 S A-04遺構実測図	525
第25図 IV区出土遺物実測図(7)	494	第54図 S A-05・06遺構実測図	526
第26図 IV区出土遺物実測図(8)	495	第55図 S A-07遺構実測図	527
第27図 IV区出土遺物実測図(9)	496	第56図 壁穴状遺構 切り合い層序図	528
第28図 IV区出土遺物実測図(10)	497	第57図 S B-34~36遺構実測図	529
第29図 IV区出土遺物実測図(11)	498	第58図 IX区出土遺物実測図(1)	530
第30図 V区遺構分布図・西壁・		第59図 IX区出土遺物実測図(2)	531
		第60図 IX区出土遺物実測図(3)	532

第61図	X区遺構分布図・西壁層序図	…535・536	第68図	X区出土遺物実測図	…542
第62図	S A-01遺構実測図	…537	第69図	XI区遺構分布図・西壁西南部 断面層序図	…543・544
第63図	S A-02・03遺構実測図	…538	第70図	S A-01遺構実測図	…545
第64図	S B-37～40遺構実測図	…539	第71図	S B-43～45遺構実測図	…546
第65図	S B-41・42遺構実測図	…540	第72図	S K-01・02・05遺構実測図	…547
第66図	S K-01遺構実測図	…540	第73図	XI区出土遺物実測図	…548
第67図	S Z-01遺構実測図	…541			

### 浜川原遺跡

第1図	浜川原遺跡 地区割図	…563	第24図	S A-10・11出土遺物実測図	…591
第2図	遺構全体図	…565・566	第25図	S A-13・S K出土遺物実測図	…592
第3図	II区西壁断面層序実測図	…567・568	第26図	調査区出土遺物実測図(1)	…593
第4図	S K-14遺構実測図	…569	第27図	調査区出土遺物実測図(2)	…594
第5図	IIIa層出土遺物実測図	…570	第28図	調査区出土遺物実測図(3)	…595
第6図	S A-01遺構実測図	…571	第29図	調査区出土遺物実測図(4)	…596
第7図	S A-02遺構実測図	…572	第30図	調査区出土遺物実測図(5)	…597
第8図	S A-03・04遺構実測図	…573・574	第31図	調査区出土遺物実測図(6)	…598
第9図	S A-01・02出土遺物実測図	…575	第32図	調査区出土遺物実測図(7)	…599
第10図	S A-02・03出土遺物実測図	…576	第33図	調査区出土遺物実測図(8)	…600
第11図	S A-03出土遺物実測図	…577	第34図	調査区出土遺物実測図(9)	…601
第12図	S A-05・06遺構実測図	…579	第35図	調査区出土遺物実測図(10)	…602
第13図	S A-07遺構実測図	…580	第36図	調査区出土遺物実測図(11)	…603
第14図	S A-08・10遺構実測図	…581	第37図	弥生土器実測図(1)	…604
第15図	S A-05出土遺物実測図	…582	第38図	弥生土器実測図(2)	…605
第16図	S A-05・07出土遺物実測図	…583	第39図	縄文土器実測図(1)	…606
第17図	S A-07出土遺物実測図	…584	第40図	縄文土器実測図(2)	…607
第18図	S A-07・08出土遺物実測図	…585	第41図	縄文土器実測図(3)	…608
第19図	S A-09・11・12遺構実測図	…586	第42図	石器製作址出土遺物実測図	…608
第20図	S A-13遺構実測図	…587	第43図	調査区出土石器実測図(1)	…609
第21図	S K-01～06遺構実測図	…588	第44図	調査区出土石器実測図(2)	…610
第22図	S K-07～13遺構実測図	…589	第45図	調査区出土石器実測図(3)	…611
第23図	S A-09・10出土遺物実測図	…590			

## 表 目 次

### 内丸遺跡

表1 出土遺物観察表(1).....	41	表6 出土遺物観察表(6).....	46
表2 出土遺物観察表(2).....	42	表7 出土遺物観察表(7).....	47
表3 出土遺物観察表(3).....	43	表8 出土遺物観察表(8).....	48
表4 出土遺物観察表(4).....	44	表9 出土遺物観察表(9).....	49
表5 出土遺物観察表(5).....	45		

### 弁財天遺跡

表1 出土遺物観察表(1).....	99	表8 出土遺物観察表(8).....	106
表2 出土遺物観察表(2).....	100	表9 出土遺物観察表(9).....	107
表3 出土遺物観察表(3).....	101	表10 出土遺物観察表(10).....	108
表4 出土遺物観察表(4).....	102	表11 出土遺物観察表(11).....	108
表5 出土遺物観察表(5).....	103	表12 出土遺物観察表(12).....	109
表6 出土遺物観察表(6).....	104	表13 出土遺物観察表(13).....	109
表7 出土遺物観察表(7).....	105		

### 馬場田遺跡

表1 出土遺物観察表(1).....	203	表16 出土遺物観察表(16).....	218
表2 出土遺物観察表(2).....	204	表17 出土遺物観察表(17).....	219
表3 出土遺物観察表(3).....	205	表18 出土遺物観察表(18).....	220
表4 出土遺物観察表(4).....	206	表19 出土遺物観察表(19).....	221
表5 出土遺物観察表(5).....	207	表20 出土遺物観察表(20).....	222
表6 出土遺物観察表(6).....	208	表21 出土遺物観察表(21).....	223
表7 出土遺物観察表(7).....	209	表22 出土遺物観察表(22).....	224
表8 出土遺物観察表(8).....	210	表23 出土遺物観察表(23).....	225
表9 出土遺物観察表(9).....	211	表24 出土遺物観察表(24).....	226
表10 出土遺物観察表(10).....	212	表25 出土遺物観察表(25).....	227
表11 出土遺物観察表(11).....	213	表26 出土遺物観察表(26).....	228
表12 出土遺物観察表(12).....	214	表27 出土遺物観察表(27).....	229
表13 出土遺物観察表(13).....	215	表28 出土遺物観察表(28).....	230
表14 出土遺物観察表(14).....	216	表29 出土遺物観察表(29).....	231
表15 出土遺物観察表(15).....	217	表30 出土遺物観察表(30).....	232

表31 出土遺物觀察表(31).....	233
表32 出土遺物觀察表(32).....	234

### 水流遺跡

表1 出土遺物觀察表(1).....	242
表2 出土遺物觀察表(2).....	242

表33 出土遺物觀察表(33).....	235
----------------------	-----

### 役所田遺跡

表1 出土遺物觀察表(1).....	409
表2 出土遺物觀察表(2).....	410
表3 出土遺物觀察表(3).....	411
表4 出土遺物觀察表(4).....	412
表5 出土遺物觀察表(5).....	413
表6 出土遺物觀察表(6).....	414
表7 出土遺物觀察表(7).....	415
表8 出土遺物觀察表(8).....	416
表9 出土遺物觀察表(9).....	417
表10 出土遺物觀察表(10).....	418
表11 出土遺物觀察表(11).....	419
表12 出土遺物觀察表(12).....	420
表13 出土遺物觀察表(13).....	421
表14 出土遺物觀察表(14).....	422
表15 出土遺物觀察表(15).....	423
表16 出土遺物觀察表(16).....	424
表17 出土遺物觀察表(17).....	425
表18 出土遺物觀察表(18).....	426
表19 出土遺物觀察表(19).....	427
表20 出土遺物觀察表(20).....	428
表21 出土遺物觀察表(21).....	429
表22 出土遺物觀察表(22).....	430
表23 出土遺物觀察表(23).....	431
表24 出土遺物觀察表(24).....	432
表25 出土遺物觀察表(25).....	433
表26 出土遺物觀察表(26).....	434

表27 出土遺物觀察表(27).....	435
表28 出土遺物觀察表(28).....	436
表29 出土遺物觀察表(29).....	437
表30 出土遺物觀察表(30).....	438
表31 出土遺物觀察表(31).....	439
表32 出土遺物觀察表(32).....	440
表33 出土遺物觀察表(33).....	441
表34 出土遺物觀察表(34).....	442
表35 出土遺物觀察表(35).....	443
表36 出土遺物觀察表(36).....	444
表37 出土遺物觀察表(37).....	445
表38 出土遺物觀察表(38).....	446
表39 出土遺物觀察表(39).....	447
表40 出土遺物觀察表(40).....	448
表41 出土遺物觀察表(41).....	449
表42 出土遺物觀察表(42).....	450
表43 出土遺物觀察表(43).....	451
表44 出土遺物觀察表(44).....	452
表45 出土遺物觀察表(45).....	453
表46 出土遺物觀察表(46).....	454
表47 出土遺物觀察表(47).....	455
表48 出土遺物觀察表(48).....	456
表49 出土遺物觀察表(49).....	457
表50 出土遺物觀察表(50).....	458
表51 出土遺物觀察表(51).....	458
表52 出土遺物觀察表(52).....	459

表53	出土遺物觀察表(53).....	459	表57	出土遺物觀察表(57).....	463
表54	出土遺物觀察表(54).....	460	表58	出土遺物觀察表(58).....	464
表55	出土遺物觀察表(55).....	461	表59	出土遺物觀察表(59).....	465
表56	出土遺物觀察表(56).....	462			

### 小路下遺跡

表 1	出土遺物觀察表(1).....	549	表 9	出土遺物觀察表(9).....	556
表 2	出土遺物觀察表(2).....	550	表10	出土遺物觀察表(10).....	557
表 3	出土遺物觀察表(3).....	551	表11	出土遺物觀察表(11).....	558
表 4	出土遺物觀察表(4).....	552	表12	出土遺物觀察表(12).....	559
表 5	出土遺物觀察表(5).....	553	表13	出土遺物觀察表(13).....	560
表 6	出土遺物觀察表(6).....	554	表14	出土遺物觀察表(14).....	561
表 7	出土遺物觀察表(7).....	555	表15	出土遺物觀察表(15).....	561
表 8	出土遺物觀察表(8).....	556	表16	出土遺物觀察表(16).....	561

### 浜川原遺跡

表 1	遺物觀察表(1)輸入陶磁器 · 國產陶磁器.....	612	表 7	遺物觀察表(7)土器(6).....	617
表 2	遺物觀察表(2)土器(1).....	612	表 8	遺物觀察表(8)土器(7).....	618
表 3	遺物觀察表(3)土器(2).....	613	表 9	遺物觀察表(9)土器(8).....	619
表 4	遺物觀察表(4)土器(3).....	614	表10	遺物觀察表(10)土器(9).....	620
表 5	遺物觀察表(5)土器(4).....	615	表11	遺物觀察表(11)土製品.....	620
表 6	遺物觀察表(6)土器(5).....	616	表12	遺物觀察表(12)石器.....	621

## 第1章 はじめに

本市の中央南側には、盆地中央を西流する川内川へ注ぐ長江川とその氾濫原がある。当地区において、平成元年度、防衛府補助による109haを対象とする圃場整備の計画がもたらされた。周知の遺跡は内丸遺跡のみであったが、県文化課による試掘調査の結果、段丘面の殆どに遺跡が包蔵していることがわかった。そこで、西諸県農林振興局と県文化課、市教育委員会で埋蔵文化財の保護について協議を重ねた結果、順次、工事に先行して発掘調査を実施し、記録保存をすることになった。

## 第2章 遺跡の位置と歴史的環境

長江浦地区遺跡群は、霧島山系に端を発する市内最長の支流である長江川を軸として、微高地や段丘に点在する遺跡群の総称である。行政区では、川の左岸が大字西長江浦で、北から役所田遺跡・小路下遺跡<sup>(1)</sup>・馬場田遺跡・水流遺跡・内丸遺跡<sup>(2)</sup>が、右岸は大字東長江浦で浜川原遺跡<sup>(3)</sup>の調査地がある。霧島山系の湧水は多く、中でも小池（第1図A地点）と出水觀世音池（B地点）、浜川原池（C地点）、介財天池（D地点）の4大湧水池があり、古くから恩恵を被っている。左岸は低丘陵や微高地が多いために遺跡が密集する。反面、右岸は痩せ尾根が張り出し、中世の山城が点在する。左岸北端には溝塁城跡が占地し、その両側には灰塚地下式横穴墓群を含む縄文～平安時代の灰塚遺跡<sup>(4)</sup>や西矢倉城跡、池山城跡、広大な岡元遺跡などがある。灰塚遺跡の北西2kmには短甲7領・胄3鉢などが出土している鳥内地下式横穴墓群<sup>(5)</sup>が、3km東には確認総数400基を越え、短甲2領・胄1鉢などが出土している小木原地下式横穴墓群<sup>(6)</sup>が、その2km対岸には苧畠地下式横穴墓群が分布する。その他、単独ながら、松山遺跡<sup>(7)</sup>と内小野遺跡<sup>(8)</sup>・天神免遺跡<sup>(9)</sup>で小型の地下式横穴墓が検出されている。

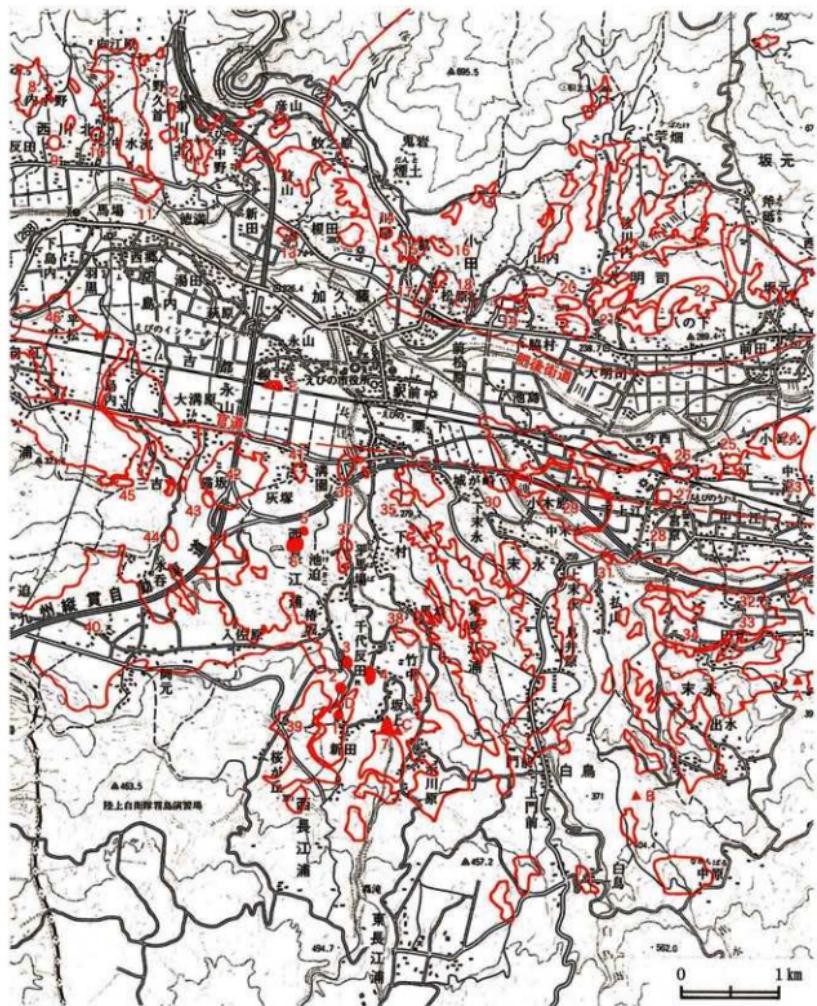
墳墓群に相応する集落はなかなか発見されず、同一段丘には存在していない。妙見遺跡<sup>(10)</sup>では41軒の竪穴住居を検出しているが、墓域は不明である。又、総数350軒前後と推定される内小野遺跡集団の墓域は、鳥内地下式横穴墓群に比定される。

古代の官道は京町<sup>(11)</sup>～小林線が一部踏襲し、一直線に走る。『延喜式』にみえる真新駅は、現在の大字永山字「真崎」（E地点）もしくは9～10世紀代と推定される法光寺跡およびその周辺に比定されているが、後者の可能性が最も高いと思われる。

7～8世紀代の遺跡は無いに等しいが、9世紀後半には爆発的に遺跡が増加し、近世まで継続する集落が多い。小木原遺跡群C地区では、官道を再整備したと推定される15～16世紀代の石敷き道路跡が検出され、中世末までは官道および再整備道が主要道であったと思われる。

近世になると川内川右岸に肥後街道が敷かれ、主要道となる。

平成9年7月、川内川の川岸から丸木杭が発見された（第4図・写真1）。残存長は1.40m、最大径0.30mの材で、下半は金属工具による面取りがなされ、先端には30cm・幅2cm・厚さ5～6mm



- 1: 内九遺跡 2: 弁財天遺跡 3: 馬場田遺跡 4: 水流遺跡 5: 役所田遺跡 6: 小路下遺跡 7: 浜川原遺跡 8: 内小野遺跡 9: 東福城跡 10: 新城跡 11: 徳満城跡 12: 妙見遺跡 13: 圓田城跡(消滅) 14: 净慶城跡 15: 加久  
 薩城跡 16: 新城跡 17: 小城跡 18: 平城跡(消滅) 19: 小城跡 20: 握部城跡 21: 宮之城跡 22: 烟地下式横穴墓  
 群 23: 建山地下式横穴墓群 24: 田之上城跡 25: 古城跡 26: 上江城跡 27: 法光寺跡 28: 原上・江上遺跡群 29:  
 小木原地下式横穴墓群 30: 鳥越城跡 31: 桑田遺跡 32: 松山遺跡 33: 上田代遺跡 34: 竹之内遺跡 35: 柿ノ木城跡  
 36: 稲荷城跡 37: 小屋敷城跡 38: 畦田城跡 39: 新田遺跡 40: 同元遺跡 41: 游園城跡 42: 灰塚地下式横穴墓群  
 43: 西矢倉城跡 44: 池山城跡 45: 見吉城跡 46: 島内地下式横穴墓群 A-D: 湧水池 E: 字「真崎」 F: 村境杭  
 出土地点

第1図 遺跡の位置と周辺の遺跡位置図 (1:50,000)



1 : 内九遺跡 2 : 馬場田遺跡 3 : 弁財天遺跡 4 : 水流遺跡 5 : 役所田遺跡 6 : 小路下遺跡 7 : 浜川原遺跡  
第2図 長江浦地区遺跡群 位置図 (1 : 25,000)



1 : 内丸遺跡    2 : 弁財天遺跡    3 : 馬場田遺跡    4 : 水流遺跡    5 : 浜川原遺跡

第3図 遺跡の位置と周辺の地形 (1 : 5,000)

: 濡地

の4つ又にわかれた鉄製の石突きが釘止めされている。発見地は旧村境に近く、村境を示す境界杭<sup>12</sup>もしくは正徳3年（1713）に構築された堂本井堰の基礎杭か或は昭和27年（1952）に改築された時の杭の可能性がある。西長江浦地区の西側は旧村境であり、将来的に類例が出土する可能性を留意するべく、事例提示した。

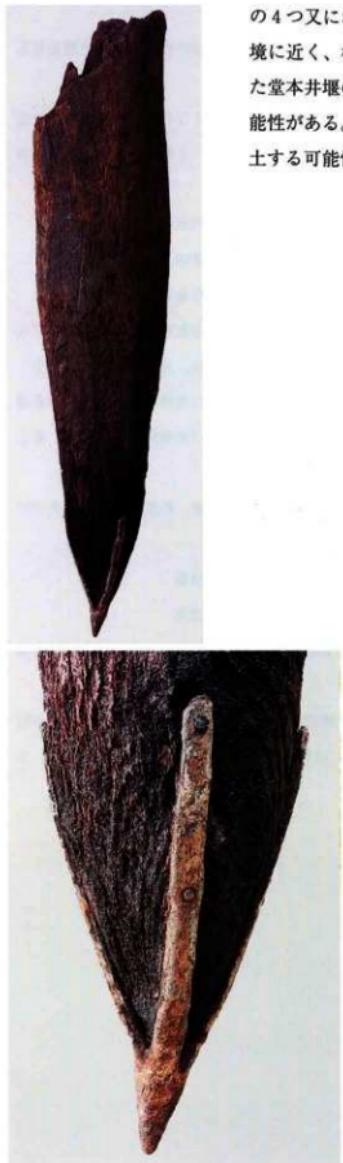
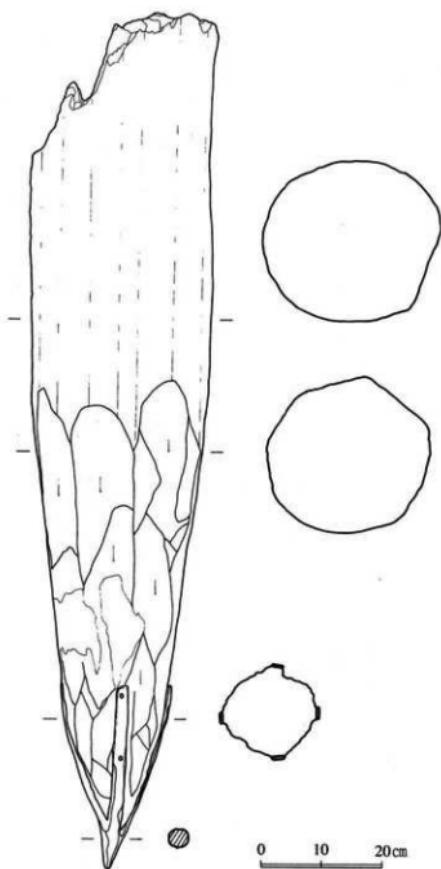


写真1 村境杭と先端部拡大



第4図 村境杭 実測図

## 註

- (1) えびの市教育委員会 1993 「長江浦地区遺跡群役所田遺跡・小路下遺跡」 えびの市埋蔵文化財調査報告書第11集
- (2) えびの市教育委員会 1991 「長江浦地区遺跡群内丸・弁財天・馬場田遺跡」 えびの市埋蔵文化財調査報告書第8集、えびの市教育委員会 1992 「長江浦地区遺跡群水流・馬場田遺跡」 えびの市埋蔵文化財調査報告書第9集
- (3) えびの市教育委員会 2000 「浜川原遺跡」 えびの市埋蔵文化財調査報告書第25集
- (4) 宮崎県教育委員会 1973 「九州縦貫自動車道埋蔵文化財調査報告書（2）灰塚遺跡」
- (5) えびの市教育委員会『島内地下式横穴墓群』 2001 えびの市埋蔵文化財調査報告書第29集 など
- (6) 宮崎県教育委員会 1972 「九州縦貫自動車道埋蔵文化財調査報告（1）」、えびの市教育委員会 1990 「永田原遺跡・小木原遺跡群地区・口ノ坪遺跡」 えびの市埋蔵文化財調査報告書第6集、えびの市教育委員会 1996 「小木原遺跡群蕨地区・久見追B地区・地主原地区・原田・上江遺跡群六部市遺跡・蕨元遺跡・中溝遺跡・法光寺遺跡Ⅰ・Ⅱ」 えびの市埋蔵文化財調査報告書第16集、宮崎県 1993 「宮崎県史 資料編 考古2」 など
- (7) えびの市教育委員会 1997 「田代地区遺跡群上田代遺跡・松山遺跡・竹之内遺跡・妙見原遺跡」 えびの市埋蔵文化財調査報告書第20集
- (8) えびの市教育委員会 2000 「内小野遺跡」 えびの市埋蔵文化財調査報告書第24集
- (9) えびの市教育委員会 2001 「天神免遺跡」 えびの市埋蔵文化財調査報告書第28集
- (10) 宮崎県教育委員会 1994 「九州自動車道（人吉～えびの間）建設工事にともなう埋蔵文化財調査報告書第2集 野久首遺跡・平原遺跡・妙見遺跡」
- (11) 本市の起こりは、明治22年（1889）、飯野・加久藤・真幸の3郷が村となり、昭和15年（1940）飯野村が町制を施行、昭和25年（1950）には真幸町が、昭和30年（1955）には加久藤町が誕生し、昭和41年（1966）、3町が合併して昭和45年（1970）えびの市となった。
- (12) 宮崎県総合博物館の宗像哲男氏に御教示頂いた。

## 第3章 内丸遺跡

## 第3章 内丸遺跡

### 第1節 はじめに

内丸遺跡は、えびの市大字西長江浦字内丸、一辻、新田下、田中に広がる南北800m、東西最大幅350mの丘陵先端面に立地する。調査区は標高271mの遺跡の北よりにあたり、北150m地点に豊富な湧水を確保する、良好な立地条件にある。

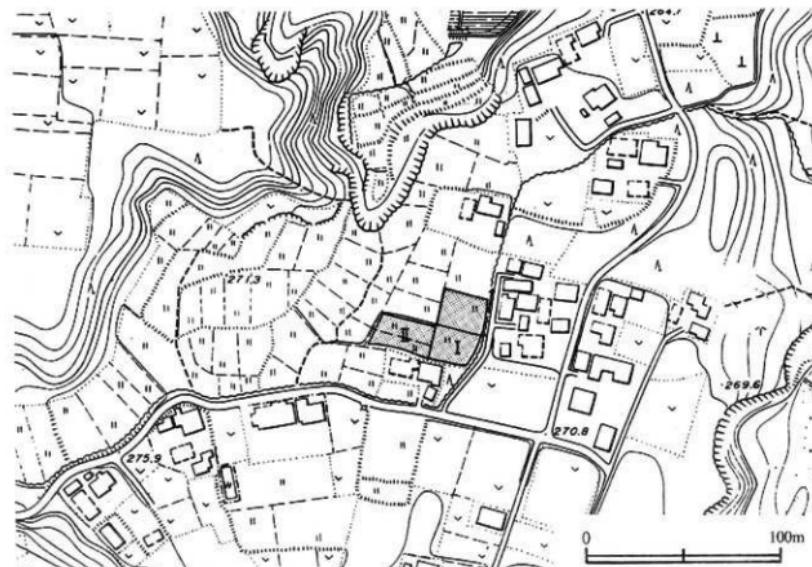
調査区は、排土処理の都合により2区に分け、I区を平成2年9月17日から11月6日まで、II区を平成3年1月7日から2月1日まで調査した。

### 第2節 基本的層序

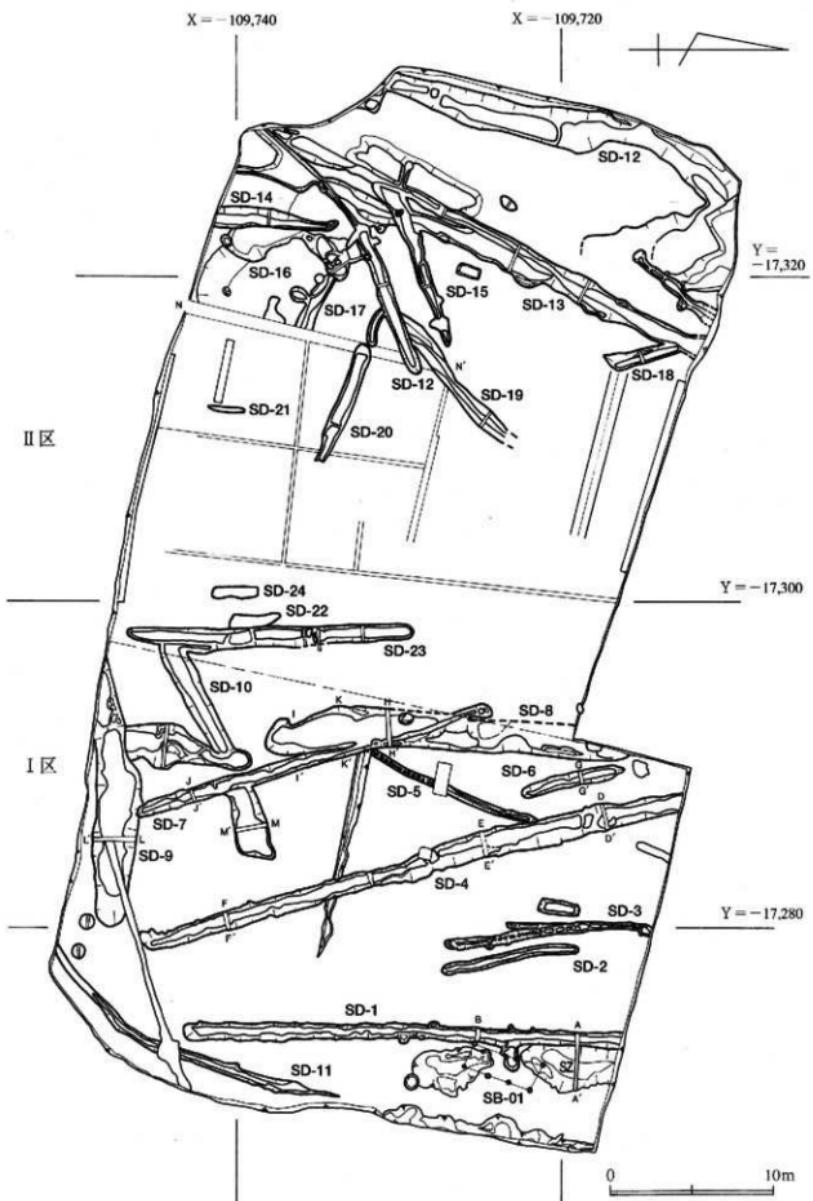
層序は上から、I層：耕作土、II層：床土・旧耕作土・近世以降の灰色土、IIIa層：黒灰色土（中世～古代）、IIIb層：淡黒灰色土+IVa層（古代～古墳時代）、IVa層：アカホヤ火山灰2次堆積層；淡黄褐色～黄褐色微砂質土、IVb層：アカホヤ火山灰+淡緑灰色微細砂質土に分別した。

IVa層は40cm前後堆積し、縄文時代前期から後期の遺物を含み、上層～上面においては、古墳時代までの遺物が混在する。

I区の殆どは、後世の開墾により、III層が遺存していない。



第1図 内丸遺跡 地区割図 (1:2,500)

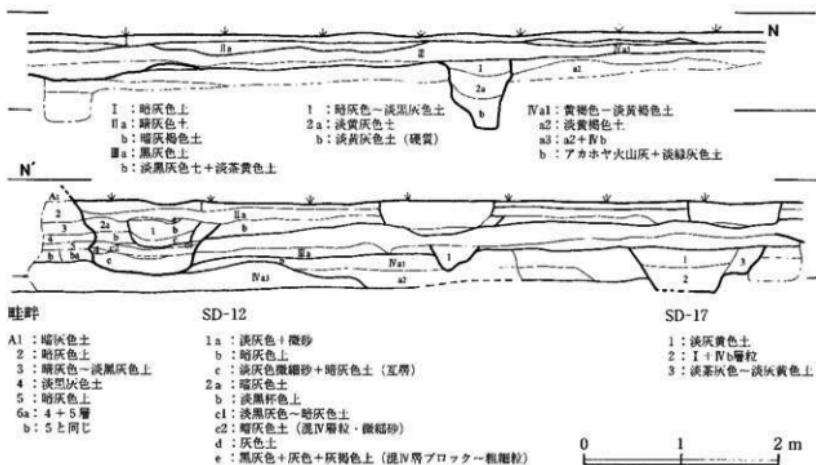


第2図 古代～近世 遺構分布図

### 第3節 古代～近世の調査

I区南半～II区にかけてはⅢ層が遺存し、若干の遺物も含む。II区の中央南側セクション断面(第3図)を見ると、IVa層上面とⅢb・Ⅱb層上面を構造面とする溝状遺構がある。IVa層上面での遺構検出において、24条の溝状遺構と、掘立柱建物跡1棟を確認した。

IVa層上面から切り込む17号溝が最も古く、9～10世紀代と思われる。これに併行する20号溝や直行する13号・05号溝は12～13世紀、北方向の01・08・23号とそれに直行する09号溝が中世に、北



第3図 II区 中央南側セクション西壁断面

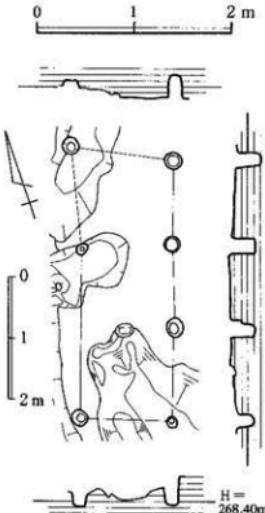
北西方向の02・03・04・07号とそれに直行する09・10・12・15号溝は近世後半～近代に属し、11号溝は近現代である。上記以外の溝状遺構は、主として中世後半に属すると思われる。03号と05号溝は幅0.5～0.7mを測り、底面には凹凸面が連続する特殊な機能を持つが、硬化面は無く、道路状遺構としては想定し難い。

#### S B-01 (第4図)

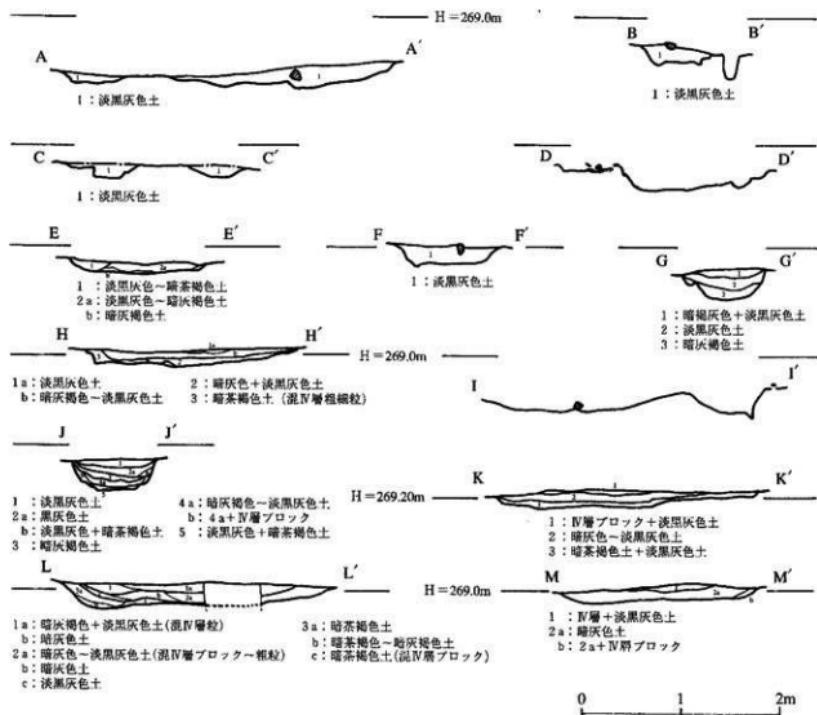
調査区の東部で検出した、梁行1間(1.5～1.7m)、桁行3間(4.26～4.46m)の建物跡である。

主軸方位はN17°Eで、05号溝と同一方向である。

柱穴は直径28cm前後、深さ40cm内外を測るが、柱痕跡は確認できなかった。覆土から、15～16世紀の建物と思われる。



第4図 S B-01 遺構実測図

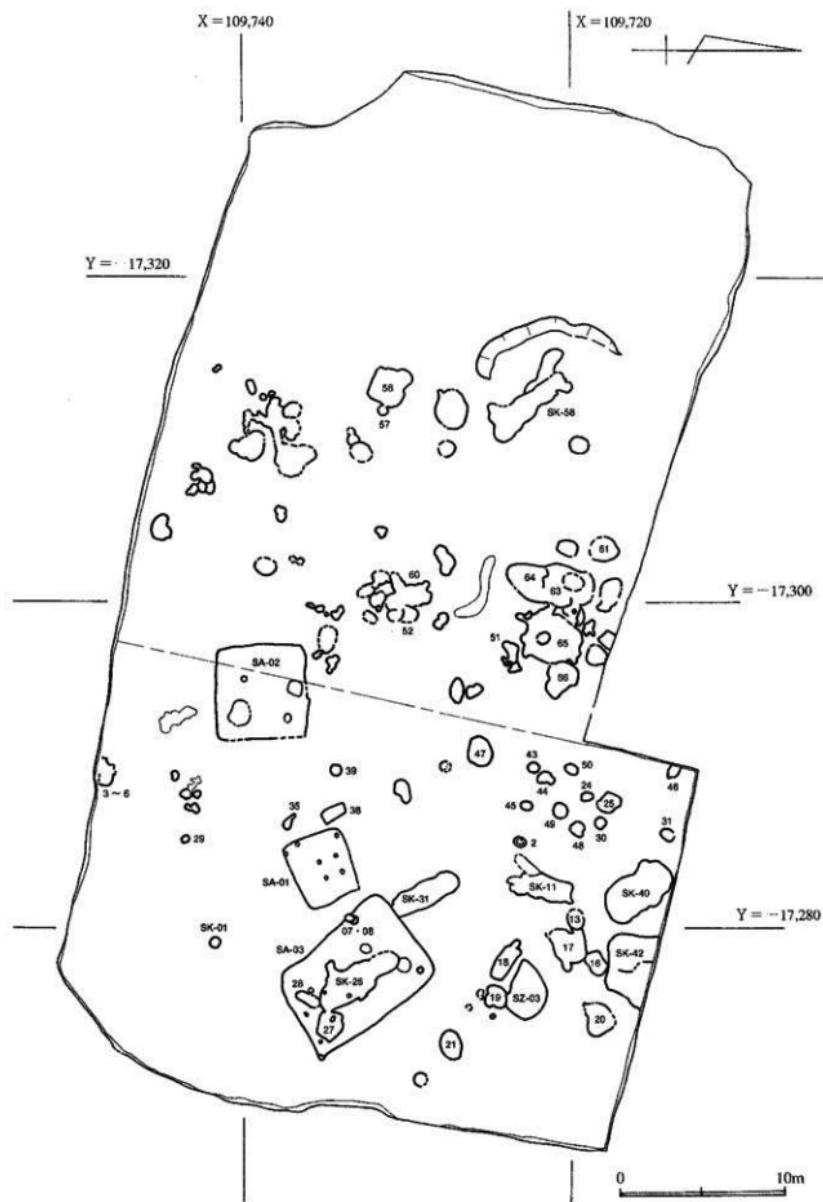


第5図 SD-01~10 断面層序図

その他、遺物包含層の出土であるが、布目瓦片（第20図-207）が1点出土している。本書第4章掲載の弁財天遺跡で同類の瓦が出土しており、中世後半の所産と考えられ、S B-01に使用された可能性もある。

#### 第4節 古墳時代

IVa層から掘り込む竪穴住居3棟を検出した。覆土中央部は若干凹み、IIIb層が覆っているために、IIIb層の掘り込みで終了しかけたが、III層およびIV層上面での土師器や繩文土器の量から竪穴住居数棟を予見していたこともあり、若干掘り下げたり、サブトレーナーを設けて遺構の有無を確認した。その結果、IVa層とは若干異なる色調を覆土とするプランを検出した。結果的にはIVa層を剥ぐことで確実なプランが検出された。

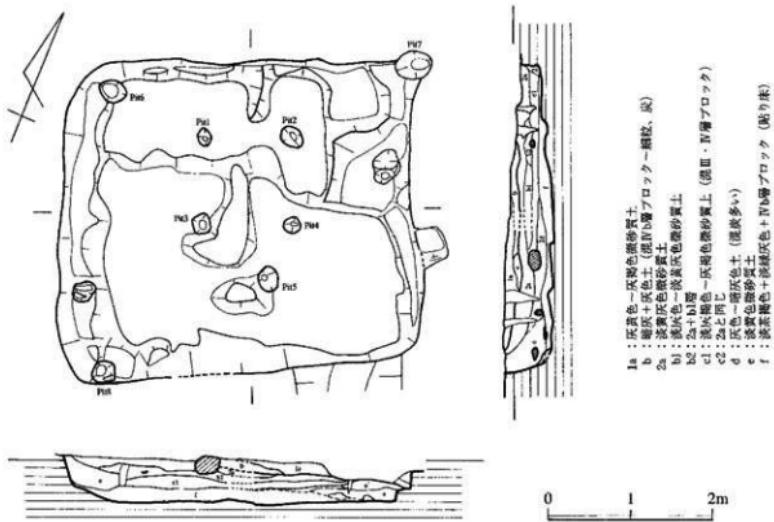


第6図 繩文～古墳時代 遺構分布図

### S A-01 (第7図)

長軸4.2~4.35m、短軸3.64~3.92mの隅丸長方形を呈し、長軸は南西-北東方向に向く。掘削当初は深さ50~60cmに荒削りされ、主柱穴4基(pit 1~4)が北寄りに設置されてのち、10~15cm厚の貼り床が施される。その結果、床面には2f層上面のフラットな面になる。主柱穴は直径20cm内外、深さ20cm内外を測り、南東隅を除くコーナーと中央やや南よりに補助的な柱穴(pit 5、深さ20cm)が穿たれる。pit 6は深さ15cm、pit 7は深さ61cm、pit 8は深さ80cmを測る。pit 3~4~5あたりには炭化物が集中しており、屋内炉を想定させる。

出土遺物は全て流れ込みで相当量の土師器壺・甕・高坏・丹塗り高坏のほか、朱玉1点(36)、管玉1点(37)がある。朱玉は34×27mmの楕円形を呈し、厚さ5~6mmを測る。



第7図 S A-01 遺構実測図

### S A-02 (第8図)

I・II区の境、1号住居から西へ6m離れた位置で検出。東西6.16m、南北5.42~5.58mの方形を呈し、深さは、遺構面から30~42cmを測る。床面は礫の多い地層で、主柱穴も判然としない。

pit 1は1辺85cm内外の略方形を呈し、深さは25cm前後を測る。pit 2は54×42cmの楕円形を呈し、深さ25cmを測る。pit 3は41×47cmの楕円形を呈し、深さ30cmを測る。pit 4は長軸1.51m、短軸1.06mの不整備楕円形を呈し、長径70cmの礫が埋っていた。pit 5は直径18~20cmの円型で、深さ23cmを測る。pit 6は直径28cm内外の円形を呈し、深さ24cmを測る。pit 7・9は深さ10cmあまりで、柱穴とは言い難い。pit 8は西壁に接する半円形で、深さ23cmを測る。

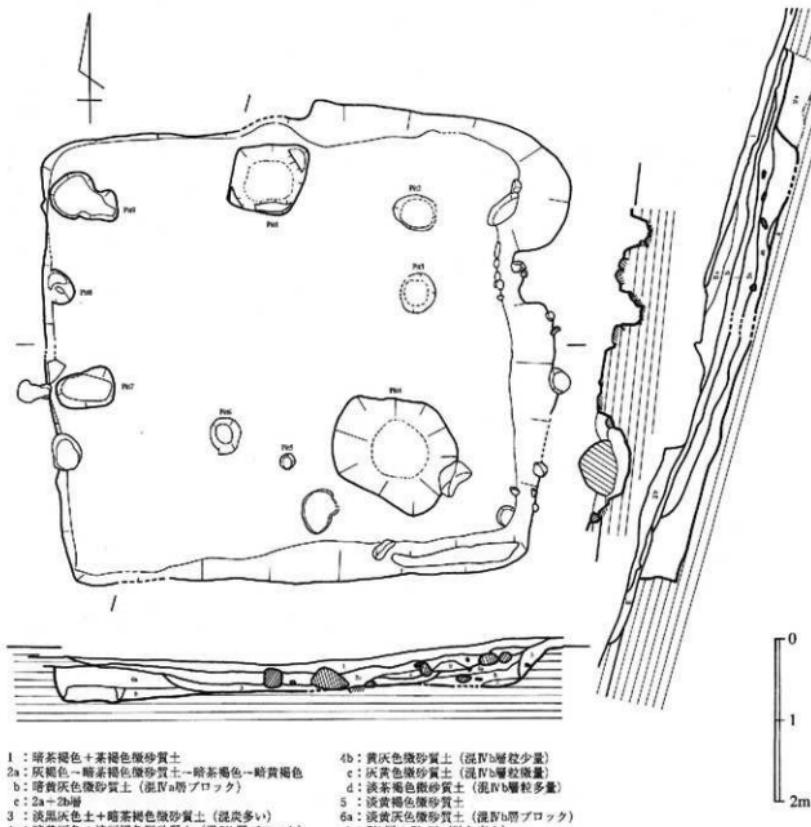
pit 1 と 4 は異常に大きく、住居構築以前の掘り込みの可能性があり、対角線上に並ぶ pit 3 と 6 が主柱穴と思われる。

出土遺物は全て流れ込みで、大量の土師器や丹塗り土師器のほか、須恵器の甕(112)とガラス小玉1点(113)が出土した。甕は床面付近から出土したが、03号住居からも同一個体片が出土しており、住居の廃棄時期がほぼ同時期であるとの証左となる。

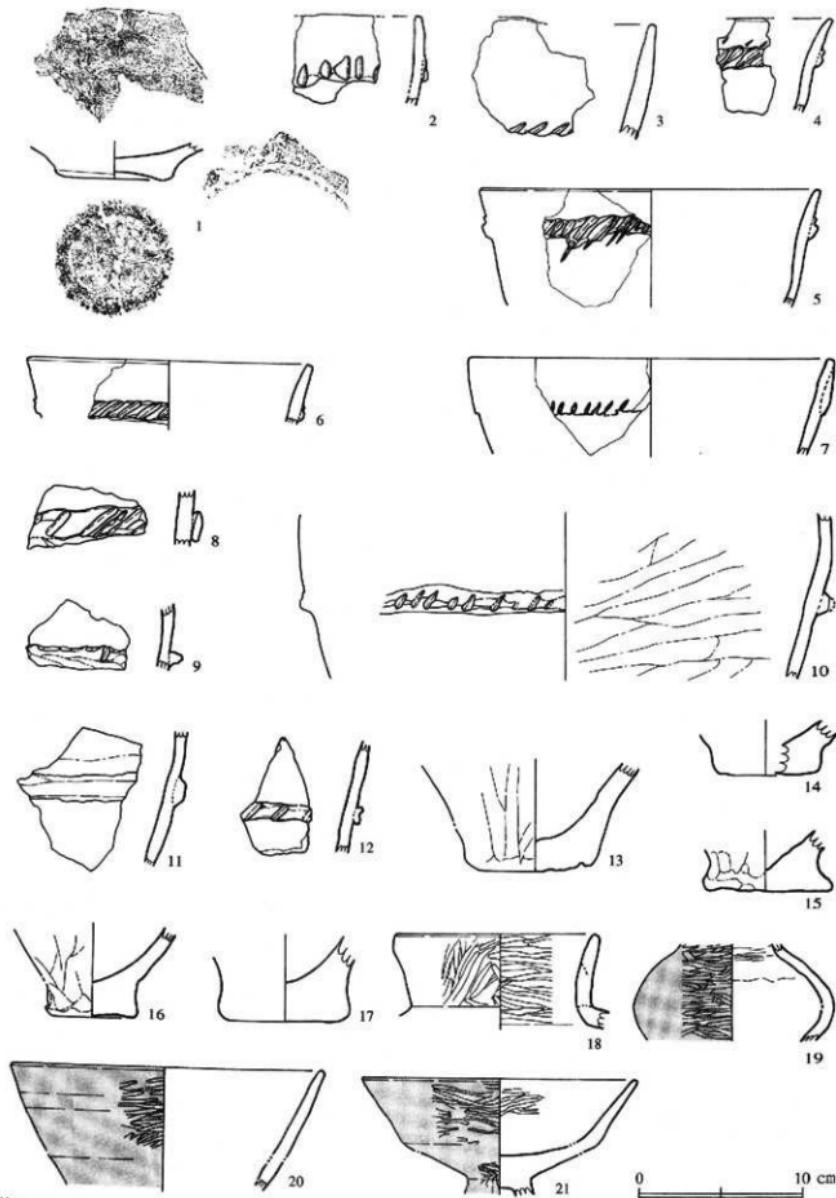
当遺構の西側では須恵器の高壺（205）が出土しており、帰属性が高い。

S A-03 (第14回)

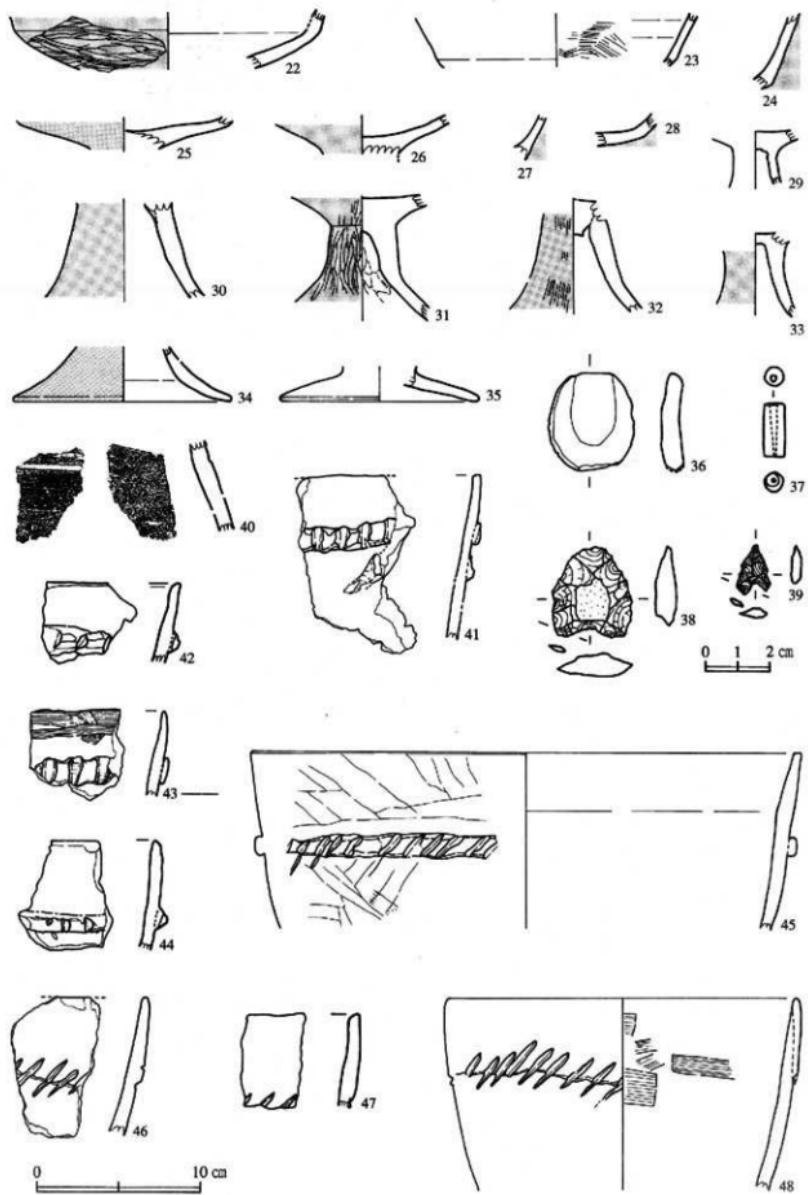
明瞭な掘り肩が検出されず、サブトレンチを入れながら2度の拡幅をした結果、長辺7.6~9.0m



第8圖 SA-03 游標卡測圖

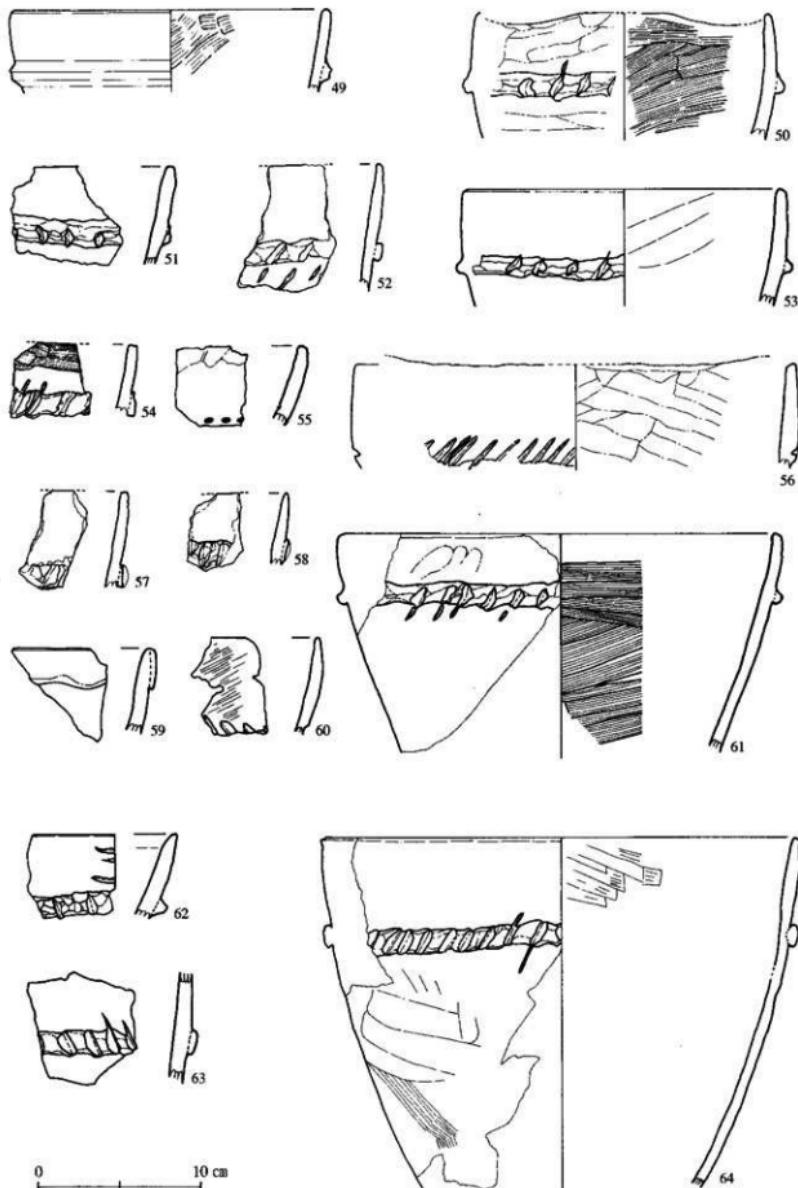


第9図 SA-01 出土遺物実測図(1)

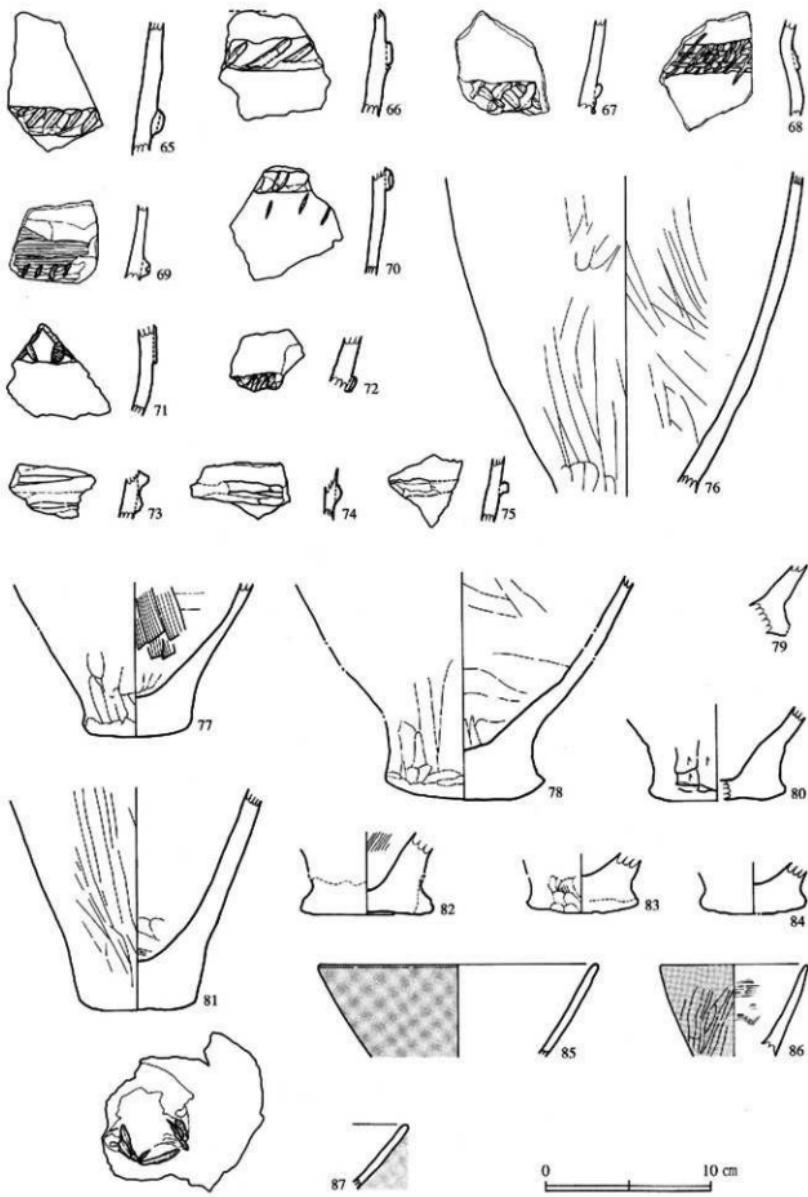


第10図 SA-01 出土遺物実測図(2)、SA-02 出土遺物実測図(1)

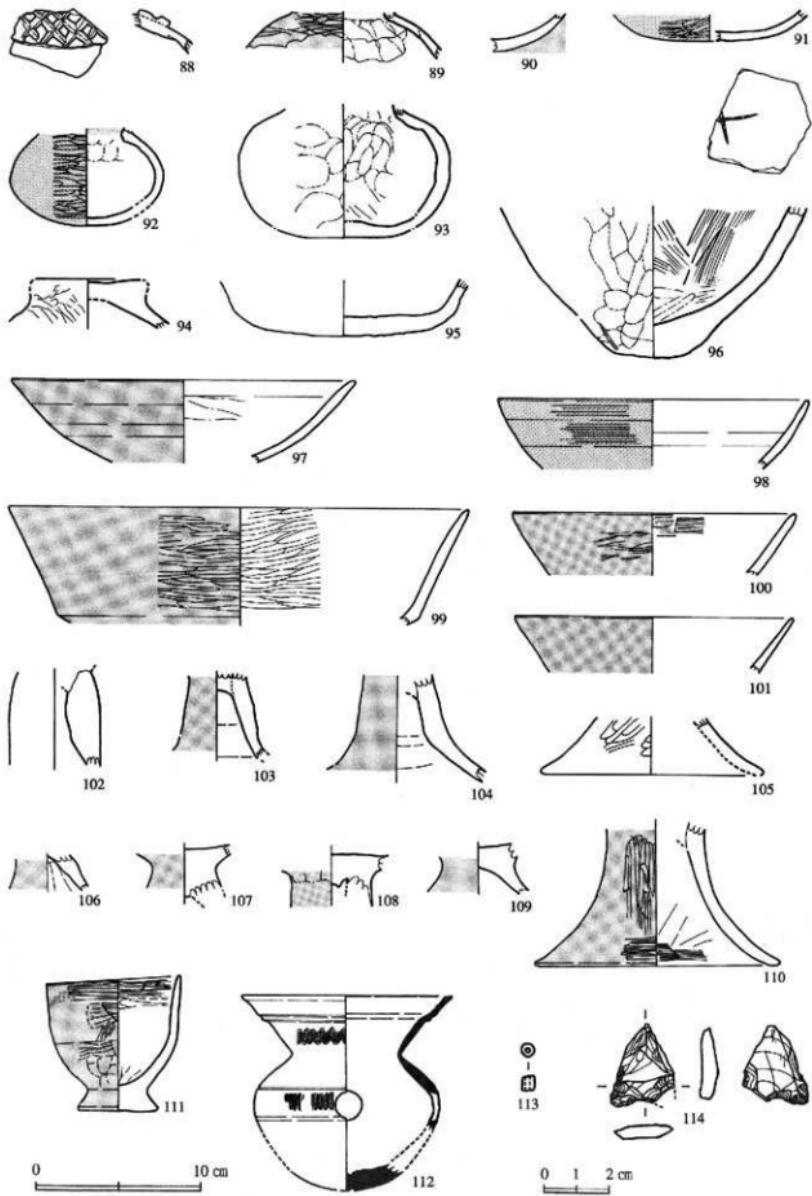
22-39: SA-01



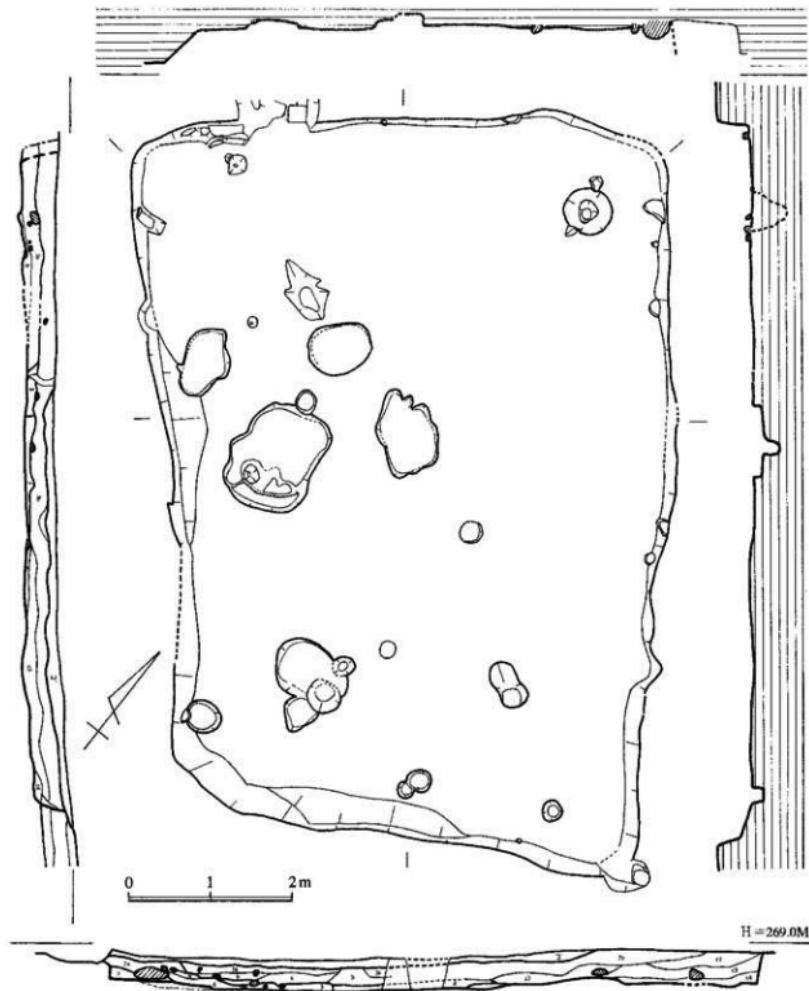
第11図 S A-02 出土遺物実測図（2）



第12図 SA-02 出土遺物実測図 (3)



第13図 SA-02 出土遺物実測図(4)

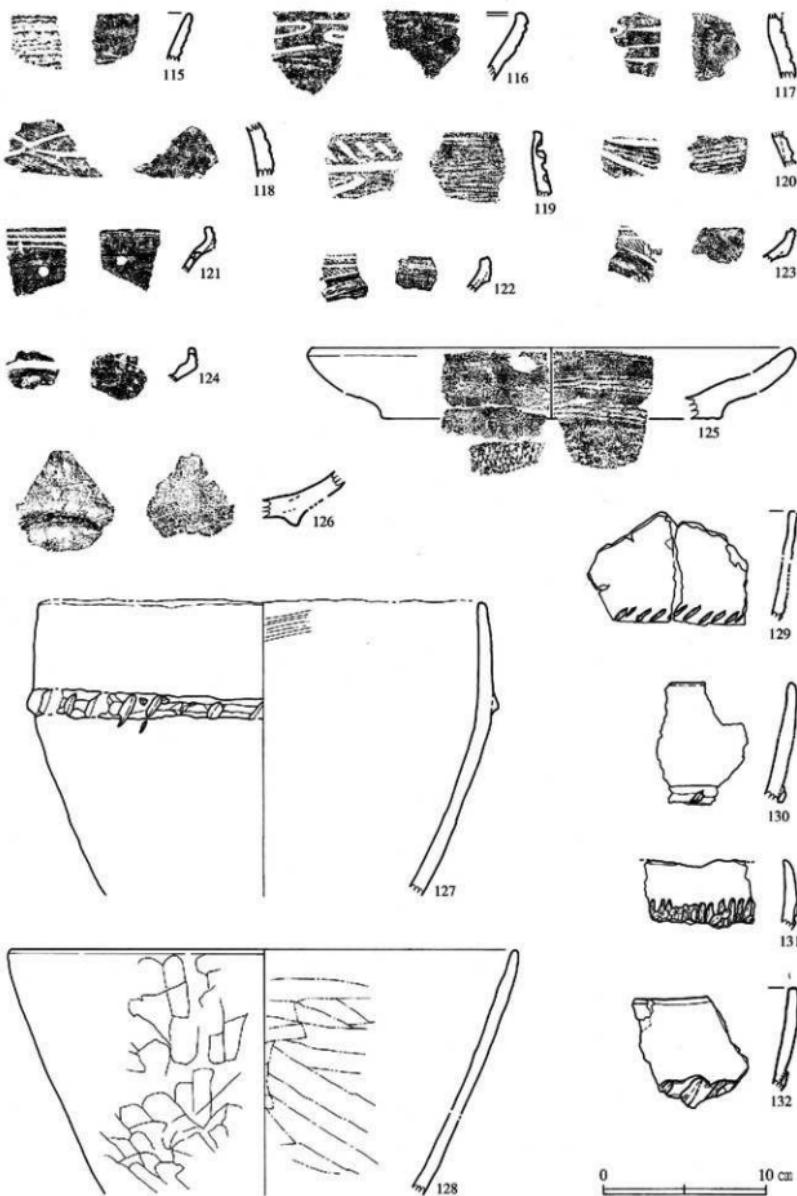


■：淡黑色土+淡灰色微砂質土  
 1a：暗黃褐色微砂質土  
 b：暗黃褐色微砂質土  
 c：暗黃褐色~灰褐色微砂質土。(混IVb層粒)  
 2a：1cと同じ  
 b：暗黃褐色微砂質土。(混IVb層粒)  
 3a：Ⅲ'+3b層  
 b：淡黃褐色微砂質土

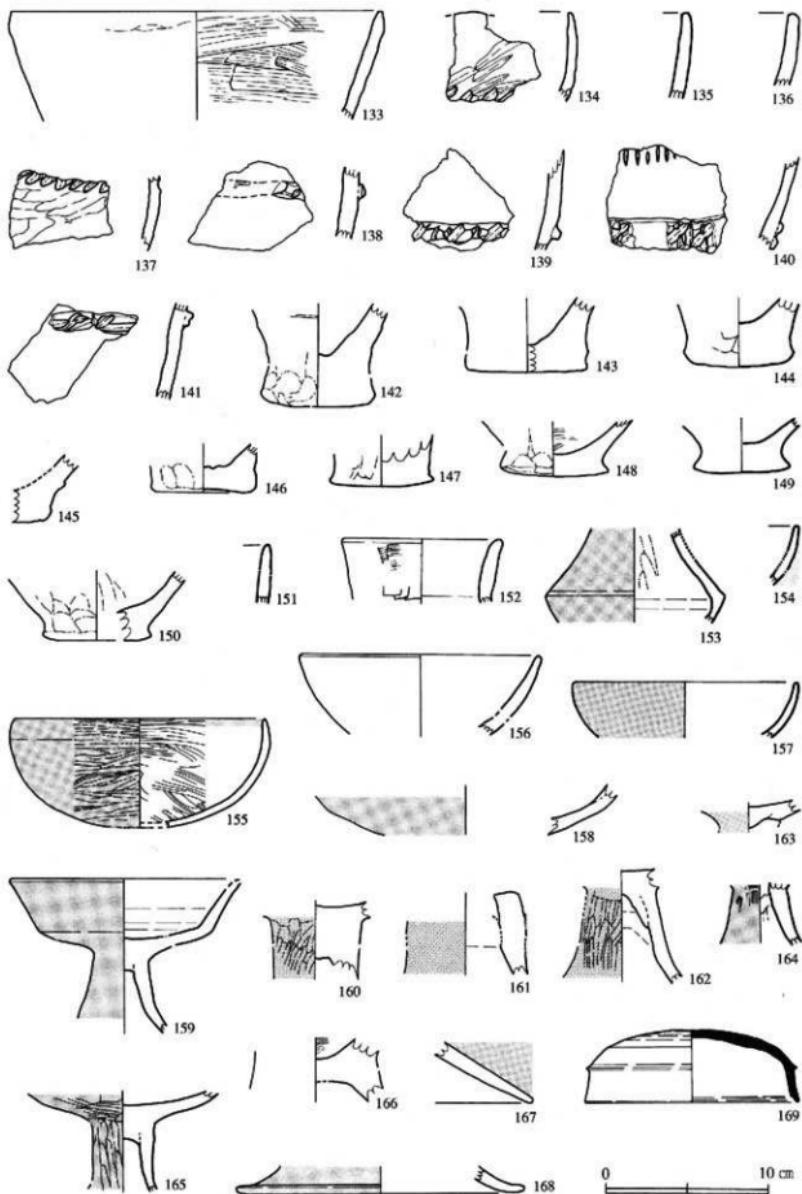
3c1：淡灰黃色微砂質土。(混IVb層粒)  
 c2：灰色砂質土  
 c3：灰黃色酸砂質土  
 c4：灰黃色~灰褐色微砂質土  
 4：暗灰色~淡黑色土。(混灰、IVb層粒)  
 5：灰色~暗灰色微砂質土  
 6：灰色+經黃褐色微砂質土

7：灰褐色微砂質土  
 8：暗黃褐色~暗黃褐色微砂質土  
 9a：暗黃褐色微砂質土  
 b：8と同じ

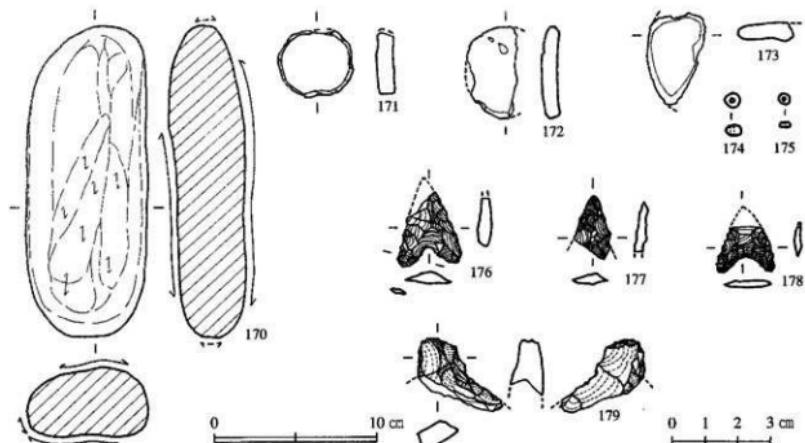
第14図 SA-03 遺物実測図



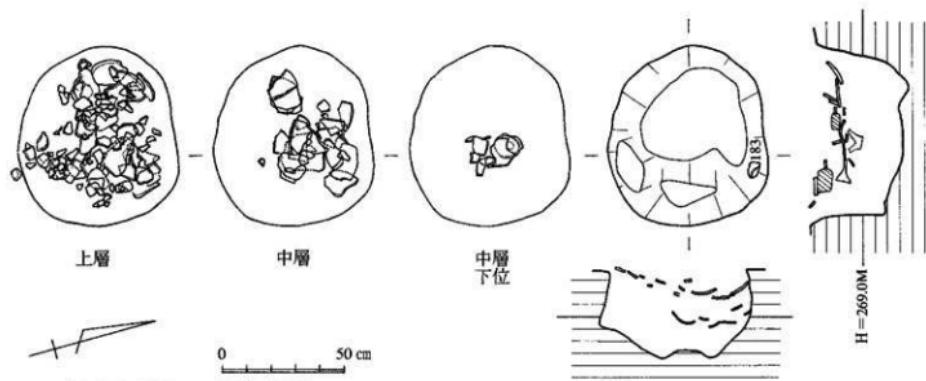
第15図 SA-03 出土遺物実測図（1）



第16図 SA-03 出土遺物実測図（2）



第17図 SA-03 出土遺物実測図（3）



第18図 SK-01 遺構実測図

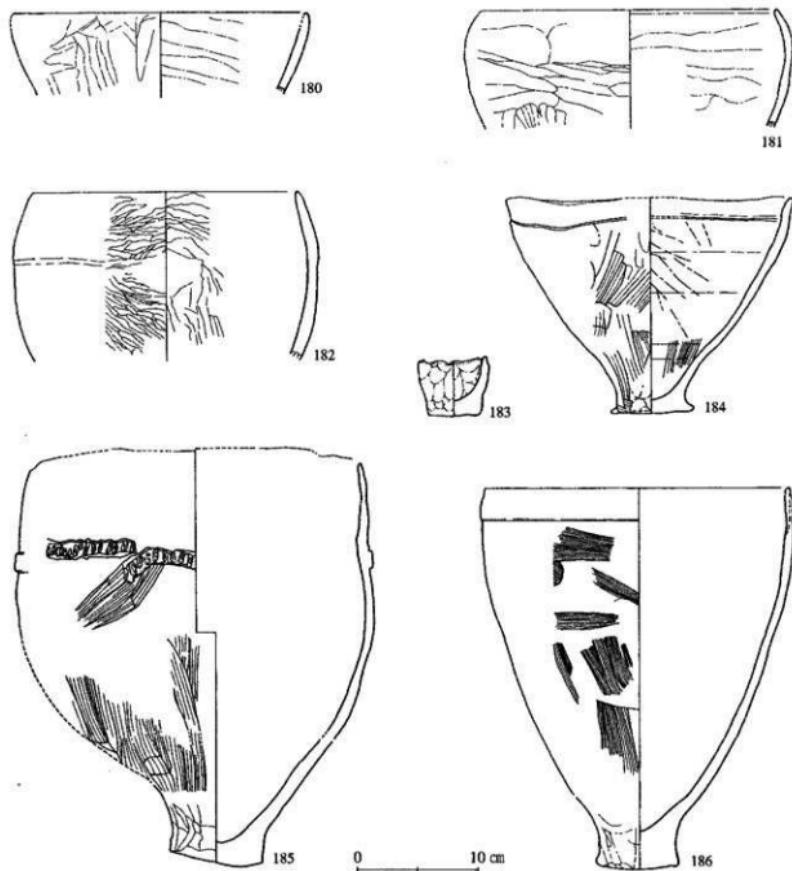
短辺5.8~6.6mの不整長方形を呈することがわかった。深さは40~50cmを測り、中央には炭を含む土層が広がり、不整形の炉址が検出された。

貼り床は無く、主柱穴も判然としない。

出土遺物は少なく、土師器と丹塗り土師器のほか、須恵器の壺蓋1点（169）・朱玉2点（192・193）とガラス玉2点（194・195）が出土している。

#### SK-01（第18図）

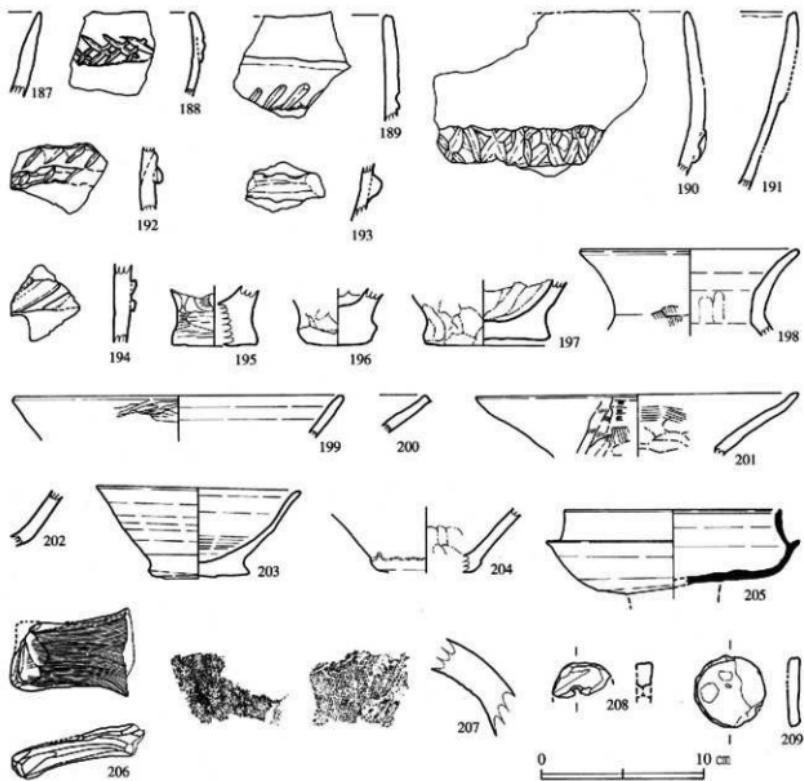
S A-01から南西へ5.8m・S A-03西隅から西北西へ4.3mの地点で、土器溜めを検出した。



第19図 SK-01 出土遺物実測図

長径74cm・短径63cmの不整円形を呈し、最深部は37cmを測る。底面には凹凸があり、粗掘りのまま機能している。

遺物は中位から上部に、大きく2回に分けられて投棄された状態である。接合すると、完形に近い壺3点(184～186)と、壺の口縁部(180～182)に復元された。壁面中位には、廃棄前に祭祀をしたと思われる手捏ね土器(183)がめり込むように入っていた。



第20図 調査区出土遺物実測図

### 第5節 繩文時代

縄文土器を含むIVa層に酷似する覆土の土坑が存在するので、IVa層を若干掘り下げて精査したところ、約70基の土坑を検出した（第6図）。

土坑は、SK-12・26・31・40・42・58のような長径5m前後の大型タイプ、SK-17・20・56・63・64・66のような長径2m前後の中型タイプ、SK-13・49周辺に多い長径80cm前後の小型タイプがある。西側のIV層には大量の礫が混ざるので、遺構が少ない。

### SK-12（第21図）

長さ4m、幅1.4~1.6mの不整梢円形を呈する。最深部は中央部で90cmを測り、北寄りに長さ1.6m程の平坦面がある。南側は約20度の傾斜で、出入りの為に緩やかに掘削してある。

出土遺物は少なく30点あまりが散在し、全て流れ込みと思われる。図化できたのは4点（第24回210・212・214・216）である。210は前期の深浦式系の深鉢で、破片数点が覆土から出土し、他のIVa層出土の破片と接合した。後期後半の遺構と思われるが、機能は不明である。

#### S K-26（第21図）

S A-03内中央部で検出した、長さ5.5m・幅1.4～2mの楕円形を呈する。最深部は北寄りにあり、86cmを測る。底面平坦面は1.2mほどである。南は10度位の緩やかな傾斜であるが、東～北側にかけては急角度の掘り込みである。

出土遺物は少なく、4点（236～239）を図化した。全て流れ込みであり、後期後半の遺構と思われるが、機能は不明である。

#### S K-31（第21図）

S A-03に南端部を切られている。残存長は4.4m、幅は1～1.4mを測り、長楕円形を呈する。最深部は北端にあり70cmを測るが、底面は一様でなく、4～5基の土坑が重複していた可能性もある。出土遺物は、微量の土器片がある。

#### S K-40（第22図）

長径4.64m・短径2.4mの楕円形を呈し、大小10個あまりの柱穴を有する。最深部は68cmを測るが、底面は一様ではない。

出土遺物はやや多い（242～253）が、流れ込みである。

#### S K-41（第22図）

検出長は3mあまり、幅は3.6～4.6m、最深部は90cmを測る。東半部は一段下げられ北に向かって深くなる。

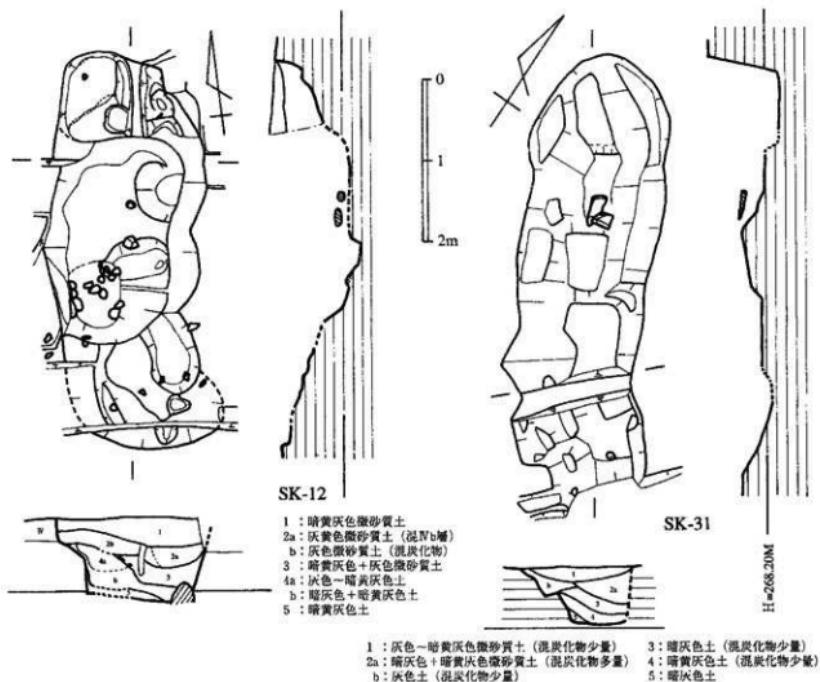
出土遺物は微量で、図化していないが、後期後半の所産と思われる。

#### S K-13（第23図）

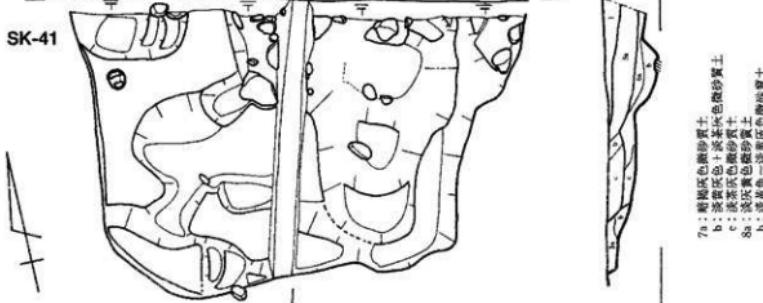
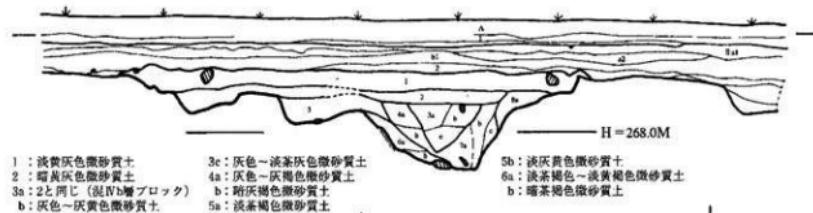
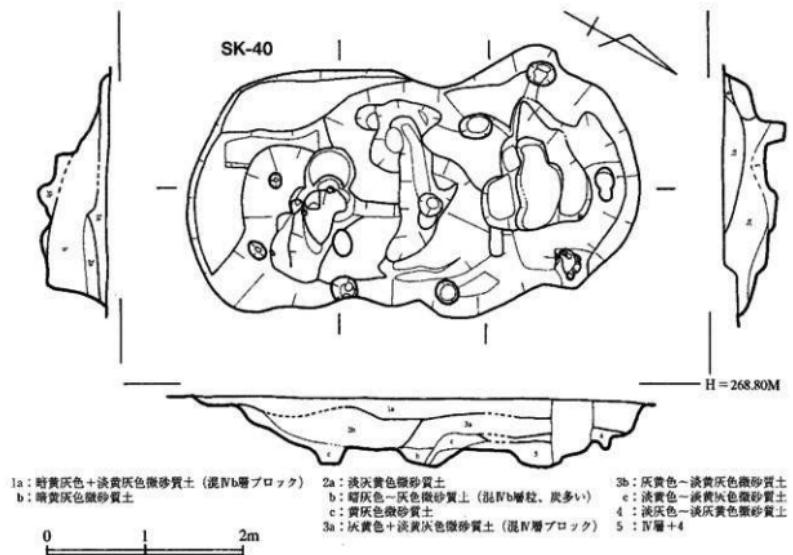
直径1m前後の不整円形を呈し、深さ50cm内外を測る。南側の壁は袋状を呈し、土坑の中で唯一貯蔵穴と推定できる遺構である。出土遺物は流れ込みであるが、5点（213・215・217・218・221）の土器と磨製石斧1店（442）などが出土し、後期後半の遺構と思われる。

#### S K-25（第23図）

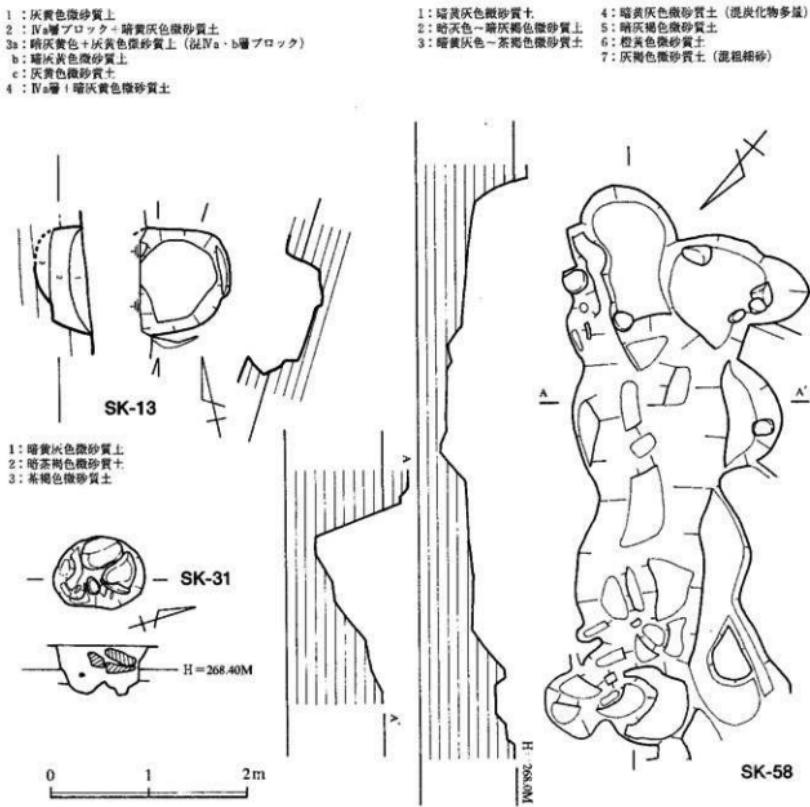
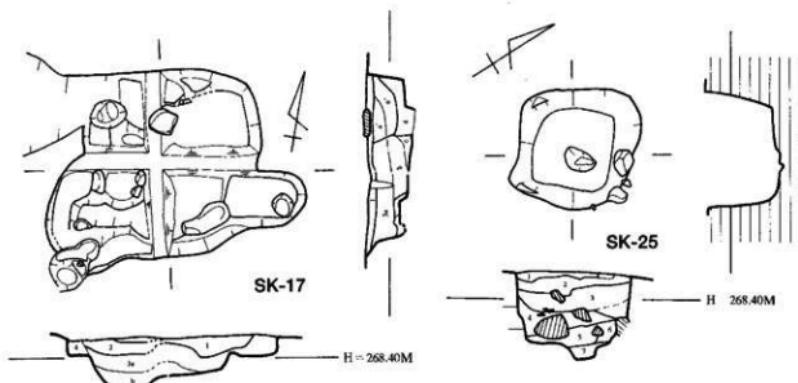
1辺1.2m前後の隅丸略方形を呈し、深さ70～76cmを測る。底面には、不整形な小pitがある。出土遺物は少ないが、丹塗りの台付皿などが出土している。形状から、貯蔵穴の可能性がある。



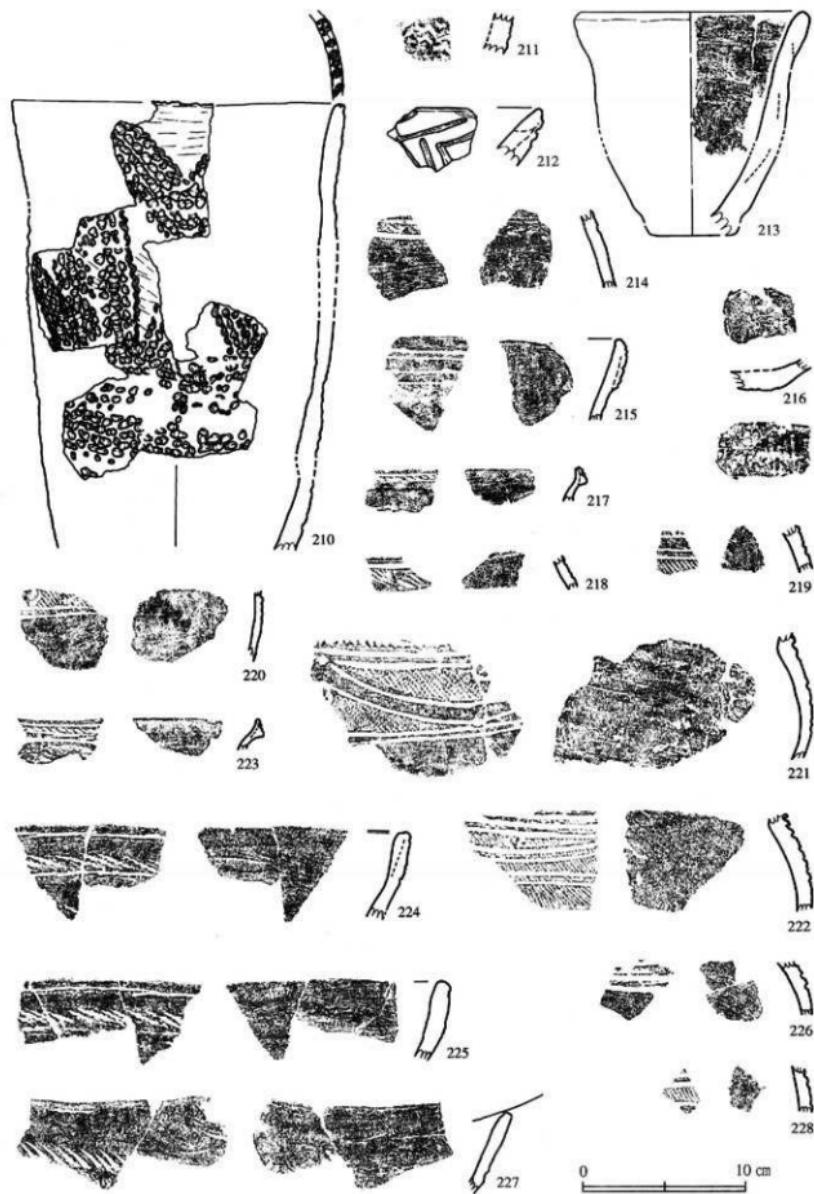
第21図 SK・11・26・31 遺構実測図



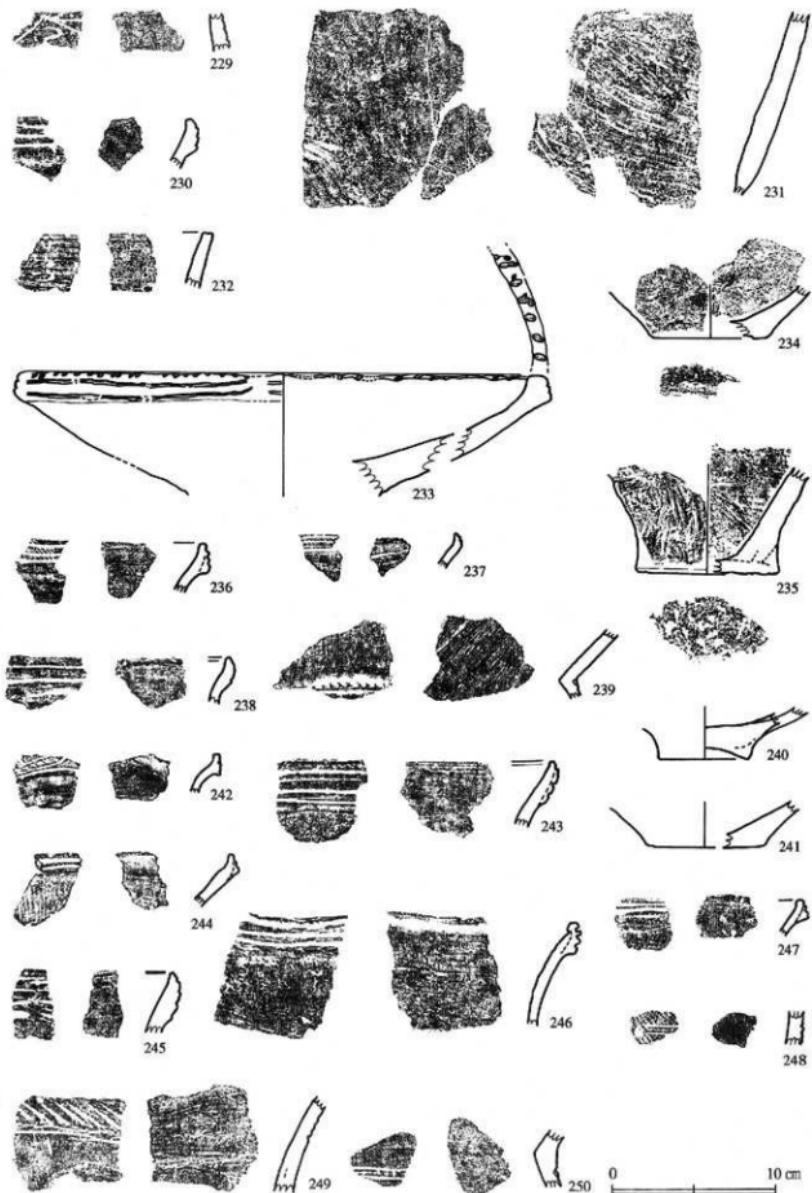
第22図 SK-40・41 遺構実測図



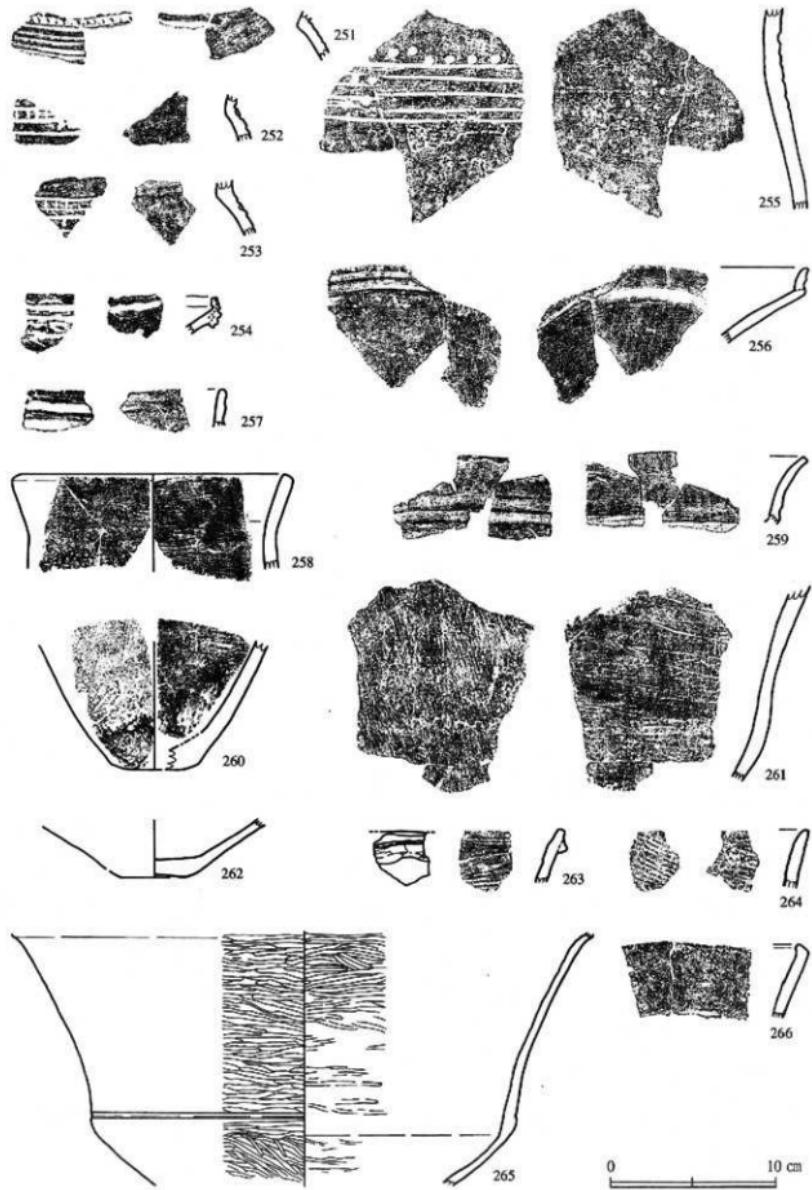
第23図 SK-13・17・25・31・58 遺構実測図



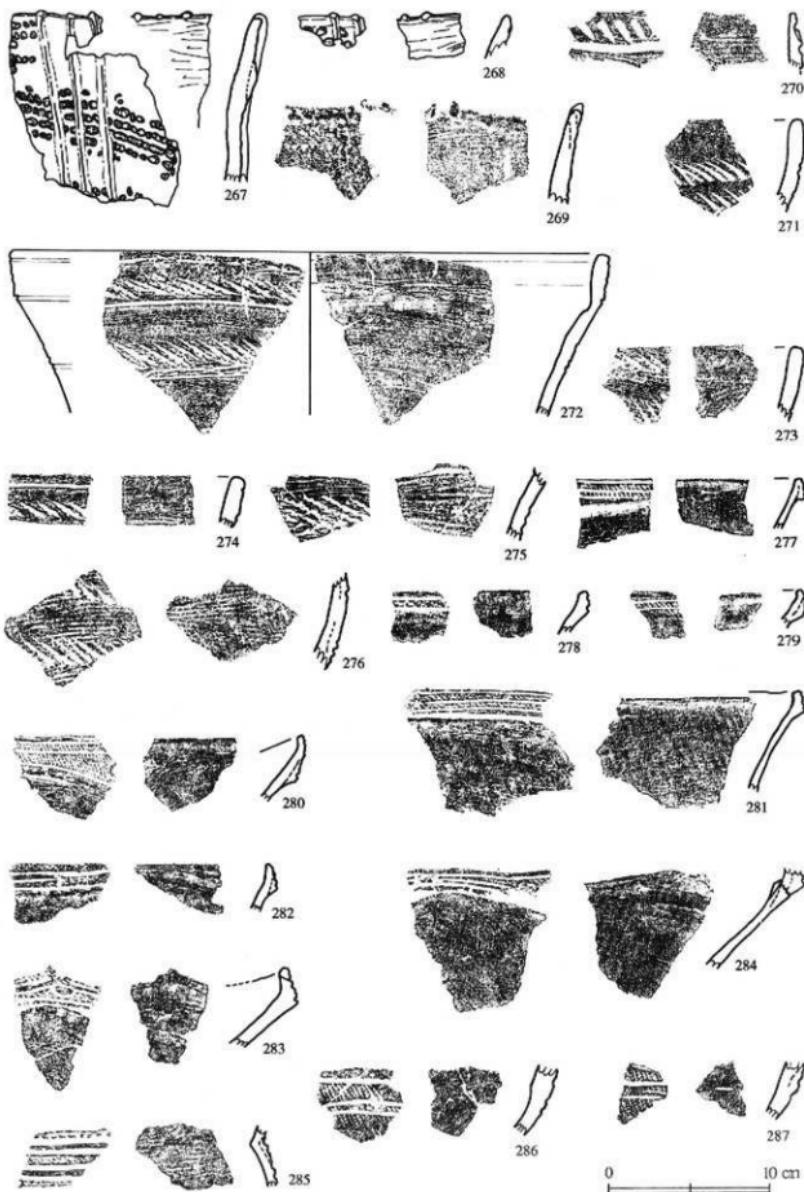
第24図 SK出土 縄文土器実測図（1）



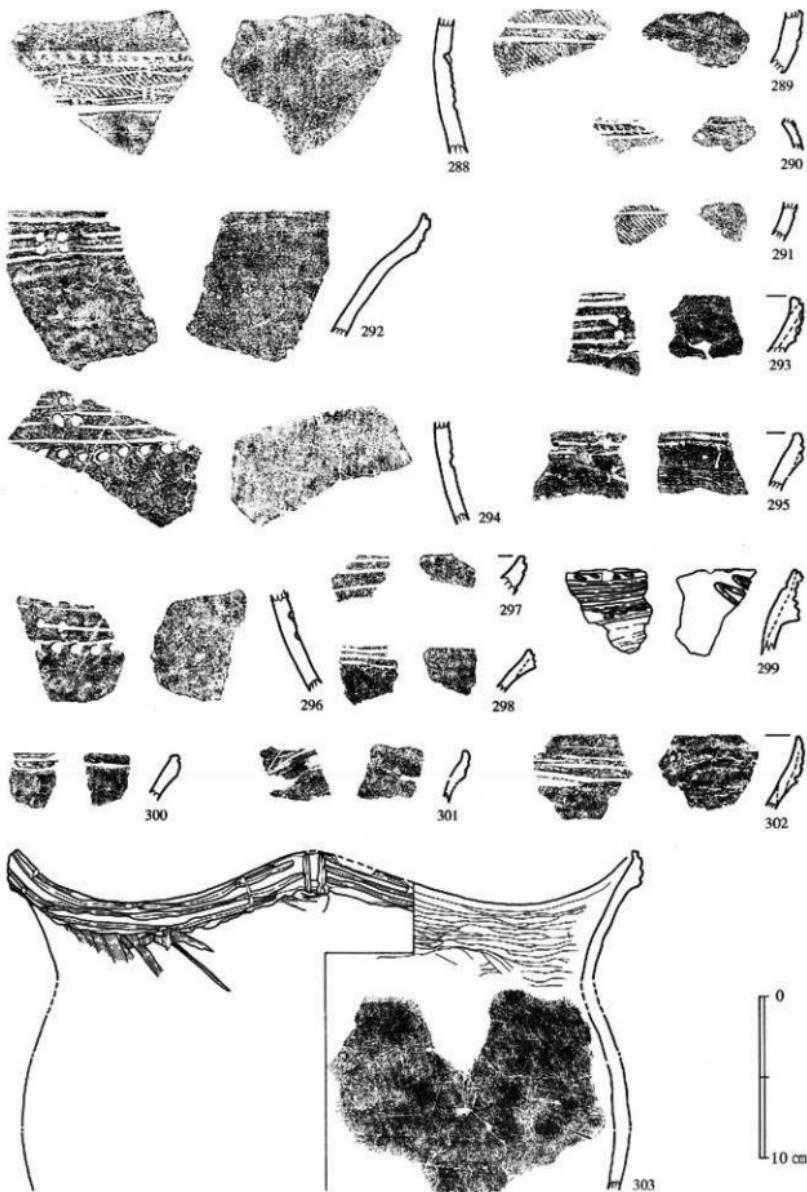
第25図 SK出土縄文土器実測図（2）



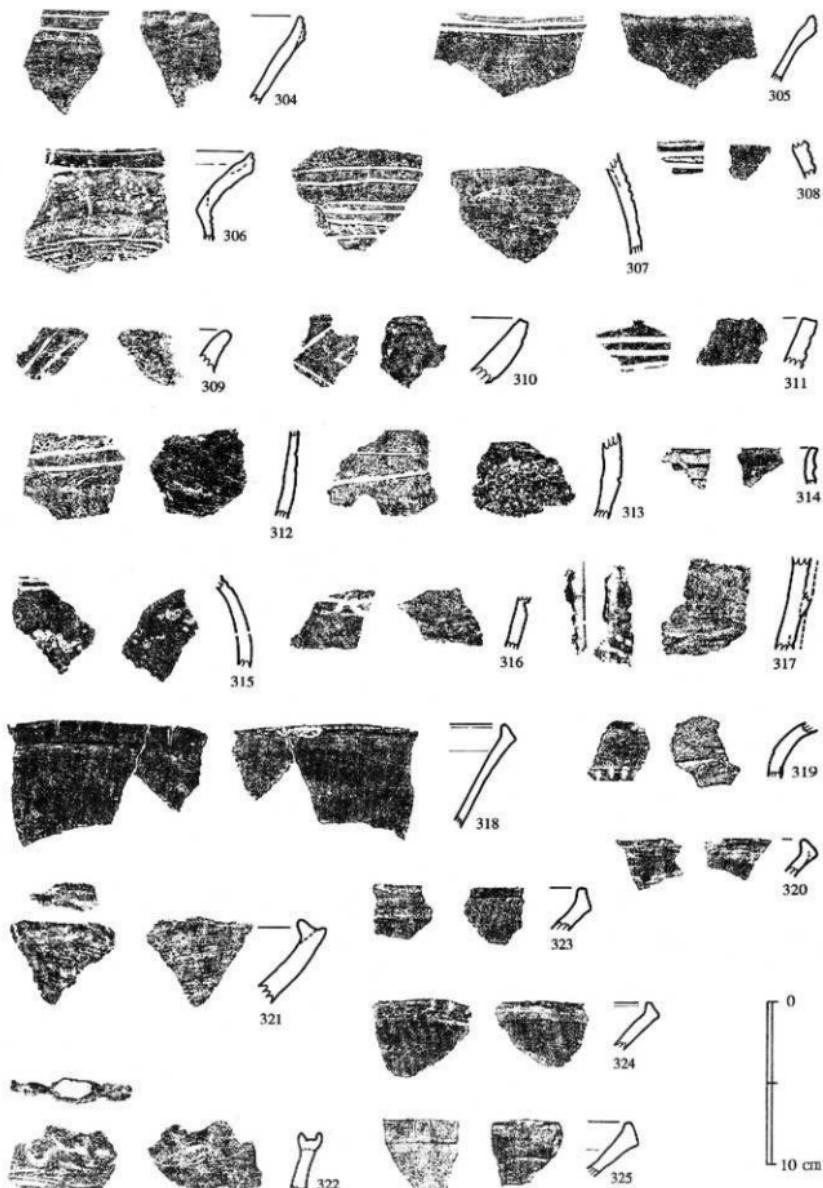
第26図 SK出土繩文土器実測図（3）



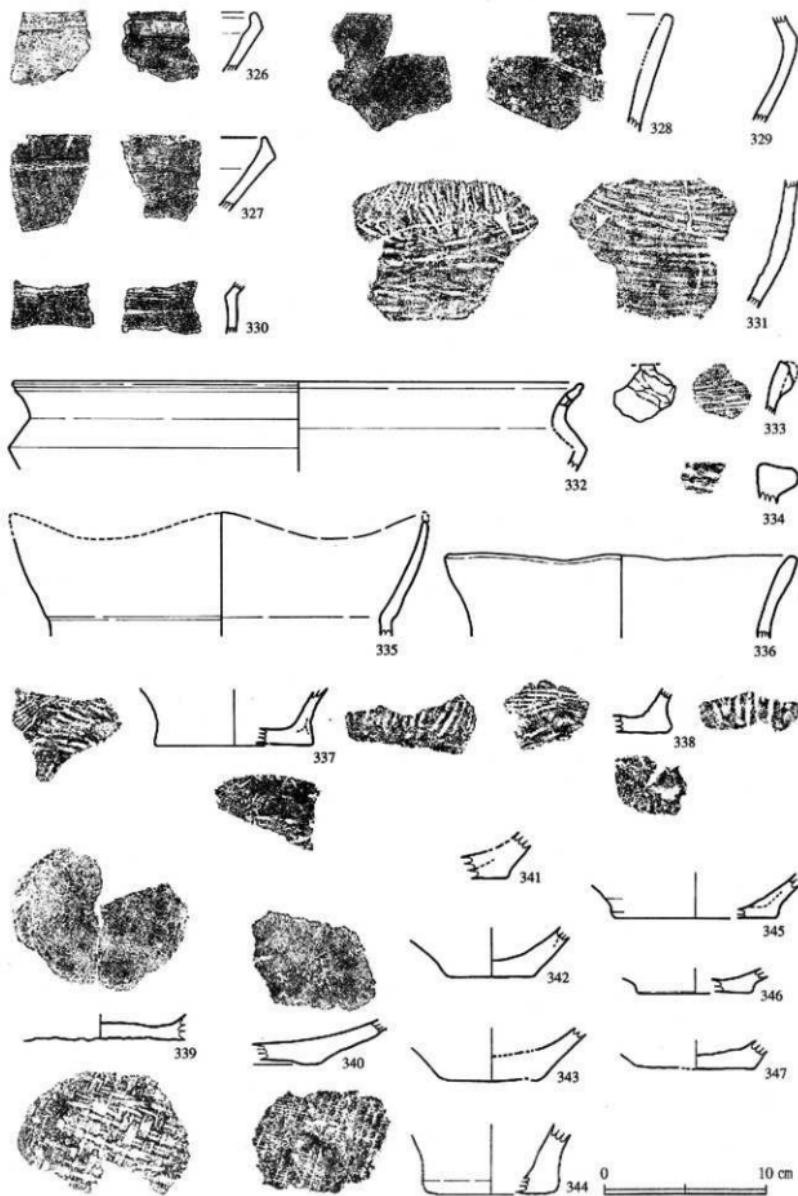
第27図 調査区出土 縄文土器実測図（1）



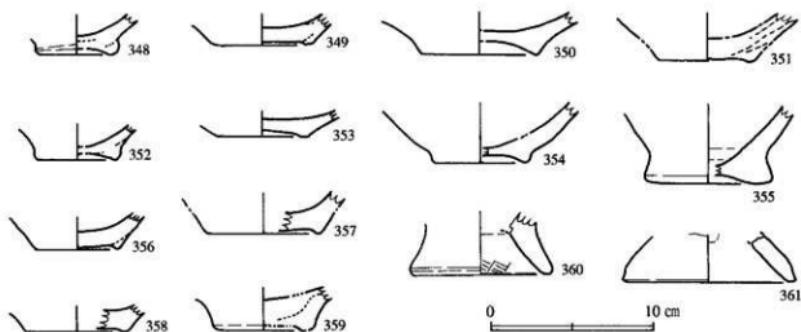
第28図 調査区出土 純文土器実測図 (2)



第29図 調査区出土 純文土器実測図（3）



第30図 調査区出土 繩文土器実測図 (4)



第31図 調査区出土 繩文土器実測図（5）

#### SK-31（第23図）

長径94cm・短径70cmの楕円形を呈し、深さ50cmを測る。北寄りには、長径40cm前後・厚さ10cm前後の自然碟3点が入っており、台石の素材用デボと推定される。

覆土には、後期後半の土器片が数点流れ込んでいた。

#### SK-58（第23図）

長軸5.5m・幅1.3~2mの不整楕円形を呈し、最深部は80cmを測る。遺構の東2~3m付近は、長さ9mにわたって半月型に30~40cm掘り下げられている。この面から土坑が切り込まれていたので、付随する構築と考えられる。

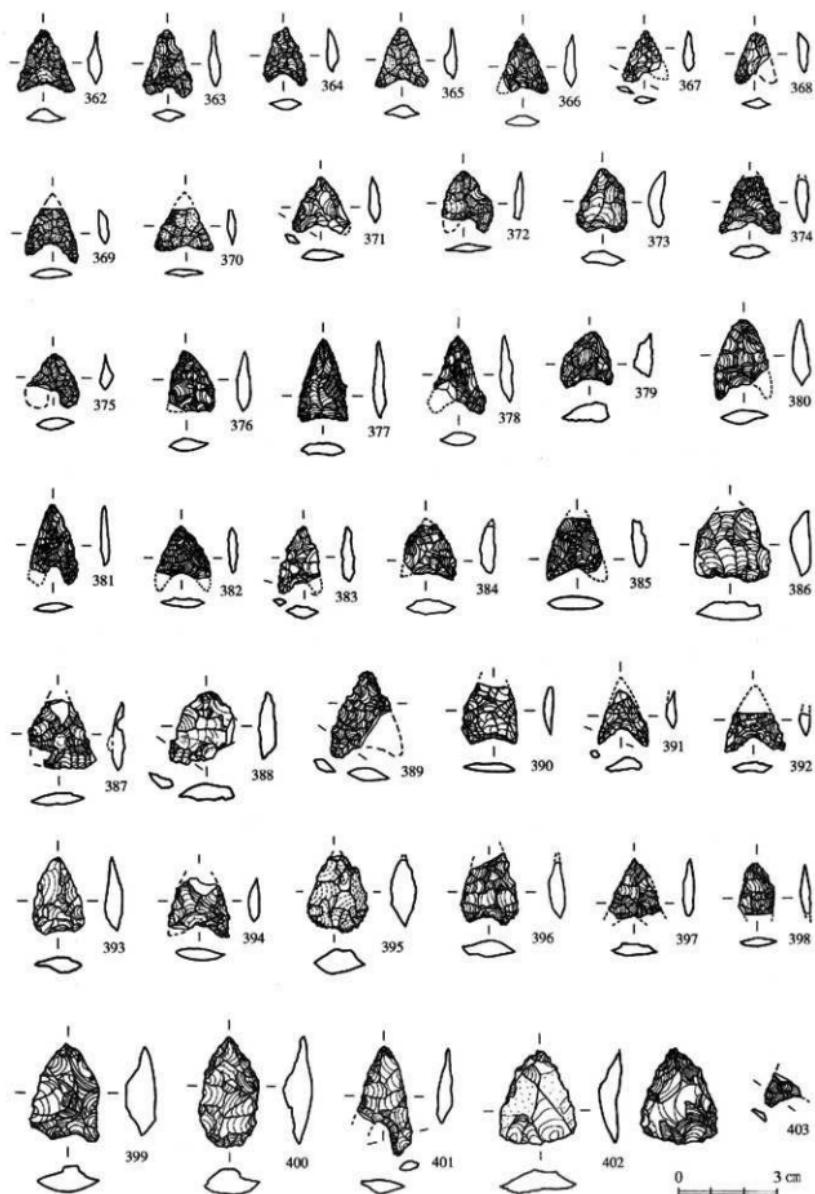
出土遺物は少なく、1点（264）のみ図化した。

#### その他の遺構と出土遺物

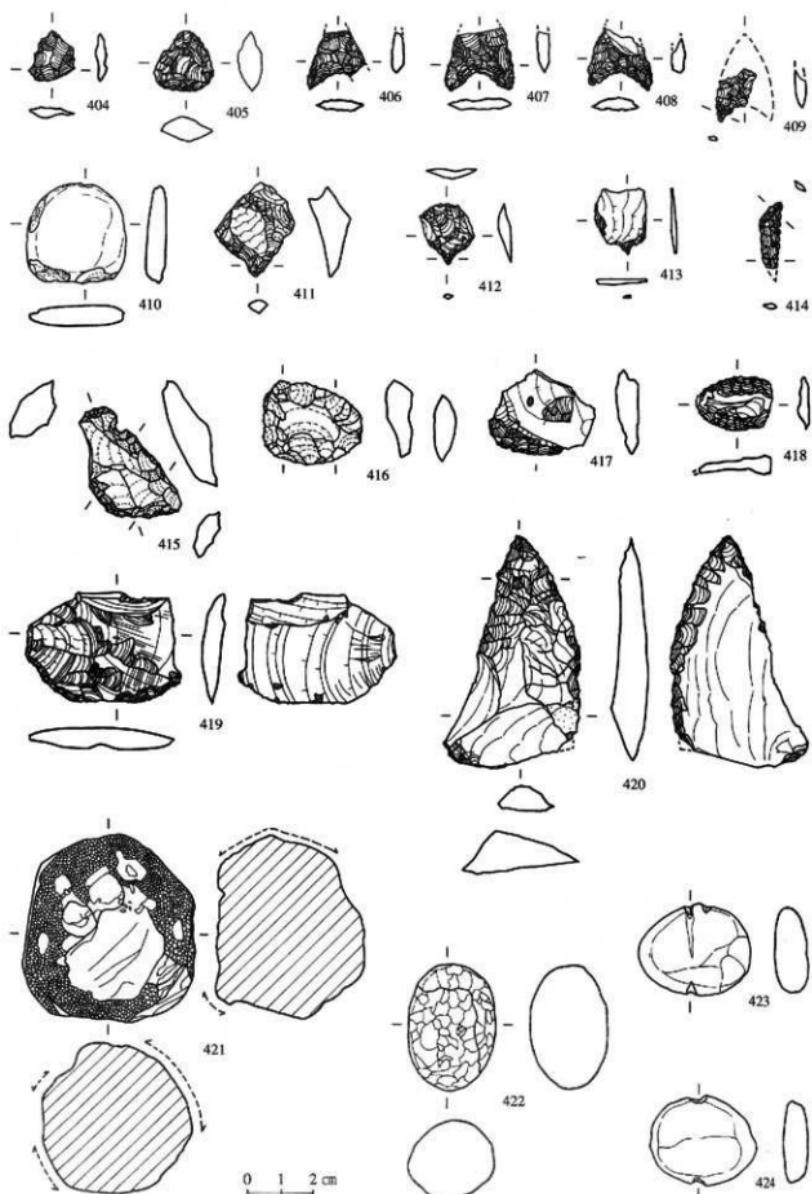
前期の遺構は検出されなかったが、第24図-210や第27図-267~269のような深浦式土器が出土している。調査区内での最古の遺物であるが、流れ堆積のIVa層に包蔵していることから、調査区の南側に遺構が埋蔵している可能性がある。

後期後半から晩期前半の土器片は約1700点以上出土しているが、遺構の機能を示す出土状態のものは無い。一定期間の居住を示す石皿（第35図-443・444）や磨石（第34図-425~第35図-435）・石錘（第34図-423・424）は出土したが、堅穴住居は検出されなかった。

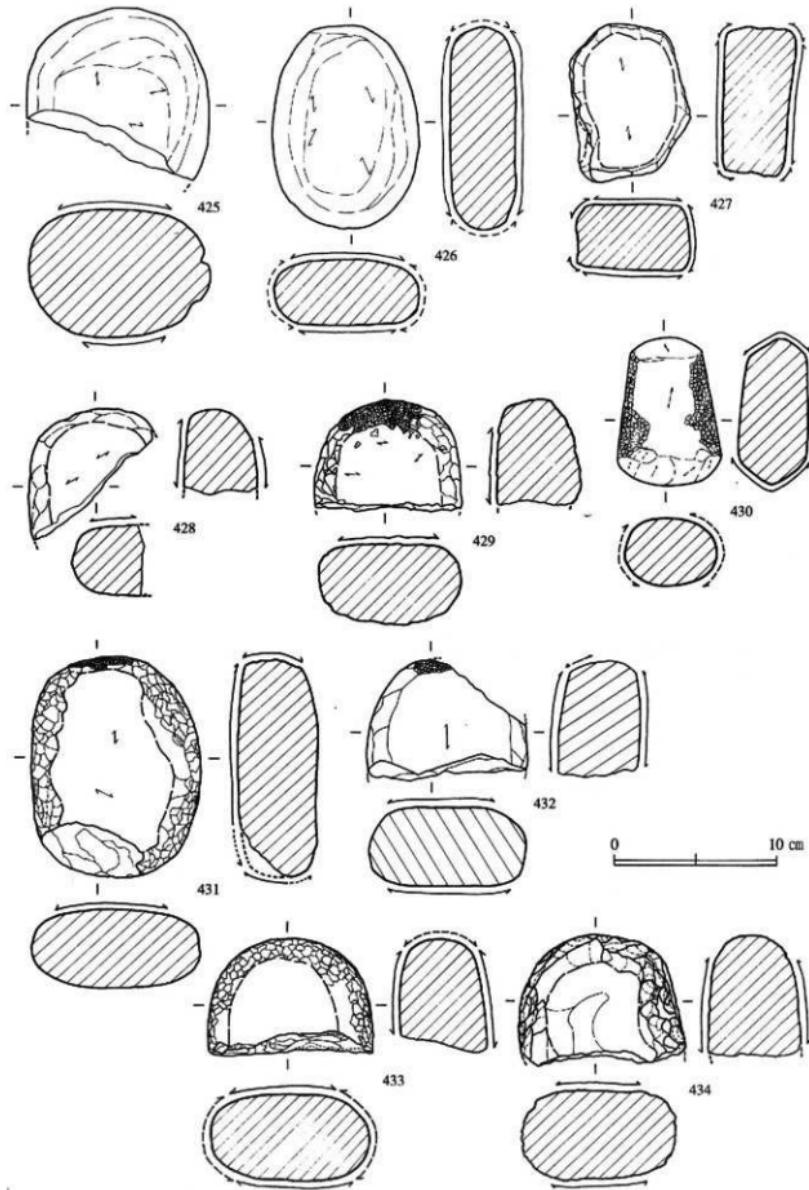
打製石器などの小型の石器はサンプリングエラーも多いと思われるが、製品のほか、多数の網片・チップに加え、敲き石も出土しており、遺跡内での石器生産も行なわれたに違いない。また、器面調整具（第35図-441）も出土しており、土器の製作も行なわれた、一般的な聚落といえる。



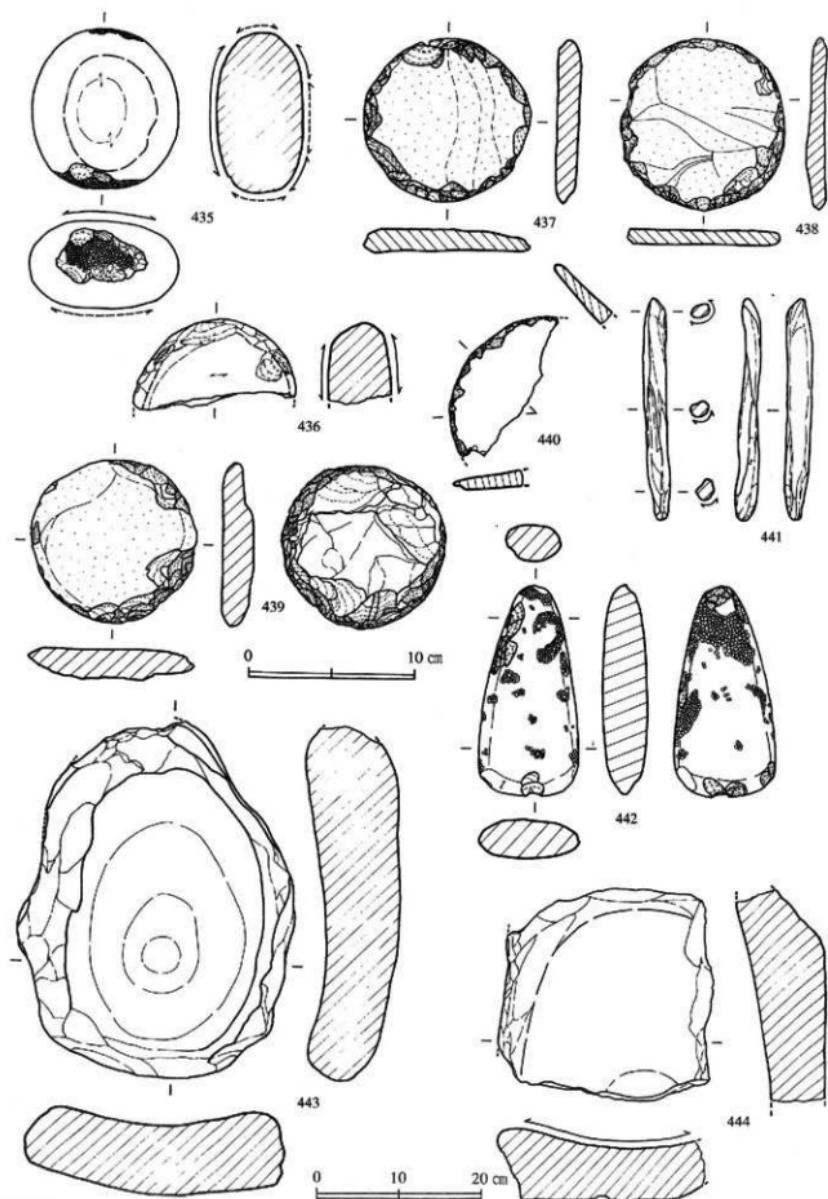
第32図 調査区出土 石器実測図 (1)



第33図 調査区出土 石器実測図 (2)



第34図 調査区出土石器実測図（3）



第35図 調査区出土 石器実測図 (4)

表1 出土遺物観察表(1) 土器(1)

No	出土地	種類	器種	法量(cm)		外 面	内 面	胎 土	焼 成	色 外 面	調 内 面	備考	
				口径	底径								
1	S A-01	縄文土器	深鉢	—	70	—	丁寧工具ナデ	ミガキ	粗砂や多量	良	淡黄褐色	淡黄～灰	
2	S A-01	土師器	壺	—	—	—	ナデ	ナデ	微砂多量	良	褐褐色	灰～淡灰褐色	
3	S A-01	土師器	壺	—	—	—	ナデ	工具ナデ	微砂少量	良	褐褐色～淡灰褐色	淡黄褐色	
4	S A-01	土師器	壺	—	—	—	ナデ	ヘラナデ	微砂少量	良	淡灰褐色	淡黄～淡灰褐色	
5	S A-01	土師器	壺	—	—	—	ナデ	丁寧ナデ	微砂少量	良	基灰	黄褐色～淡灰褐色	
6	S A-01	土師器	壺	—	—	—	ナデ	—ハケ	基灰少量	良	基灰	淡黄～淡灰褐色	
7	S A-01	土師器	壺	—	—	—	ナデ	丁寧工具ナデ	基灰少量	良	淡茶褐色	淡黄褐色～淡灰褐色	
8	S A-01	土師器	壺	—	—	219	—	ナデ	ナデ	微砂多量	ややあまい	黄褐色～淡灰褐色	淡黄褐色～淡灰褐色
9	S A-01	土師器	壺	—	—	—	ミガキ	ハケ	微砂少量	良	淡灰褐色	淡黄褐色～淡灰褐色	
10	S A-01	土師器	壺	—	—	—	ナデ	ナデ	微砂や多い	ややあまい	淡橙褐色～橙褐色	淡黄褐色	
11	S A-01	土師器	壺	—	—	—	ナデ	ナデ	微砂少量	ややあまい	橙褐色	淡黄～灰褐色	
12	S A-01	土師器	壺	—	—	—	ナデ	工具ナデ	微砂多量	良	淡橙褐色	淡橙褐色	
13	S A-01	土師器	壺	—	—	76	—	ナデ	ナデ	微砂や多い	ややあまい	淡黄褐色	淡黄褐色
14	S A-01	土師器	壺	—	—	64	—	粗ナデ	丁寧工具ナデ	微砂多量	良	淡青灰～褐色	淡褐色
15	S A-01	土師器	壺	—	—	76	—	粗ナデ	工具ナデ	微砂多量	ややあまい	淡黄褐色～暗褐色	淡黄褐色～暗褐色
16	S A-01	土師器	壺	—	—	55	—	工具ナデ	ナデ	微砂多量	良	淡黄～灰褐色	淡橙褐色
17	S A-01	土師器	壺	—	—	76	—	ナデ	ナデ	粗砂少量	ややあまい	淡黄褐色～淡橙褐色	淡灰褐色
18	S A-01	土師器	壺	—	—	124	—	ヘラナデ～ミガキ	粗ミガキ～ ミガキ	粗砂少量	ややあまい	淡黄～淡橙褐色	淡黄～淡橙褐色
19	S A-01	土師器	壺	—	—	—	ミガキ	ミガキ	粗砂少量	ややあまい	丹	淡橙褐色	被然
20	S A-01	土師器	鉢	—	—	180	—	ミガキ	ナデ	良	ややあまい	朱褐色(丹)	淡黄褐色～橙褐色
21	S A-01	土師器	高环	—	—	166	—	ミガキ	ミガキ	微砂少量	ややあまい	桃褐色	褐～淡灰褐色
22	S A-01	土師器	高环	—	—	—	ミガキ	ミガキ	良	ややあまい	丹	暗灰褐色	
23	S A-01	土師器	高环	—	—	—	ナデ	ミガキ	良	ややあまい	茶褐色(化粧土?)	淡黄～淡灰褐色	
24	S A-01	土師器	高环	—	—	—	ナデ	ナデ	良	ややあまい	紅褐色～黃褐色	淡橙褐色	
25	S A-01	土師器	高环	—	—	—	ミガキ	ミガキ	粗砂少量	ややあまい	暗茶褐色～暗紅茶褐色	墨灰	
26	S A-01	土師器	高环	—	—	—	ミガキ	ミガキ	粗砂少量	良	桃褐色	褐～淡灰褐色	
27	S A-01	土師器	高环	—	—	—	ナデ	ハケ	粗砂少量	ややあまい	丹	淡橙褐色	
28	S A-01	土師器	高环	—	—	—	ミガキ	ミガキ	粗砂少量	ややあまい	丹	暗灰褐色～墨灰	
29	S A-01	土師器	高环	—	—	—	ナデ	ナデ	粗砂微量	ややあまい	淡褐色～茶褐色	淡褐色～茶褐色	
30	S A-01	土師器	高环	—	—	—	ミガキ	ナデ	微砂微量	ややあまい	暗茶褐色～黃褐色	丹	
31	S A-01	土師器	高环	—	—	—	ミガキ	ナデ	良	ややあまい	朱褐色～淡橙褐色	丹	
32	S A-01	土師器	高环	—	—	—	ミガキ	ナデ	良	ややあまい	桃褐色	暗灰褐色～墨灰	
33	S A-01	土師器	高环	—	—	—	ナデ	ミガキ	良	ややあまい	赤紫	淡黄褐色	
34	S A-01	土師器	高环	—	—	134	—	ミガキ	ナデ	良	ややあまい	茶～赤茶(丹)程褐色	淡褐色～淡墨褐色
35	S A-01	土師器	高环	—	—	122	—	ナデ	ナデ	良	ややあまい	珊瑚褐色	淡黄褐色～暗灰褐色
36	S A-02	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂や多い	良	暗茶褐色～黃褐色	灰褐色～暗灰褐色	
37	S A-02	土師器	壺	—	—	—	ミガキ	ミガキ	良	ややあまい	朱褐色～淡橙褐色	丹	
38	S A-02	土師器	壺	—	—	—	ミガキ	ミガキ	良	ややあまい	桃褐色	暗灰褐色～墨灰	
39	S A-02	土師器	壺	—	—	—	ミガキ	ミガキ	粗砂少量	ややあまい	赤紫	淡黄褐色	
40	S A-02	土師器	壺	—	—	—	ミガキ	ナデ	良	ややあまい	珊瑚褐色	淡黄褐色～暗灰褐色	
41	S A-02	土師器	壺	—	—	—	ミガキ	ナデ	良	ややあまい	朱褐色～淡橙褐色	丹	
42	S A-02	土師器	壺	—	—	—	ミガキ	ナデ	良	ややあまい	桃褐色	淡黄褐色	
43	S A-02	土師器	壺	—	—	—	ミガキ	ナデ	良	ややあまい	赤紫	淡黄褐色～淡灰褐色	
44	S A-02	土師器	壺	—	—	—	ナデ	ナデ	微砂少量	ややあまい	褐色	淡黄褐色～淡灰褐色	
45	S A-02	土師器	壺	—	—	339	—	工具ナデ	ナデ	粗砂や多い	良	淡橙褐色	淡黄褐色
46	S A-02	土師器	壺	—	—	—	ミガキ	ナデ	微砂多量	良	淡黄褐色～淡灰褐色	淡黄褐色	
47	S A-02	土師器	壺	—	—	—	ミガキ	二工具ナデ	微砂少量	ややあまい	淡橙褐色～淡黄褐色	淡黄褐色～淡灰褐色	
48	S A-02	土師器	壺	—	—	218	—	ミガキ	ナデ	微砂少量	良	黄褐色～暗褐色	淡黄褐色～淡灰褐色
49	S A-02	土師器	壺	—	—	196	—	ナデ	ナデ	微砂少量	良	淡黄褐色～淡灰褐色	淡黄褐色
50	S A-02	土師器	壺	—	—	182	—	ナデ	ナデ	微砂少量	良	淡橙褐色～淡灰褐色	淡黄褐色
51	S A-02	土師器	壺	—	—	—	ナデ	ナデ	微砂少量	良	基灰～淡黄褐色	淡茶褐色～黄褐色	
52	S A-02	土師器	壺	—	—	—	ナデ	ナデ	微砂や多い	良	淡黄褐色	淡黄褐色	
53	S A-02	土師器	壺	—	—	199	—	ナデ	ナデ	微砂少量	ややあまい	灰褐色～淡灰褐色	灰褐色～淡灰褐色

表2 出土遺物観察表(2) 土器(2)

No.	出土地	種類	器種	法量(cm)			外面	裏面	胎土	表面	背面		備考
				口径	底径	高さ					ナメ	ナメ	
第1回	S A-02	土器器	壺	—	—	—	ハケーナメ	ハケ	微細少量	良	淡黄褐色	淡灰褐色	淡灰褐色
54	S A-02	土器器	壺	—	—	—	工具ナメ	ナメ	微細少量	良	淡灰褐色	淡灰褐色	淡灰褐色
55	S A-02	土器器	壺	—	—	—	ナメ	ナメ	微細や多い	良	褐色	褐色	褐色
56	S A-02	土器器	壺	270	—	—	ナメ	ナメ	微細や多い	良	淡黄褐色	褐色	褐色
57	S A-02	土器器	壺	—	—	—	T.工具ナメ	ナメ	微細少量	良	淡黄褐色	褐色	褐色
58	S A-02	土器器	壺	—	—	—	ハケ	ハケ	微細少量	良	褐色	褐色	褐色
59	S A-02	土器器	壺	—	—	—	ナメ	ナメ	微細や多い	良	暗茶褐色	淡黄褐色	淡黄褐色
60	S A-02	土器器	壺	—	—	—	ハケ	ナメ	微細少量	良	淡黄褐色	褐色	褐色
61	S A-02	土器器	壺	273	—	—	ナメ	ハケ	微細や褐色	良	淡茶褐色	褐色	褐色
62	S A-02	土器器	壺	—	—	—	ナメ	ナメ	微細や多い	良	灰褐色	褐色	褐色
63	S A-02	土器器	壺	—	—	—	ナメ	ナメ	微細少量	良	淡黄褐色	褐色	褐色
64	S A-02	土器器	壺	295	—	—	粗ナメ	粗ナメ	粗細多量	良	淡黄褐色	褐色	褐色
第12回	S A-02	土器器	壺	—	—	—	工具ナメ	ナメ	微細少量	良	淡灰褐色	褐色	褐色
65	S A-02	土器器	壺	—	—	—	ナメ	ナメ	粗細不整色粒	良	淡褐色	淡黄褐色	淡黄褐色
66	S A-02	土器器	壺	—	—	—	ハケ	ナメ	微細少量	良	淡灰褐色	褐色	褐色
67	S A-02	土器器	壺	—	—	—	ナメ	ナメ	微細少量	良	淡黄褐色	褐色	褐色
68	S A-02	土器器	壺	—	—	—	ナメ	ナメ	微細少量	ややあまい	淡黄褐色	褐色	褐色
69	S A-02	土器器	壺	—	—	—	ナメハケ	ナメ	微細少量	良	黃褐色	淡褐色	褐色
70	S A-02	土器器	壺	—	—	—	ナメ	ナメ	粗細少量	ややあまい	黃褐色	褐色	褐色
71	S A-02	土器器	壺	—	—	—	ナメ	ナメ	微細や多い	良	淡灰褐色	淡黄褐色	淡黄褐色
72	S A-02	土器器	壺	—	—	—	ハケ	粗ナメ	微細少量	良	褐色	褐色	褐色
73	S A-02	土器器	壺	—	—	—	ナメ	ハケ	微細少量	良	淡灰褐色	褐色	褐色
74	S A-02	土器器	壺	—	—	—	ナメ	ハケ	良	良	淡灰褐色	褐色	褐色
75	S A-02	土器器	壺	—	—	—	ナメ	ナメ	微細多量	良	淡灰褐色	褐色	褐色
76	S A-02	土器器	壺	—	—	—	板ナメ	板ナメ	微細多量	ややあまい	淡褐色	褐色	褐色
77	S A-02	土器器	壺	—	57	—	粗工具ナメ	ナメハケ	粗細多量	ややあまい	淡褐色	褐色	褐色
78	S A-02	土器器	壺	—	97	—	粗工具ナメ	ナメ	粗細多量	あまい	黃褐色	褐色	褐色
79	S A-02	土器器	壺	—	—	—	ナメ	ナメ	微細や多い	良	黃褐色	淡褐色	褐色
80	S A-02	土器器	壺	—	84	—	ナメ	ナメ工具ナメ	微細不整色粒	ややあまい	淡褐色	淡褐色	褐色
81	S A-02	土器器	壺	—	71	—	板ナメ	ナメハケ	微細少量	ややあまい	淡褐色	褐色	褐色
82	S A-02	土器器	壺	—	81	—	ナメ	ハケナメ	微細少量	良	淡褐色	淡褐色	褐色
83	S A-02	土器器	壺	—	57	—	粗ナメ	工具ナメ	微細少量	良	淡黄褐色	褐色	褐色
84	S A-02	土器器	壺	—	65	—	粗工具ナメ	ナメ	微細少量	良	淡褐色	褐色	褐色
85	S A-02	土器器	壺	171	—	—	ミガキ	粗ミガキ	良	あまい	丹	褐色	褐色
86	S A-02	土器器	壺	—	90	—	ミガキ	ハケ	良	ややあまい	丹	褐色	褐色
87	S A-02	土器器	壺	—	—	—	ミガキ	ナメ	良	あまい	丹	黃褐色	褐色
第13回	S A-02	土器器	壺	—	—	—	粗ナメ	ナメ	微細や多い	良	淡灰褐色	淡褐色	褐色
88	S A-02	土器器	壺	—	—	—	粗ナメ	ナメ	淡灰褐色	良	丹	褐色	褐色
89	S A-02	土器器	壺	—	—	—	ミガキ	ナメ	ややあまい	良	丹	黃褐色	褐色
90	S A-02	土器器	鉢	—	—	—	ミガキ	丁寧ハケ	良	ややあまい	淡灰褐色	淡褐色	褐色
91	S A-02	土器器	鉢	—	—	—	ハラミガキ	ナメ	良	ややあまい	淡紅茶—丹	淡褐色	褐色
92	S A-02	土器器	鉢	—	—	—	ミガキ	工具ナメ	良	ややあまい	赤褐色	褐色	褐色
93	S A-02	土器器	鉢	—	—	—	ナメ板ナメ	ナメ	微細少量	良	淡黃褐色	淡褐色	褐色
94	S A-02	土器器	鉢	71	—	—	半ミガキ	ナメ	粗細微量	良	淡褐色	褐色	褐色
95	S A-02	土器器	鉢	—	135	—	粗工具ナメ	粗工具ナメ	微細多量	良	黃褐色	淡褐色	褐色
96	S A-02	土器器	鉢	—	45	—	ナメ工具ナメ	ハケナメ	微細少量	良	淡黃褐色	淡褐色	褐色
97	S A-02	土器器	高杯	209	—	—	粗ミガキ	ナメ	微細微量	ややあまい	丹	褐色	褐色
98	S A-02	土器器	高杯	189	—	—	ハケ	ナメ	良	ややあまい	丹	黃褐色	褐色
99	S A-02	土器器	高杯	280	—	—	ミガキ	ミガキ	微細微量	ややあまい	丹	淡褐色	褐色
100	S A-02	土器器	高杯	173	—	—	ナメミガキ	ハケナメ	良	ややあまい	紅褐色	淡褐色	褐色
101	S A-02	土器器	高杯	169	—	—	ナメ	ナメ	良	あまい	紅茶	淡褐色	褐色
102	S A-02	土器器	高杯	—	—	—	ナメ	ナメ	微細少量	あまい	丹	褐色	褐色

表3 出土遺物観察表(3) 土器(3)

No	出土地	種類	器種	法量(cm)			外 面	内 面	胎 土	焼 成	色 外 面	内 面	備考	
				口径	底径	器高								
第13回														
103	S A-02	土器器	高环	—	—	—	ナゲ	ナゲ	微砂微量	あまり	淡褐色	淡灰黄	月板	
104	S A-02	土器器	高环	—	—	—	粗ミガキ	ナゲ	微砂微量	やや多い	紅褐色	淡灰灰	月板	
105	S A-02	土器器	高环	—	135	—	ミガキ	—	良	やや多い	暗茶灰~褐灰	暗茶灰~褐灰	月板	
106	S A-02	土器器	高环	—	—	—	ハケ	—	良	やや多い	桃褐色	桃褐色	月板	
107	S A-02	土器器	高环	—	—	—	ミガキ	ミガキ	微砂少量	やや多い	朱褐色	淡黄褐色	月板	
108	S A-02	土器器	高环	—	—	—	ナゲ	ミガキ	微砂少量	良	丹	暗灰褐色	月板	
109	S A-02	土器器	高环	—	—	—	ミガキ	ナゲ	微砂微量	やや多い	丹	暗灰~灰褐色	月板	
110	S A-02	土器器	高环	—	148	—	ミガキ	工具ナデー 種々ミガキ	ハケ	良	朱褐色	淡黄褐色	月板	
111	S A-02	土器器	小型深鉢	32	48	80	ハケ~ミガキ 底部ナゲ	ハケ~ミナゲ ナゲ	良	やや多い	淡褐色	黄褐色	月板	
112	S A-02-03	須恵器	鉢	128	—	120	ナゲ	ナゲ	良	良好	淡黑色~灰褐色	暗灰褐色	月板	
第15回														
115	S A-03	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナゲ	工具ナデ	微砂微量	良	暗灰~淡茶黃	淡黃褐色~淡黃褐色		
116	S A-03	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ 種々ミガキ	石英やや多い	良	淡茶褐色~暗褐色	茶褐色~暗褐色		
117	S A-03	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナゲ	ミガキ	微砂やや多い	良	茶褐色	褐色		
118	S A-03	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナゲ	ナゲ	微砂少量	良	淡灰~茶灰	淡灰~淡黃灰		
119	S A-03	縄文土器	深鉢	—	—	—	粗工具ナデ	ナゲ	良	良	淡黃白	淡黃~淡灰		
120	S A-03	縄文土器	深鉢	—	—	—	衆底	衆底	微砂少量	良	淡灰~淡黃白	淡灰		
121	S A-03	縄文土器	深鉢	—	—	—	粗ミガキ	ミガキ	微砂黑色粒 やや多い	良	淡褐色~淡黃褐色	淡黃褐色~淡黃褐色		
122	S A-03	縄文土器	深鉢	—	—	—	ヘラ~工具ナデ	ナゲ	粗砂少量	良	茶褐色	茶褐色		
123	S A-03	縄文土器	深鉢	—	—	—	ヘラ~工具ナデ	ミガキ	微砂少量	良	褐色~櫻褐色	暗褐色~櫻褐色		
124	S A-03	縄文土器	深鉢	—	—	—	粗工具ナデ	ナゲ	良	良	淡黃	黑褐色		
125	S A-03	縄文土器	皿	294	205	44	ナゲ	衆底~ 工具ナデ	微砂やや多い	良	暗褐色~ 底灰~淡黃白	淡黃褐色~ 底灰~淡黃白	網代灰	
126	S A-03	縄文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ~粗工 具ナデ	工具ナデ	良	良	灰褐色~ 底灰~淡黃白	灰褐色~ 底灰~淡黃白		
127	S A-03	土器器	甕	275	—	—	ナゲ	ハケ~ナゲ	微細砂 基褐色粒少	良	灰褐色	淡黃褐色~ 底灰~淡黃白		
128	S A-03	土器器	甕	314	—	—	粗工具ナデ	ナゲ	微細砂少	良	灰褐色~ 底灰~淡黃白	淡黃褐色~ 底灰~淡黃白		
129	S A-03	土器器	甕	—	—	—	粗ナゲ	ハケ	微砂少	良	淡灰~黃褐色	淡黃~淡黃褐色		
130	S A-03	土器器	甕	—	—	—	粗ナゲ	ナゲ	微細砂少	良	暗茶灰	淡灰~ 底灰~淡黃白		
131	S A-03	土器器	甕	—	—	—	ナゲ	粗ナゲ	微砂やや多い	良	櫻褐色	淡黃褐色		
132	S A-03	土器器	甕	—	—	—	ナゲ	ハケ	微細砂少	良	茶褐色	淡黃褐色		
第16回														
133	S A-03	土器器	甕	230	—	—	粗ナゲ	ナゲ	微砂やや多い	良	程黃~灰褐色	淡灰褐色~淡黃褐色		
134	S A-03	土器器	甕	—	—	—	ナゲ	ナゲ	微砂多	良	帶黃	程黃		
135	S A-03	土器器	甕	—	—	—	ナゲ	ハケ	微細砂少	やや多い	淡褐色~ 底灰~淡黃白	淡灰~ 底灰~淡黃白		
136	S A-03	土器器	甕	—	—	—	ナゲ	ナゲ	微細砂やや多い	良	淡褐色	淡黃褐色		
137	S A-03	土器器	甕	—	—	—	粗工具ナデ	工具ナデ	微細砂少	やや多い	—	淡褐色		
138	S A-03	土器器	甕	—	—	—	ナゲ~工具ナデ	ナゲ	微砂やや多い	やや多い	淡黃褐色~ 底灰~淡黃白	淡黃褐色~ 底灰~淡黃白	外蓋ス	
139	S A-03	土器器	甕	—	—	—	ナゲ	ハケ	微砂少	良	淡黃褐色	淡黃褐色~ 底灰~淡黃白		
140	S A-03	土器器	甕	—	—	—	ナゲ	ハケ	細砂少	良	淡黃褐色	淡黃褐色		
141	S A-03	土器器	甕	—	—	—	粗ナゲ	粗ナゲ	微細砂多	やや多い	淡褐色~ 底灰~淡黃白	淡茶褐色~ 底灰~淡黃白		
142	S A-03	土器器	甕	—	—	70	—	ナゲ	ナゲ	細砂多	良	黃褐色	暗褐色~ 底灰~淡黃白	
143	S A-03	土器器	甕	—	—	76	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂少	やや多い	淡黃褐色	淡灰黃	
144	S A-03	土器器	甕	—	—	67	—	ナゲ	ハケ	微砂やや多	良	淡褐色~ 底灰~淡黃白	程黃	
145	S A-03	土器器	甕	—	—	—	粗工具ナデ	—	微砂やや多	良	淡茶灰~ 底灰~淡黃白	黃褐色		
146	S A-03	土器器	甕	—	—	63	—	ナゲ	ナゲ	微砂やや多	やや多い	淡褐色~ 底灰~淡黃白	淡褐色~ 底灰~淡黃白	
147	S A-03	土器器	甕	—	—	64	—	工具ナデ	—	微細砂やや多	良	淡褐色~ 底灰~淡黃白	—	
148	S A-03	土器器	甕?	—	—	66	—	ナゲ	ハケ	微砂やや多	良	黃褐色	黃褐色~ 底灰~淡黃白	
149	S A-03	土器器	甕	—	—	60	—	ナゲ	ナゲ	細砂微量	あまり	桃褐色~ 底灰~淡黃白	碧黃	マメフ
150	S A-03	土器器	甕	—	—	67	—	ナゲ	ナゲ	微砂やや多	良	茶灰~桃褐色	黃褐色	
151	S A-03	土器器	甕	—	—	—	粗工具ナデ	板ナゲ	微砂やや多	良	褐色~淡黃白	淡黃褐色		
152	S A-03	土器器	甕	—	—	98	—	ナゲ~工具ナデ —板ナゲ	ナゲ~工具ナデ	良	良	淡黃褐色	淡黃褐色~ 底灰~淡黃白	
153	S A-03	土器器	甕	—	—	—	ミガキ	ナゲ	微砂微量	やや多い	紅褐色~茶褐色	暗褐色~ 底灰~淡黃白	丹	

表4 出土遺物観察表(4) 土器(4)

No.	出土地	種類	器種	往來(m)			調 外 面	整 内 面	胎 土	焼 成	色 外 面	調 内 面	備考
				口径	底径	器高							
第10回	S A-03	土師器	鉢	—	—	—	ミガキ	ミガキ	良	あまり	丹	黄褐色	
154	S A-03	土師器	鉢	156	—	66	ミガキ	ミガキ	良	ややあまり	淡赤褐色(底)	茶褐色~淡黄褐色	丹
155	S A-03	土師器	鉢	149	—	—	「其ナデーナデ」	ハケ	細砂やや多い	ややあまり	黄褐色	暗褐色	
156	S A-03	土師器	鉢	139	—	—	粗ミガキ	ナデ	良	あまり	丹	淡灰褐色~灰褐色	
157	S A-03	土師器	高環	—	—	—	ミガキ	粗ミガキ	微砂少量	ややあまり	丹	淡灰褐色~灰褐色	
158	S A-03	土師器	高環	—	—	—	ミガキ	ナデ	微砂少量	あまり	丹	淡灰褐色~暗褐色	
159	S A-03	土師器	高環	141	—	—	ミガキ	ミガキ	微砂少量	良	丹	淡灰褐色~暗褐色	
160	S A-03	土師器	高環	—	—	—	ミガキ	ミガキ	微砂少量	良	丹	灰褐色~暗褐色	
161	S A-03	土師器	高環	—	—	—	ミガキ	粗工具ナデ	粗微砂微量	ややあまり	丹	淡灰褐色~灰褐色	
162	S A-03	土師器	高環	—	—	—	ミガキ	粗ミガキ	良	丹	淡灰褐色~灰褐色		
163	S A-03	土師器	高環	—	—	—	ミガキ	ハケーナデ	微細砂少量	あまり	丹	淡灰褐色~淡灰色	
164	S A-03	土師器	高環	—	—	—	ハケ	ナデ	微砂少量	あまり	月	淡灰褐色	
165	S A-03	土師器	高環	—	—	—	ミガキ	ミガキ	微砂少量	ややあまり	淡紫紅	褐褐色~暗褐色	丹
166	S A-03	土師器	高環	—	—	—	「其ナデ」	ハケ	微砂多量	ややあまり	淡黃褐色~淡綠褐色	淡灰褐色~灰褐色	
167	S A-03	土師器	高環	—	—	—	ミガキ	ミガキーナデ	微砂少量	ややあまり	丹	淡黃褐色~灰褐色	
168	S A-03	土師器	高環	—	—	177	ミガキ	ナデ	微砂少量	ややあるいは	月	褐褐色~淡黑色	
169	S A-03	土師器	高環	—	—	—	ハラ留ーナデ	ナデ	微細砂少量	良	灰~灰褐色	灰~灰褐色	
集10回	SK-01	土師器	要	247	—	—	ナデー板ナデ	ナデ	微細砂少量	ややあまり	淡青色~淡灰褐色	淡棕褐色~暗灰褐色	
180	SK-01	土師器	要	246	—	—	粗工具ナデ	ナデ	微砂少量	良	淡黃褐色~灰褐色	淡青色~淡灰褐色	
181	SK-01	土師器	要	221	—	—	ミガキ	板ナデ	微細砂や多い	良	暗褐色~淡灰褐色	淡黃褐色~灰褐色	
182	SK-01	土師器	要	56	40	46	ナデ	ナデ	微砂少量	良	淡黃褐色	淡黃褐色	
183	SK-01	土師器	手捺ね	—	—	—	粗ナデー	ナデ	微砂少量	良	淡黃褐色~灰褐色	淡黃褐色~淡黑色	
184	SK-01	土師器	要	238	69	177	粗工具ナデ	ナデ	微砂少量	良	淡黃褐色~灰褐色	淡黃褐色~淡黑色	
185	SK-01	土師器	要	272	77	339	ナデーハケ	ナデ	微細砂少量	良	淡黃褐色~淡灰褐色	淡黃褐色~淡黑色	
186	SK-01	土師器	要	251	67	313	ハケー工具ナデ	ハケ、ナデ	微砂少量	ややあまり	淡黃褐色~灰褐色	淡棕褐色~灰褐色	
第20回	SA-01の南	土師器	要	—	—	—	ナデ	ナデ	微細砂や多い	良	淡棕褐色~褐色	淡黃褐色~灰褐色	
187	SA-01の南	土師器	要	—	—	—	工具ナデ	ナデ	微細砂や多い	良	淡棕褐色~褐色	淡黃褐色~灰褐色	
188	SA-01の南	土師器	要	—	—	—	工具ナデ	粗ナデ	微砂多量	ややあまり	暗褐色~暗褐色	褐褐色~淡褐色	
189	IV層	土師器	要	—	—	—	ナデ	ナデ	微砂やや多い	ややあまり	黃褐色~淡茶褐色	黃褐色	
190	IV層	土師器	要	—	—	—	ナデ	ナデ	微細砂多量	ややあまり	黃褐色~淡綠褐色	黃褐色~淡綠褐色	
191	S A-01の南	土師器	要	—	—	—	ナデ	ナデーミガキ	粗細砂少量	良	黃褐色~灰褐色	淡黃褐色~暗褐色	
192	Ⅳ層	土師器	要	—	—	—	ナデ	ナデ	微砂少量	良	黃褐色	黃褐色	
193	S A-01の南	土師器	要	—	—	—	ハケ	ハケ	微砂多量	良	淡灰褐色	淡灰褐色	
194	S A-01の南	土師器	要	—	—	—	ナデ	ナデ	微砂少量	良	褐褐色~淡灰褐色	淡灰褐色	
195	S A-01の南	土師器	要	—	52	—	ナデ	ナデ	微砂少量、 茶褐色輕少量	良	淡棕褐色	淡灰褐色	
196	S A-01の南	土師器	要	—	49	—	粗工具ナデ	工具ナデ	微細砂や多い	良	淡黃褐色~淡灰褐色	淡黃褐色~淡黑色	
197	S A-01の南	土師器	直	—	78	—	ナデ	ナデ	細砂少量	良	淡黃褐色~淡灰褐色	淡褐色	
198	IV層	土師器	直	135	—	—	ナデ	板ナデ	微砂やや多い	ややあまり	褐色	淡棕褐色~淡褐色	
199	IV層	土師器	要	204	—	—	ミガキ	ナデ	良	淡黃褐色~暗茶褐色	淡黃褐色~淡灰褐色	褐色	
200	SK-37	土師器	要	—	—	—	ナデ	ナデ	微砂多量	ややあまり	暗茶褐色~茶褐色	茶褐色	
201	IV層	土師器	直?	—	197	—	ナデ	ハケーナデ	良	ややあまり	淡黃褐色	淡褐色	
202	S A-01の南	土師器	高環	—	—	—	丁寧ミガキ	ミガキ	良	ややあまり	淡棕褐色	黃褐色~橙褐色	
203	SK-07・08	土師器	坏	126	63	56	ナデ	ナデ	良	ややあまり	淡黃褐色~淡黃褐色	淡黃褐色~淡褐色	ヘア切り
204	IV層	土師器	鉢?	—	—	—	ナデ	ナデ	微細砂多量	良	茶褐色~暗茶褐色	茶褐色~淡灰褐色	橙黃
205	IV層	土師器	高環	133	—	(52)	ナデーヶズリ	ナデ	粗砂少量	堅致	暗青色	深青色	
206	耕土	上品質土器	培培	—	—	—	ナデ	ナデ	良	ややあまり	淡褐色	淡褐色	
第24回	SK-11	縹文土器	深鉢	201	—	—	ナデ	—	微砂少量	良	褐色~淡黃褐色	茶褐色~暗茶褐色	
210	SK-03-06	縹文土器	深鉢	—	—	—	ナデ	—	微砂少量	良	淡黃褐色	淡黃褐色	
211	SK-11	縹文土器	深鉢	—	—	—	ナデ	工具ナデ~ ミガキ	良	淡黃褐色	淡黃褐色		
212	SK-11	縹文土器	深鉢	—	—	—	粗工具ナデ	工具ナデ	微砂少量	良	暗茶褐色	暗茶褐色~茶褐色	
213	SK-13	縹文土器	深鉢	145	47	137	工具ナデ	工具ナデ	微細砂微量	良	淡黃褐色~淡黃褐色	淡黃褐色~暗茶褐色	
214	SK-11	縹文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	工具ナデ	微砂やや多い	良	淡黃褐色~褐色	淡黃褐色~淡褐色	
215	SK-13	縹文土器	深鉢	—	—	—	ナデ	工具ナデ	微砂少量	良	淡黃褐色	淡黃褐色	

表5 出土遺物觀察表(5) 土器(5)

No	出土地	種類	器種	法量(cm)			外 部	内 部	胎 土	燒 成	色 外 部	内 部	備考
				口径	底径	器高							
第24回 216	S K-11	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナゲ	ナゲ	微砂少量	良	淡黄～浅灰	灰～暗灰褐色	
217	S K-13	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナゲ	ミガキ	微砂少量	良	淡灰褐色～淡黃褐色	灰褐色～深灰褐色	
218	S K-13	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	良	良	淡褐色	淡黃褐色	
219	S K-12	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナゲ	丁寧ナゲ	微砂少量	良	淡灰褐色	淡灰褐色	
220	S K-16	縄文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	ミガキ	良	良	淡褐色～淡黃褐色	淡黃褐色～淡灰褐色	
221	S K-13	縄文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	粗工具ナゲ	微砂少量	良	暗灰褐色～淡黃褐色	灰褐色	
222	S K-11	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナゲ	丁寧ナゲ	微砂少量	良	淡灰褐色～淡黃褐色	淡灰褐色～淡黃褐色	
223	S K-17	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナゲ	ミガキ	微砂少量	良	淡黃褐色～淡黃褐色	淡灰褐色	
224	S K-16	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナゲ	ナゲ	微砂少量	良	淡黃褐色～淡黃褐色	粗工具	
225	S K-17	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナゲ	ナゲ	金合目微量	良	淡黃褐色～淡黃褐色	淡黃褐色～淡黃褐色	
226	S K-17	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナゲ	丁寧ナゲ	微砂やや多い	良	淡黃褐色	淡灰褐色～淡黃褐色	
227	S K-17	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナゲ～ヘラ	工具ナゲ	細砂多量	良	茶褐色～茶灰色	淡黃褐色～淡褐色	
228	S K-17	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナゲ	丁寧ナゲ	良	良	淡黃褐色	淡黃褐色	
229	S K-17	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナゲ	ミガキ	微砂少量	良	茶褐色	淡黃褐色	
230	S K-16, 19, 21, S Z-03	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナゲ	ミガキ	微砂少量	良	茶褐色	暗褐色	
231	S K-25	縄文土器	深鉢	—	—	—	粗工具ナゲ	粗工具ナゲ	微砂少量	良	淡灰褐色～淡黃褐色	褐色	
232	S K-25	縄文土器	粗製深鉢	—	—	—	粗条削	工具ナゲ	微砂やや多い	良	淡黃～淡灰褐色	淡黃～淡黃褐色	
233	S K-25	縄文土器	台付皿	314	—	—	工具ナゲ	ミガキ	微砂少量	良	黃褐色	褐色	
234	S K-25	縄文土器	深鉢	—	68	—	粗工具ナゲ	粗工具ナゲ	小織やや多い	良	淡黃～淡黃褐色	淡黃褐色～暗褐色	
235	S K-25	縄文土器	深鉢	—	88	—	粗工具ナゲ	粗工具ナゲ	細砂多量	良	淡黃褐色～淡黃褐色	淡黃褐色～淡黃褐色	
236	S K-26	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナゲ	ミガキ	微砂少量	良	淡黃褐色～淡黃褐色	淡黃褐色～淡黃褐色	
237	S K-26	縄文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	ミガキ	良	良	暗茶褐色	暗茶褐色	
238	S K-26	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナゲ	ミガキ	微砂微量	良	茶褐色～暗褐色	褐色～淡茶褐色	
239	S K-26	縄文土器	深鉢	—	—	—	粗ミガキ	ナゲ	微砂少量	良	明黃褐色	淡黃～淡灰褐色	
240	S K-25	縄文土器	深鉢	—	56	—	ミガキ	粗ミガキ	微砂少量	良	淡黃褐色～茶褐色	暗褐色～淡黃褐色	
241	S K-26	縄文土器	深鉢	—	72	—	工具ナゲ～ヘラ	ナゲ	良	良	茶褐色～淡黃褐色	茶褐色～暗褐色	
242	S K-40	縄文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	ミガキ	微砂白色微量	良	淡黃褐色～淡黃褐色	淡黃褐色～淡黃褐色	
243	S K-40	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナゲ	ナゲ	微砂少量	良	暗褐色～淡黃褐色	褐色～淡黃褐色	
244	S K-40	縄文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	ミガキ	良	良	淡黃褐色	淡灰褐色	
245	S K-40	縄文土器	深鉢	—	—	—	丁寧工具ナゲ	丁寧工具ナゲ	粗織少量	良	淡黃褐色	淡灰褐色～淡黃褐色	
246	S K-40	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナゲ	ミガキ	微砂少量	良	淡黃褐色	淡黃褐色～淡黃褐色	
247	S K-40	縄文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	ミガキ	微砂少量	良	暗灰褐色	淡黃褐色～淡黃褐色	
248	S K-40	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナゲ	丁寧ナゲ	微織少量	良	暗灰褐色	淡黃褐色	
249	S K-40	縄文土器	深鉢	—	—	—	丁寧工具ナゲ	丁寧工具ナゲ	微砂少量	良	橙褐色～青褐色	淡黃褐色	
250	S K-40	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナゲ	ミガキ	細砂少量	良	茶褐色～茶灰色	淡黃褐色～淡黃褐色	
251	S K-40	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナゲ	ミガキ	微砂少量	良	淡黃褐色	淡黃褐色	
252	S K-40	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナゲ	丁寧工具ナゲ	微砂少量	良	淡黃褐色	淡黃褐色	
253	S K-40	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナゲ	ミガキ	微砂少量	良	褐色	暗灰褐色	
254	S K-42	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナゲ	ナゲ	良	良	淡黃褐色～淡黃褐色	淡黃褐色	
255	Na層	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	微砂多量	良	暗灰褐色～淡黃褐色	灰褐色～淡黃褐色	
256	S K-56～57	縄文土器	浅鉢	—	—	—	ミガキ	ミガキ	鐵砂、石英少量	良	淡黃褐色～茶褐色	茶褐色～茶褐色	
257	S K-56～57	縄文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	ミガキ	微砂少量	良	茶褐色～茶褐色	暗茶褐色	
258	S K-56～57	縄文土器	深鉢	170	—	—	ナゲ	ミガキ～ 粗工具	微砂少量	良	淡黃褐色	茶褐色～茶褐色	
259	S K-56～57	縄文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	ミガキ	微砂少量	良	暗褐色～淡黃褐色	茶褐色～茶褐色	
260	S K-56～57	縄文土器	深鉢	—	52	—	工具ナゲ	工具ナゲ	粗織微量	良	淡黃褐色～淡黃褐色	淡黃褐色～淡黃褐色	
261	S K-56～57	縄文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	工具ナゲ	微砂多量	良	暗灰褐色～暗茶褐色	暗茶褐色～暗茶褐色	
262	S K-56～57	縄文土器	深鉢	—	39	—	丁寧工具ナゲ	丁寧工具ナゲ	微砂やや多い	良	第一灰褐色～暗黃褐色	暗黃褐色～暗黃褐色	
263	S K-56～65	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナゲ	ナゲ	微砂やや多い	良	暗黃褐色～暗黃褐色	暗黃褐色～暗黃褐色	
264	S K-58	縄文土器	深鉢	—	—	—	角板	粗工具ナゲ	良	良	灰	暗灰褐色	

表6 出土遺物觀察表(6) 土器(6)

No.	出土地	種類	形態	法量(cm)			調 外 面	調 内 面	胎 土	構成	色 外 面		備考
				口徑	底径	容積					外 面	内 面	
新2505	S K-56-37	縹文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	ミガキ	良	暗茶褐色—茶褐色	暗茶褐色—茶褐色		
265	S K-64-65	縹文土器	深鉢	—	—	—	粗工具ナメ	ミガキ	微細少量	良	淡黃褐色	灰褐色—淡黃褐色	
266	Na層	縹文土器	深鉢	—	—	—	ナメ	「具ナメ」	微細少量	良	暗灰褐色	淡茶褐色—暗灰褐色	
267	IIIa層	縹文土器	深鉢	—	—	—	工具ナメ	工具ナメ	微細少量	良	淡黑褐色—暗灰褐色	灰褐色	
268	II-IIIa層	縹文土器	深鉢	—	—	—	工具ナメ	工具ナメ	微細少量	良	淡黑褐色	灰褐色—暗灰褐色	
269	II層	縹文土器	深鉢	—	—	—	工具ナメ	工具ナメ	微細少量	良	淡黃褐色	灰褐色—暗灰褐色	
270	II層	縹文土器	深鉢	—	—	—	条痕	条痕	微細少量	良	淡黃褐色—淡灰褐色	淡黃褐色—淡灰褐色	
271	Na層	縹文土器	深鉢	—	—	—	工具ナメ	工具ナメ	微細やや多い 表面にやわらかい 金属質感覚	良	淡茶褐色—淡灰褐色	淡茶褐色—茶褐色	
272	S A-01の 南A層	縹文土器	深鉢	364	—	—	工具ナメ	条痕	良	茶褐色—灰褐色	淡黃褐色	淡黃褐色—淡綠褐色	
273	Na層	縹文土器	深鉢	—	—	—	工具ナメ	工具ナメ	微細少量	良	淡棕褐色—淡灰褐色	煙褐色	
274	S K-17の東	縹文土器	深鉢	—	—	—	工具ナメ	ミガキ	全表面微量	良	茶褐色—暗灰褐色	煙褐色	
275	Na層	縹文土器	深鉢	—	—	—	条痕	ナメ	微細多量	良	暗灰褐色	淡灰褐色	
276	Na層	縹文土器	深鉢	—	—	—	条痕	条痕	微細少量 全表面微量	良	淡棕褐色—暗灰褐色	淡黃褐色—淡灰褐色	
277	S K-17の周辺	縹文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	ミガキ	微細少量	良	淡灰褐色	淡黃褐色	
278	Na層	縹文土器	深鉢	—	—	—	工具ナメ	ミガキ	微細少量	良	淡棕褐色—淡茶褐色	淡黃褐色—暗灰褐色	
279	S K-17の東	縹文土器	深鉢	—	—	—	ナメ	ミガキ	微細少量	良	淡黃褐色—場	煙褐色	
280	Na層	縹文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	ミガキ	良	暗灰褐色—淡茶褐色	淡茶褐色—暗灰褐色	淡茶褐色—暗灰褐色	
281	S A-03の南	縹文土器	深鉢	—	—	—	ハラミガキ	ハラミガキ	微細少量	良	暗灰褐色—淡黑褐色	暗灰褐色—淡黑褐色	
282	Na層	縹文土器	深鉢	—	—	—	ナメ	ミガキ	微細、 石英やや多い	良	暗灰褐色	褐灰色—淡灰褐色	
283	Na層	縹文土器	深鉢	—	—	—	粗ミガキ	工具ナメ	微細やや多い	良	淡灰褐色	褐灰色—暗灰褐色	
284	Na層	縹文土器	浅鉢	—	—	—	粗ミガキ	ミガキ	微細やや多い	良	暗灰褐色	暗灰褐色—褐灰色	
285	Na層	縹文土器	深鉢	—	—	—	工具ナメ	丁寧工具ナメ	微細やや多い	良	淡灰褐色	淡灰褐色—淡茶褐色	
286	Na層	縹文土器	深鉢	—	—	—	工具ナメ	工具ナメ	微細少量	良	暗灰褐色	暗灰褐色—褐灰色	
287	Na層	縹文土器	深鉢	—	—	—	工具ナメ	丁寧工具ナメ	微細少量	良	淡黃褐色	褐灰色	
288	Na層	縹文土器	深鉢	—	—	—	ナメ	ナメ	微細少量	良	淡黃褐色—暗灰褐色	暗灰褐色—茶褐色	
289	Na層	縹文土器	深鉢	—	—	—	ナメ	工具ナメ	微細やや多い	良	淡褐色	暗茶灰色	
290	I層	縹文土器	深鉢	—	—	—	ナメ	丁寧工具ナメ	微細少量	良	褐灰色	淡灰褐色—暗褐灰色	
291	S D-04	縹文土器	深鉢	—	—	—	工具ナメ	丁寧工具ナメ	角凹四隅彫	良	淡褐色	褐灰色	
292	Na層	縹文土器	深鉢	—	—	—	粗工具ナメ— 丁寧工具ナメ	丁寧工具ナメ	微細やや多い	良	淡灰褐色—淡黃褐色	灰褐色—暗灰褐色	
293	Na層	縹文土器	深鉢	—	—	—	ナメ	工具ナメ— ミガキ	微細少量	良	淡茶褐色—淡黃褐色	暗灰褐色—淡黃褐色	
294	Na層	縹文土器	深鉢	—	—	—	工具ナメ— ミガキ	ナメ	微細多量	良	褐灰色—淡黃褐色	灰褐色—淡黃褐色	
295	Na層	縹文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	ミガキ	微細少量	良	淡褐色	淡褐色—暗黃褐色	
296	Na層	縹文土器	深鉢	—	—	—	工具ナメ	工具ナメ	微細多量	良	褐灰色	淡黃褐色—淡黃褐色	
297	Na層	縹文土器	深鉢	—	—	—	ナメ	工具ナメ	微細少量	良	褐灰色	暗灰褐色	
298	Na層	縹文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	丁寧ミガキ	微細やや多い	良	淡黃褐色—暗灰褐色	淡灰褐色	
299	Na層	縹文土器	深鉢	—	—	—	粗工具ナメ— ナメ	工具ナメ— ナメ	微細少量	良	淡黃褐色—淡褐色	淡茶灰色	
300	Na層	縹文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	ミガキ	良	良	暗茶褐色	暗茶褐色	
301	S D-11	縹文土器	深鉢	—	—	—	粗工具ナメ— ミガキ	粗ミガキ	微細少量 石英やや多い	良	淡褐色	淡灰褐色—暗灰褐色	
302	Na層	縹文土器	深鉢	—	—	—	ナメ	工具ナメ— ナメ	微細多量	良	淡褐色	暗灰褐色—暗灰褐色	
303	Na層	縹文土器	深鉢	383	—	—	ナメ	ナメ	良	良	暗茶褐色—淡黃褐色	褐灰色—淡灰褐色	
新29回 304	II-IIIa層	縹文土器	深鉢	—	—	—	粗ミガキ	ミガキ	微細少量	良	淡黃褐色—淡褐色	暗茶褐色	
305	IV層	縹文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	ミガキ	微細やや多い	良	淡黃褐色—淡灰褐色	淡黃褐色—淡灰褐色	
306	IV層	縹文土器	深鉢	—	—	—	丁寧ナメ—ナメ	ミガキ	微細少量	良	淡褐色	暗褐色—褐灰色	
307	IV層	縹文土器	深鉢	—	—	—	ヘラーナメ	工具ナメ	微細少量	良	褐灰色	暗褐色—褐灰色	
308	IVa層	縹文土器	深鉢	—	—	—	ナメ	ナメ	微細少量	良	褐灰色	暗褐色—褐灰色	
309	IVa層	縹文土器	深鉢	—	—	—	工具ナメ	粗工具ナメ	良	良	淡茶褐色	暗褐色	
310	S K-12周辺 Na層	縹文土器	深鉢	—	—	—	ナメ	丁寧ミガキ	微細やや多い	良	褐灰色	淡黃褐色—灰褐色	
311	Na層	縹文土器	深鉢	—	—	—	ナメ	工具ナメ	微細少量	良	淡黃褐色	淡褐色	
312	Na層	縹文土器	深鉢	—	—	—	粗ミガキ	工具ナメ	微細少量	良	暗灰褐色	淡褐色—褐灰色	
313	Na層	縹文土器	深鉢	—	—	—	粗ナメ	工具ナメ	微細少量 石英やや多い	良	茶褐色—淡褐色	淡褐色—淡黃褐色	

表7 出土遺物観察表(7) 土器(7)

No	出土地	種類	器種	法度(mm)			調 外 面	整 内 面	胎 土	焼 成	色 外 面	高 内 面	備考	
				口径	底径	器高								
第29回 314	IV-a層	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナガ	ミガキ	良	良	淡黄灰~灰褐色	灰褐色~茶褐色		
315	IV-a層	縄文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	ミガキ	微砂微量	良	淡黄褐色	黑褐色		
316	IV-a層	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナダ	ミガキ	微砂や多い	良	淡黄褐色~淡灰褐色	淡黄褐色~灰褐色		
317	II~III-a層	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナダ	工具ナダ	微砂少量	良	褐色~淡黃褐色	灰褐色		
318	IV-a層	縄文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	ミガキ	微砂や多い	良	淡黃灰~灰	灰褐色~灰褐色		
319	IV-a層	縄文土器	深鉢	—	—	—	丁寧工具ナダ	工具ナダ	微砂少量	良	暗茶褐色	淡黃褐色~灰褐色		
320	IV-a層	縄文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	ミガキ	微細砂や多い	良	茶褐色~灰褐色	明茶褐色~灰褐色		
321	IV-a層	縄文土器	台付盆?	—	—	—	粗ミガキ	ミガキ	微砂少量	良	暗褐色~淡黃褐色	灰褐色~淡黃褐色		
322	IV-a層	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナダ	工具ナダ	良	良	灰褐色~褐色	黃褐色~淡褐色		
323	S.K.-17の屋邊	縄文土器	深鉢	—	—	—	粗工具ナダ	丁寧ナダ	粗砂少量	良	暗茶褐色	淡褐色		
324	IV-a層	縄文土器	深鉢	—	—	—	粗ミガキ	ミガキ	微細砂多量	良	褐色~茶褐色	褐色~褐色		
325	IV-a層	縄文土器	深鉢	—	—	—	粗ミガキ	ミガキ	微砂や多い	良	淡灰褐色~暗褐色	淡茶褐色~灰褐色		
第30回 326	IV-a層	縄文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	ミガキ	微砂や多い	良	暗茶褐色	暗茶褐色~茶褐色		
327	Va層	縄文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	ミガキ	微細砂少量	良	灰褐色~褐色	褐色~淡褐色		
328	IV-a層	縄文土器	深鉢	—	—	—	丁寧ナダ	ミガキ	微砂や多い	良	淡茶褐色~茶褐色	淡橙茶		
329	IV-a層	縄文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	工具ナダ	微細砂や多い	良	暗褐色~茶褐色	暗褐色~茶褐色		
330	IV-a層	縄文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	ミガキ	微細砂微量	良	淡茶褐色~灰	淡茶褐色		
331	IV-a層	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナダ	粗ミガキ	微砂や多い	良	暗茶褐色~褐色	褐色~淡茶褐色		
332	IV-a層	縄文土器	鉢	350	—	—	ミガキ	ミガキ	微細砂微量	良	暗茶褐色~褐色	褐色~褐色		
333	IV-a層	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナダ	工具ナダ	微細砂少量	良	褐色	褐色~暗茶褐色		
334	IV-a層	縄文土器	深鉢	—	—	—	粗工具ナダ	工具ナダ	微細砂少量	良	褐色	褐色		
335	IV-a層	縄文土器	深鉢	(256)	—	—	粗工具ナダ	ミガキ	微砂多量	良	淡灰褐色~淡灰褐色	淡茶褐色~淡灰褐色		
336	III-a層	縄文土器	深鉢	217	—	—	ミガキ	ミガキ	微細砂少量	良	茶褐色~淡茶褐色	暗茶褐色~淡橙茶		
337	IV-a層	縄文土器	深鉢	—	98	—	底: 2.5cm 底: 2.5cm	ミガキ	粗ミガキ	微砂少量	良	淡灰褐色~褐色	淡灰褐色~淡灰褐色	
338	IV-a層	縄文土器	深鉢	—	—	—	底: 工具ナダ 底: 工具ナダ	ナダ	微砂少量	良	淡橙茶~淡灰褐色	淡灰褐色~淡灰褐色		
339	IV-a層	縄文土器	深鉢	—	—	—	—	工具ナダ	微細砂や多い	良	淡灰褐色~淡黃褐色	淡黃褐色~淡灰褐色		
340	耕土	縄文土器	深鉢	—	—	—	構み痕	丁寧ナダ	粗細砂微量	やや多い	淡黃褐色~茶褐色	淡茶褐色~茶褐色		
341	IV層	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナダ	工具ナダ	微砂少量	良	淡黃褐色	灰~暗茶褐色		
342	II-a層	縄文土器	深鉢	—	49	—	工具ナダ	ナダ	微砂や多い	良	茶褐色~淡褐色	暗褐色		
343	IV-a層	縄文土器	深鉢	—	58	—	底: 2.5cm 底: 2.5cm	工具ナダ	微砂多量	良	淡黃褐色	灰褐色~灰		
344	IV-a層	縄文土器	深鉢	—	83	—	粗工具ナダ	丁寧ナダ	微砂、石英少量	良	褐色~淡黃褐色	淡黃褐色		
345	IV-a層	縄文土器	深鉢	—	99	—	丁寧ナダ	工具ナダ	微砂黑色化少量	良	淡黃褐色	暗茶褐色~淡黃褐色		
346	耕土	縄文土器	深鉢	—	72	—	工具ナダ	工具ナダ	微細砂少量	良	淡黃褐色	淡黃褐色		
347	IV-a層	縄文土器	深鉢	—	72	—	工具ナダ	工具ナダ	微細砂少量	良	淡黃褐色	淡灰褐色~暗茶褐色		
第31回 348	IV-a層	縄文土器	深鉢	—	52	—	粗工具ナダ	粗工具ナダ	微砂少量	良	褐色~淡黃褐色	暗褐色~灰		
349	III-a層	縄文土器	深鉢	—	62	—	底: 2.5cm 底: 工具ナダ	ミガキ	工具ナダ~ナダ	微細砂少量	良	褐色~淡黃褐色	淡黃褐色	
350	IV-a層	縄文土器	深鉢	—	72	—	ミガキ	工具ナダ	微砂微量	良	淡黃褐色	褐色~淡黃褐色		
351	IV-a層	縄文土器	深鉢	—	58	—	工具ナダ	ナダ	微砂少量	良	褐色~茶褐色	褐色~茶褐色		
352	IV-a層	縄文土器	深鉢	—	51	—	工具ナダ	工具ナダ	微砂少量	良	淡黃褐色	暗茶褐色		
353	IV-a層	縄文土器	深鉢	—	59	—	ミガキ	ミガキ	微砂や多い	良	淡黃褐色~淡黃褐色	暗灰~灰		
354	IV-a層	縄文土器	深鉢	—	60	—	ミガキ	ミガキ	微細砂、角閃石少量	良	淡黃褐色~淡黃褐色	淡黃褐色~灰		
355	IV-a層	縄文土器	深鉢	—	79	—	工具ナダ	ナダ	微細砂少量	良	淡黃褐色	灰~灰褐色		
356	IV-a層	縄文土器	深鉢	—	50	—	粗ミガキ~工具ナダ	工具ナダ	微砂少量	良	灰褐色~褐色	灰褐色~灰褐色		
357	IV-a層	縄文土器	深鉢	—	69	—	工具ナダ	工具ナダ	微細砂少量	良	淡黃褐色~淡黃褐色	暗茶褐色~灰褐色		
358	III-a層	縄文土器	深鉢	—	61	—	底: 2.5cm 底: 工具ナダ	工具ナダ	微砂少量	良	暗褐色~褐色	褐色~褐色		
359	IV-a層	縄文土器	深鉢	—	63	—	粗工具ナダ	工具ナダ	粗細砂少量	良	淡灰褐色~淡黃褐色	淡黃褐色~淡黃褐色		
360	IV-a層	縄文土器	深鉢	—	68	—	底: 2.5cm 底: 金鉄	ナダ	微砂少量 見出砂や多い	やや多い	淡黃褐色	褐色~淡黃褐色		
361	Va層	縄文土器	台付鉢	—	—	—	ナダ	ナダ	微砂少量 見出砂や多い	良	淡茶褐色~淡黃褐色	淡茶褐色~淡黃褐色	網代底	

表8 出土遺物觀察表(8) 石器・石製品

No.	出土地	器種	法量(mm) 長さ 幅 厚さ			重さ g	石材	No.	出土地	器種	法量(mm) 長さ 幅 厚さ			重さ g	石材
新10回 37	S A-01	菅土	16	7.7	2~3	1	堅土	399	Ⅲ層	石織木製品	30	20	9	4	チャート
38	S A-01	石織未製品	28	25	7	5	チャート	400	Ⅲa層	石織木製品	34	17	9	4	チャート
39	S A-01	石織	15	11	3	--	黒曜石	401	Ⅲa層	石織	33	(15)	5	2	チャート
新11回 114	S A-02	石織未製品	25	(18)	5	2	チャート	402	IV'層	石織木製品	29	23	7	4	チャート
新17回 170	S A-03	石織	190	73	47	--	砂岩	403	S K-18	石織	(10)	(10)	(2)	--	黒曜石
176	S A-03	石織	(23)	19	4	1	黒曜石	404	S D-11	石織木製品	15	14	3	--	チャート
177	S A-03	石織	19	(11)	3	1	黒曜石	405	S K-42	石織木製品	18	18	7	2	チャート
178	S A-03	石織	(14)	18	2	1	チャート	406	Ⅳa層	石織	(17)	(16)	3	1	黒曜石
179	S A-03	石匙	(15)	(26)	10	4	鞍山岩	407	IV'層	石織	(19)	20	3	1	黒曜石
新32回 362	Ⅳa層	石織	19	18	4	1	黒曜石	408	S Z-03	石織	(18)	19	4	1	黒曜石
363	Ⅱ~Ⅲa層	石織	21	15	3	--	チャート	409	Ⅳa層	石織	(13)	(12)	3	--	チャート
364	Ⅳa層	石織	18	13	3	--	黒曜石	410	I層	異形石織 木製品	31	30	6	10	緑色片岩
365	Ⅳa層	石織	16	18	4	--	鞍山岩	411	Ⅳa層	石織	29	22	10	6	チャート
366	Ⅳa層	石織	18	12	3	1	チャート	412	S K-26	石推	19	15	3	1	玉髓
367	IV'層	石織	16	10	3	--	黒曜石	413	S Z-04	石織	20	15	2	1	頁岩
368	Ⅳa層	石織	15	8	3	--	チャート	414	Ⅳa層	石織	20	6	2	--	チャート
369	Ⅱ区	石織	17	16	3	--	チャート	415	Ⅱ層	石匙	40	23	10	7	頁岩
370	Ⅳa層	石織	(13)	18	3	--	鞍山岩	416	Ⅱ層	スクレイパー	30	23	8	7	チャート
371	Ⅱ~Ⅲ層	石織	17	18	3	1	チャート	417	S K-25	スクレイパー	26	32	7	4	黒曜石
372	Ⅲa層	石織	19	(16)	2	--	チャート	418	S K-25	スクレイパー?	17	(23)	3	2	黒曜石
373	Ⅲa層	石織未製品	19	16	4	1	チャート	419	Ⅳa層	スクレイパー	33	45	6	11	黒曜石
374	S K-18	石織	18	18	4	1	チャート	420	S A-01の南	スクレイパー	70	(37)	10	25	チャート
375	Ⅳa層	石織	17	(15)	4	--	黒曜石	421	S K-17	磨き石	56	51	44	196	石英
376	Ⅳa層	石織	19	(14)	4	1	黒曜石	422	IV'層	段鉗	39	27	24	28	滑岩凝灰岩
377	S K-01	石織	25	15	3	1	チャート	423	Ⅳa層	石錐	28	34	9	14	緑色片岩?
378	S K-40	石織	24	14	4	1	チャート	424	Ⅳa層	石錐	22	22	7	10	緑色片岩
379	S K-12	石織	17	16	6	1	黒曜石	425	S K-12	磨石	115	(85)	78	--	滑岩凝灰岩
380	S K-26	石織	25	(16)	5	1	黒曜石	426	Ⅳa層	磨石	123	90	41	770	砂岩
381	Ⅲa層	石織	24	14	2	1	チャート	427	Ⅳa層	磨石	94	70	41	515	滑岩凝灰岩
382	S K-17	石織	(15)	(16)	2	1	黒曜石	428	Ⅳa層	磨石	(53)	(60)	44	246	滑岩凝灰岩
383	S D-08	石織	21	(13)	4	1	黒曜石	429	Ⅳa層	磨石	(65)	90	51	422	滑岩凝灰岩
384	IV'層	石織	(17)	(15)	5	1	黒曜石	430	石井鶴川磨石	91	63	43	366	砂岩	
385	Ⅱ層	石織	(19)	(17)	4	1	黒曜石	431	S K-11	磨石	134	104	48	--	砂岩
386	Ⅱ~Ⅲ層	石織未製品	(22)	23	6	3	黒曜石	432	Ⅳa層	磨石	(52)	(96)	38	274	滑岩凝灰岩 砂岩
387	Ⅳa層	石織	(21)	(18)	5	2	黒曜石	433	Ⅳa層	磨石・成さ石	(79)	101	53	695	滑岩凝灰岩 砂岩
388	Ⅱ層	石織未製品	22	(17)	5	2	黒曜石	434	Ⅳa層	磨石	(74)	100	55	650	滑岩凝灰岩 砂岩
389	S A-02の北 Ⅳa層	石織	26	(15)	4	1	黒曜石	435	S K-25	磨石	98	90	54	735	滑岩凝灰岩 砂岩
390	Ⅱ層	石織	(19)	16	2	1	正體	436	Ⅳa層	円形打製石器	(51)	(97)	38	274	滑岩凝灰岩 砂岩
391	S D-04	石織	(17)	16	3	1	チャート	437	Ⅳa層	円形打製石器	101	100	14	220	滑岩凝灰岩 砂岩
392	Ⅱ層	石織	(12)	17	3	1	黒曜石	438	S K-18, 19, 21 S Z-03	円形打製石器	99	103	11	176	滑岩凝灰岩 砂岩
393	Ⅱ層	石織	23	15	5	2	チャート	439	S K-25	円形打製石器	100	99	18	264	砂岩
394	Ⅲa層	石織	(16)	(19)	3	1	黒曜石	440	S K-40	円形打製石器	(45)	(96)	10	50	滑岩凝灰岩 砂岩
395	S D-11	石織未製品	(23)	18	8	2	頁岩	441	S K-25	器皿調査具	136	14	10	35	硬砂岩
396	Ⅳa層	石織未製品	(22)	18	5	2	チャート	442	S K-13	石斧	129	61	27	278	砂岩
397	Ⅳa層	石織	(18)	(16)	3	1	黒曜石	443	Ⅳa層	石皿	(436)	320	88	--	滑岩凝灰岩
398	S D-13	石織	(15)	10	3	--	黒曜石	444	S K-17	石皿	(255)	(233)	85	--	滑岩凝灰岩

表9 出土遺物観察表(9) 特殊遺物・土製品

No	出土地	種類	器機	法量(mm)		調 外 面	調 内 面	粘 土	燒 成	色 外 面	調 内 面	備 考
				径	厚							
第19回 36	S A-01	藍物	朱瓦	長さ:30 幅:26	6	—	—	—	—	朱	—	
第20回 113	S A-02	ガラス製品	小玉	4	5	—	—	—	—	淡青	—	
第17回 171	S A-03	土製品	円盤	45	10	工具ナデ	工具ナデ～ ツア	微細少量	ややあまい	淡青褐色～ 黒褐	淡青褐色	十輪器坯軸用
172	S A-03	藍物	朱瓦	長さ:(27) 幅:17	5	—	—	—	—	暗赤褐色	—	
173	S A-03	藍物	朱瓦	長さ:28 幅:(15)	5	—	—	—	—	暗赤褐色	—	
174	S A-03	ガラス製品	小玉	4.7	3.1	—	—	—	—	オリーブ	—	
175	S A-03	ガラス製品	小玉	3.9	2.4	—	—	—	—	オリーブ	—	
第20回 207	IV-a層	古瓦	丸瓦	—	—	凸:ハケ	凹:布痕	微細 (軟陶質土)	良 やや多い	凸:淡灰～ 灰	IV:淡灰～ 灰	
208	IV層	土製品	粘土車	39	9	工具ナデ	工具ナデ	浅い条痕	良	淡青褐色	淡灰～灰	
209	IV-a層	土製品	円盤	43	7	工具ナデ	浅い条痕	微細多量	良	淡青褐色	淡青褐色	

## 第6節 まとめ

調査区は、内丸遺跡の中の極く一部にすぎないが、縄文時代前期には何らかの痕跡が認められる。後期後半には半定住化し、貯蔵穴も有する。大型の舟型土坑は6基検出したが、SK-11と42、SK-26と31・40・58は各々同一方向の主軸を持つことから、ほぼ同時期の遺構と思われる。ただ、いずれの土坑も遺物が少なく、被熱痕や焼土も無いことから、機能に結びつく根拠に欠ける。推定の域を出ないが、相当量の有機物が廃棄された土坑だったのではないかと想定される。

晩期末から古墳時代前期までは居住の痕跡が無い。5世紀末から6世紀初頭には、堅穴住居が構築される。主軸も規模も異なる3棟であるが、時期差は殆ど無い。

古墳時代後期から奈良時代にかけては断続する。

9世紀後半、若干の生活痕があるが、中世前半まで再度断続する。

中世後半、水路を構築し、一部耕地化する。

近世後半以降、水路を構築し、前面が耕地化、現在に至る。



## 第4章 弁財天遺跡

## 第4章 弁財天遺跡

### 第1節 はじめに

弁財天遺跡は、えびの市大字西長江浦字弁財天に位置した、標高251m前後の谷部にある。背後の谷頭には豊富な湧水があり、田畠を潤している。調査区は便宜的にI～III区に分け、II区の調査終了後に工事用道路建設地として一部明け渡したため、航空写真では北西隅が欠けている。

I区の南中央には性空上人堂がある。北東の畠地には「茶屋敷」という俗称があり、個人的基盤整備の際に直径60cm前後の整然と並ぶ柱穴や直径30cm前後の柱根も遺存していたらしい。

事前の試掘調査では遺構の密度は低いと推定されたが、III区においては無数の柱穴を検出し、深さ1mに達する柱穴も多く、掘り込みにも時間を費やした。

### 第2節 基本的層序

層序は内丸遺跡に準ずるが、IVa層（遺構面を形成するアカホヤ火山灰2次堆積層）は厚さ70cm内外を測るが、無遺物層である。IVb層は黄褐色の粘質土、V層は淡黄白色の粘質土で、以下は谷の埋積土である。



第1図 弁財天遺跡 地図剖面図 (1:2,500)

### 第3節 古代～中世の調査

古代においては建物等の明確な遺構は無いが、旧谷（S X-01）の覆土から遺物が出土している。

#### S X-01（第4図）

I区中央に谷頭があり、東側を覆っている。上層は灰色系の粘質土で埋められており、近世末～近代の水田化に伴う客土と思われる。中層は灰褐色～淡黒灰色を主とする土層で、古代～中世の遺物を含んでいる。西側中央部では、9～10世紀の土器群が集中して検出された（第27図-57～第30図-155）。最下層は砂礫層でやや摩滅した縄文土器が出土している（第26図-4～15）。当該期の遺構は無く、北～東の高位面からの流れ込みと思われる。中層には青花も包藏しており、集落廃絶後に埋没が始まったことを示す。

谷頭寄りの底面には、長径1m、短径80cm・深さ50cmの土坑があり（SK-37）、その南西肩部には30～40cm大の碟3個が、北西肩部には10～25cm大の碟が3個置かれている。底面からは適度な水が湧き出すことから、汲み用の穴と足場ではないかと推定される。

南側中央部と南西隅では底面に無数の杭跡がみられ（第5・6図）、機能は不明であるが逆茂木が構築されていたようである。

遺構の殆どは中世であり柱穴は1800基あまり検出したが、特にⅢ区においては密集している為に復元が困難であるものの掘立柱建物跡30棟のほか、堅穴状遺構・土坑・土壙墓が混在する。

#### S B-01（第9図）

梁行2間（4.0m）、桁行3間（6.0～6.1m）の東西方向の建物跡である。柱穴の規模は、直径35～53cm、深さ24～60cmを測る。主軸方位はE1°Nである。

#### S B-02（第9図）

梁行1間（1.9m）、桁行2間（4.0m）の建物の可能性がある。柱穴の規模は、直径26～37cm、深さ32～50cmを測る。主軸方位はN32°Wである。

#### S B-03（第9図）

梁行1間（2.0～2.8m）、桁行2間（3.85～4.1m）の南北方向の建物である。柱穴の規模は、直径30～50cm、深さ32～42cmを測る。主軸方位は、N3°Eである。

#### S B-04（第9図）

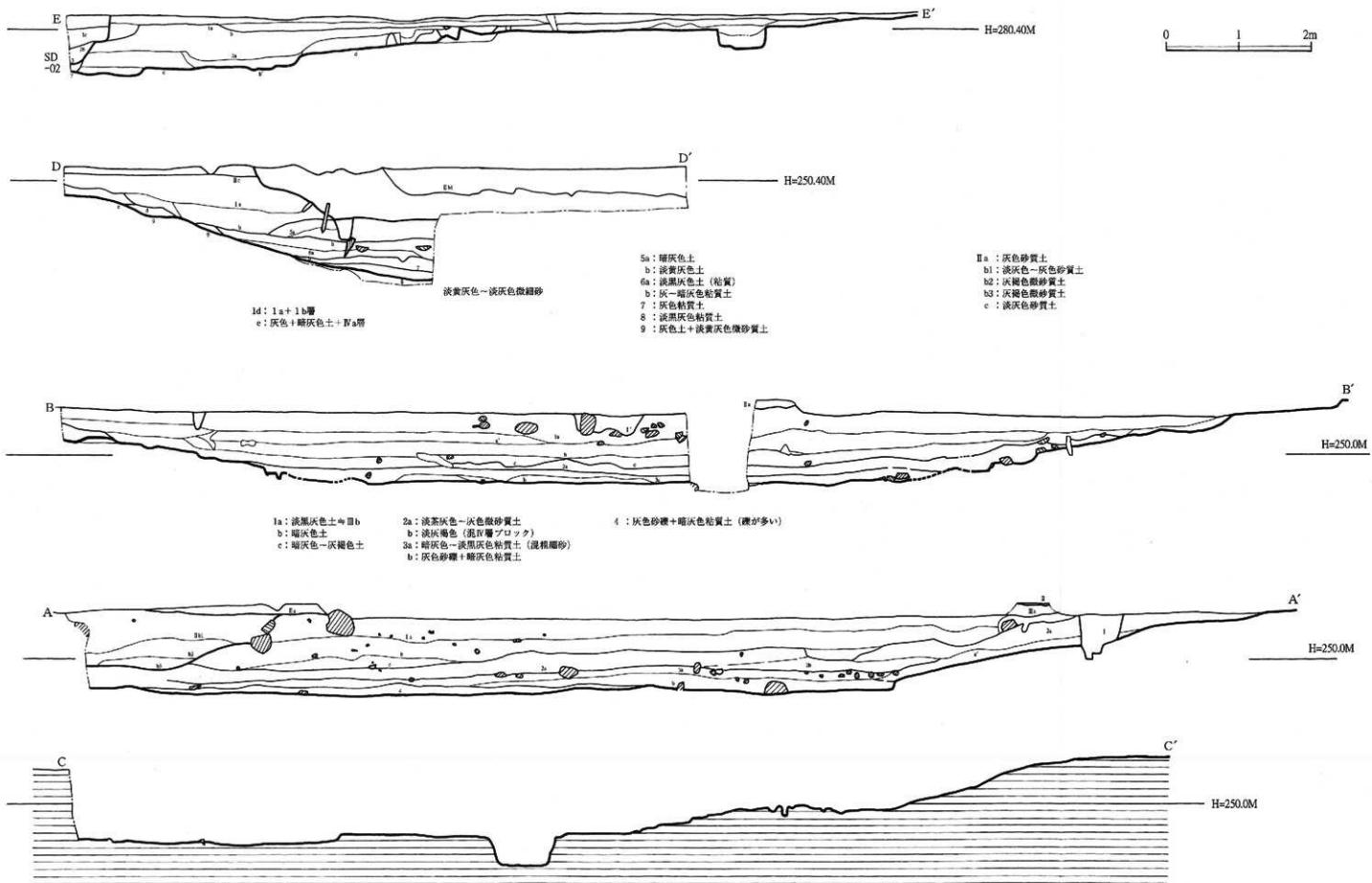
調査区内で唯一の、方2間の総柱建物である。梁行（東西）2間（3.92～4.04m）、桁行（南北）2間（4.10m）で、柱穴の規模は、直径33～40cm、深さ40～72cmを測り、中心の柱穴が最大である。



第2図 遺構全体図



第3図 I・III区 遺構分布図



第4図 SX-01 層序・断面図

主軸方位は、Nである。

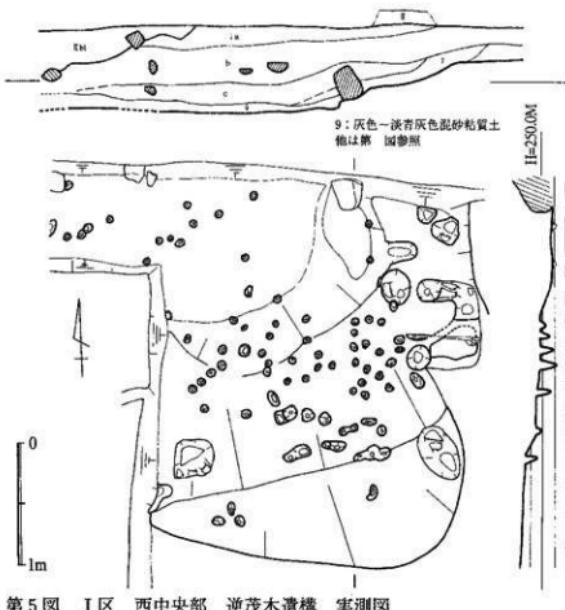
#### S B-05 (第10図)

梁行 1 間 (2.44m)、  
桁行 2 間 (4.30m) の東  
西方向の建物である。

柱穴の規模は、直径30  
~38cm、深さ30~56cmを  
測る。主軸方位は N 2°  
E である。

#### S B-06 (第10図)

梁行 2 間 (4.84m)、  
桁行 1 間 (1.95~2.04m)  
以上の南北方向の建物で  
ある。柱穴の規模は、直  
径24~30cm、深さ30~  
42cmを測る。主軸方位は、  
N 11° S である。



#### S B-07 (第10図)

梁行 2 間 (4.03m)、桁行 2 間 (3.92m) 以上の南北方位の建物である。柱穴の規模は、直径32  
~55cm、深さ44~95cmを測る。主軸方位は、N 2° E である。

#### S B-08 (第10図)

梁行 2 間 (4.0~4.08m)、桁行 3 間 (5.0~5.06m) の東西方向の建物を推定したが、桁の間隔  
が狭いので、疑問が残る。柱穴の規模は、直径38~56cm、深さ31~64cmを測る。主軸方位は、E 1°  
N である。

#### S B-09 (第11図)

梁行 2 間 (4.48m)、桁行 4 間 (7.90m) の南北方向の建物である。柱穴の規模は、直径25~52cm、  
深さ24~97cmを測る。主軸方位は、N 1° E である。

#### S B-10 (第11図)

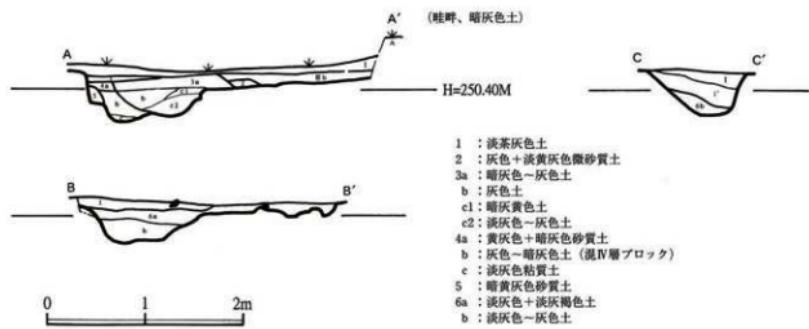


第6図 I区南西隅 逆茂木造構 実測図

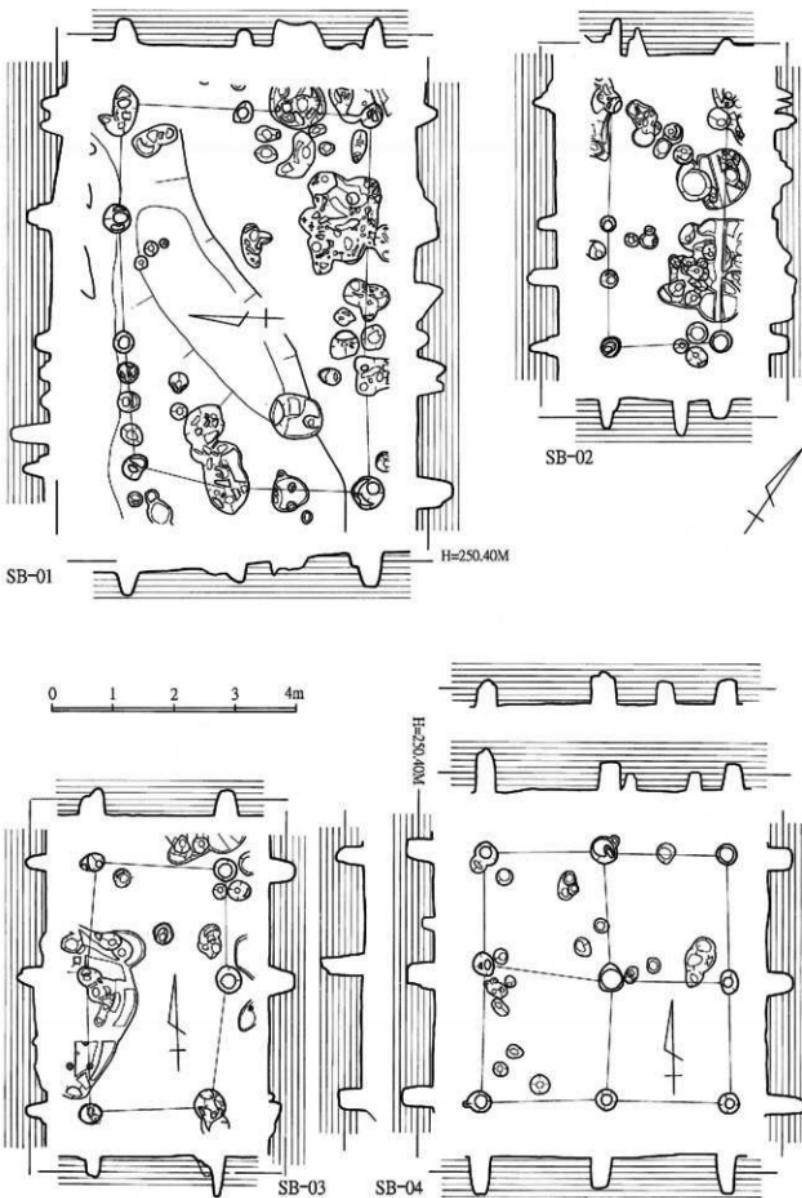


第7図 II区 遺構分布図

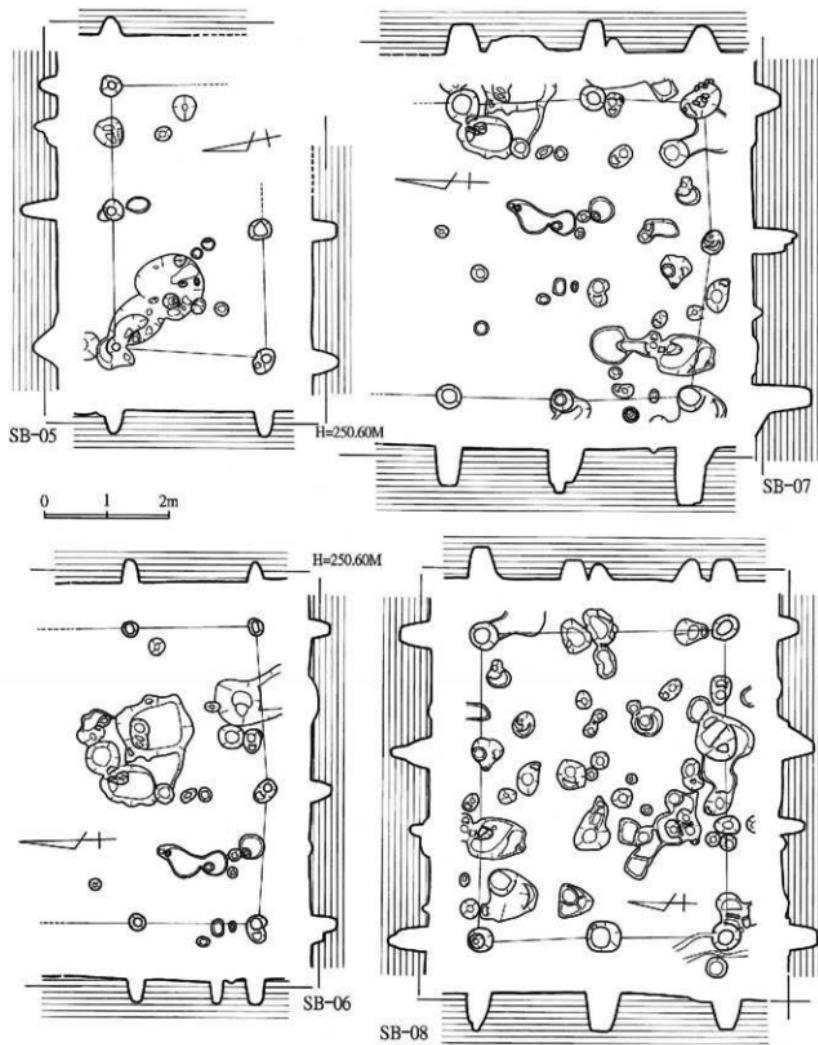
梁行2間(4.80~5.08m)、桁行4間(7.95~8.0m)の南北方位の建物である。柱穴の規模は、直径29~48cm、深さ18~95cmを測る。主軸方位は、N 2°Eである。



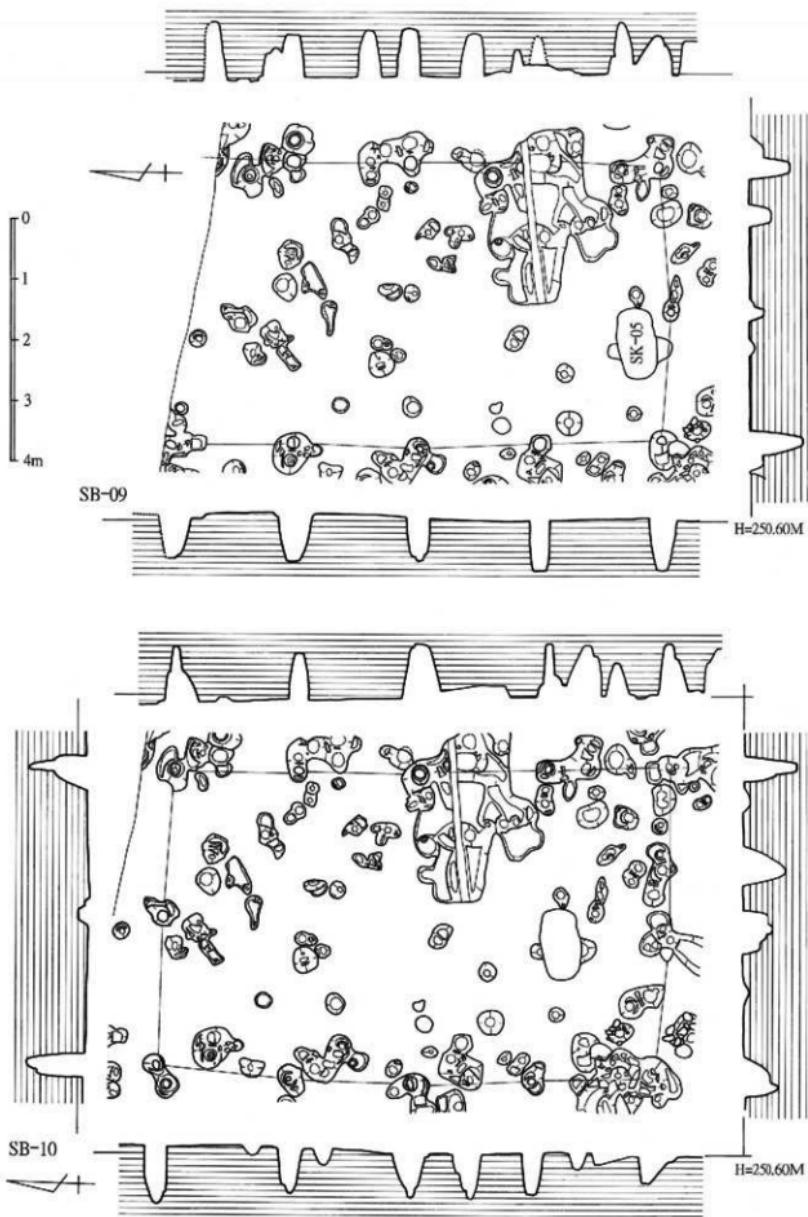
第8図 SD-02 断面層序図



第9図 SB-01~04 遺構実測図



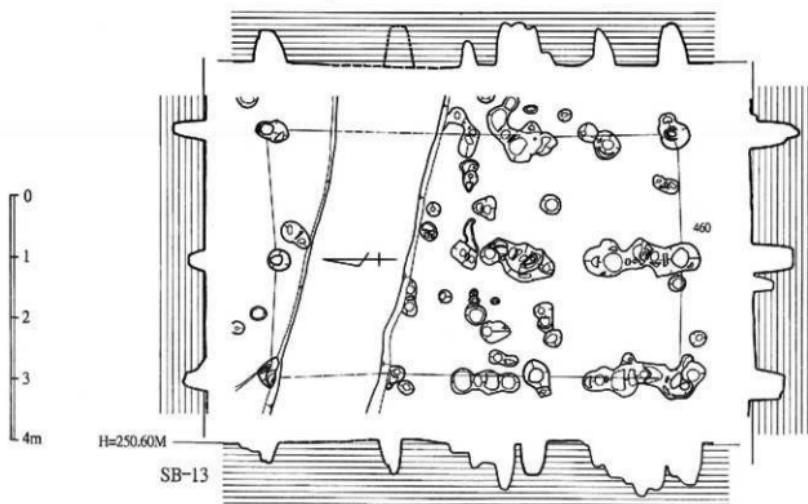
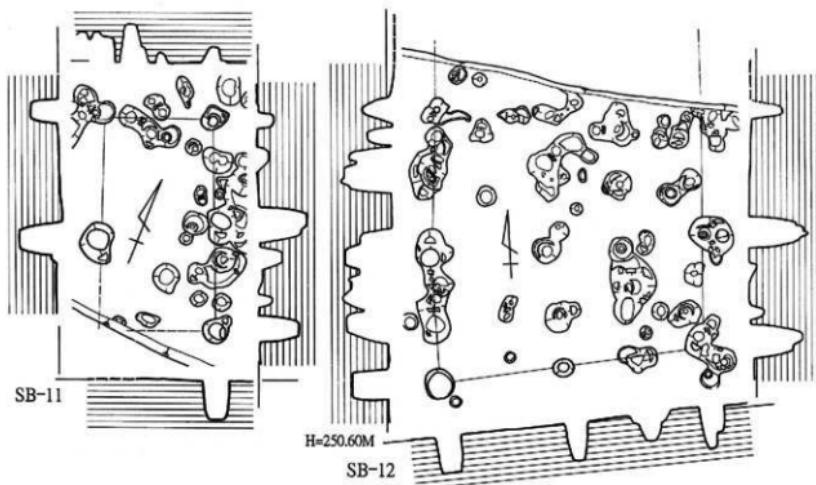
第10図 SB-05~08 遺構実測図



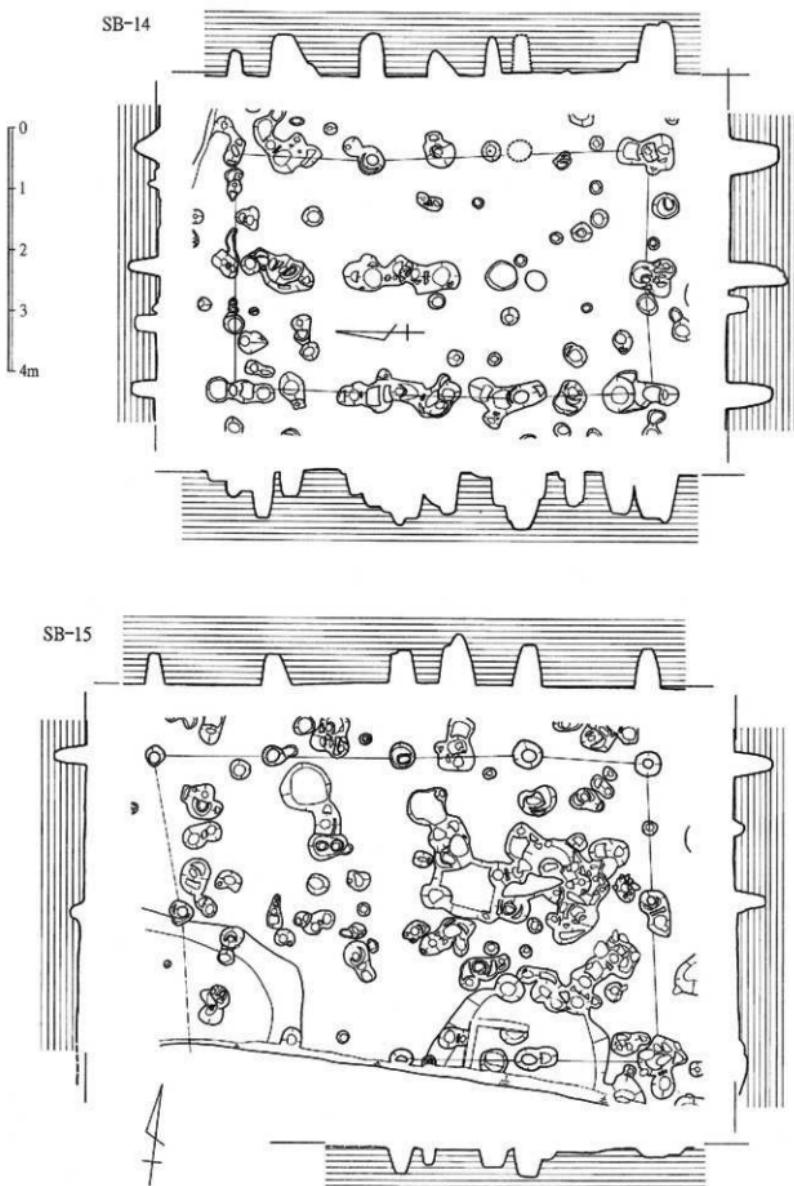
第11図 SB-09・10 遺構実測図

SB-11 (第12図)

梁行1間 (1.76m)、桁行2間 (3.44m) の建物の可能性がある。柱穴の規模は、直径35~47cm、深さ29~77cmを測る。主軸方位は、N20°Wである。北面の柱穴2個が他と比べて小さいことや、同一の主軸方位の建物が無いことを勘案すると、復元は否定されるかもしれない。



第12図 SB-11~13 遺構図実測図



第13図 S B-14・15 造構実測図

### S B-12 (第12図)

梁行 2 間 (4.2m)、桁行 2 間 (3.84~4.48m) 以上の南北方向の建物である。柱穴の規模は、直径28~48cm、深さ49~97cmを測る。主軸方向は、N 2°W である。

### S B-13 (第12図)

梁行 2 間 (3.98~4.08m)、桁行 4 間 (6.52~6.8m) の南北方向の建物である。柱穴の規模は、直径25~47cm、深さ26~80cmを測る。主軸方位は、N 1°E である。

### S B-14 (第13図)

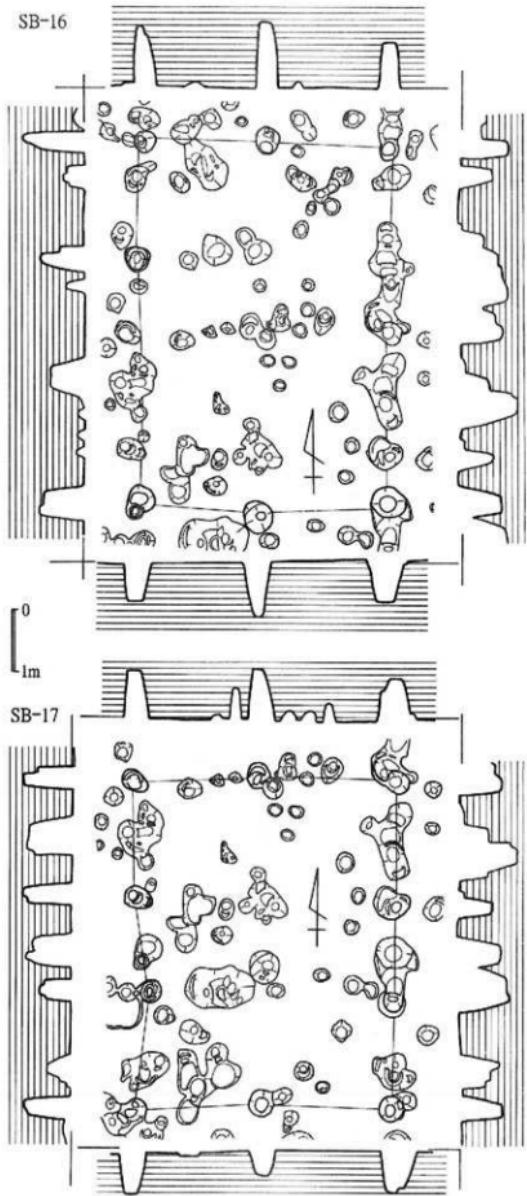
梁行 2 間 (3.94m)、桁行 3 間 (6.66~6.80m) の南北方向の建物である。柱穴の規模は、直径27~52cm、深さ38~96cmを測る。主軸方位は、N である。

### S B-15 (第13図)

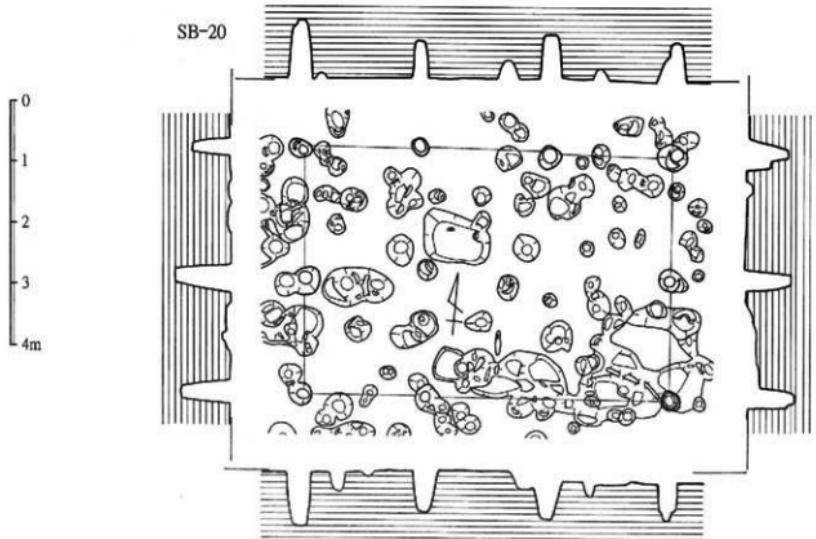
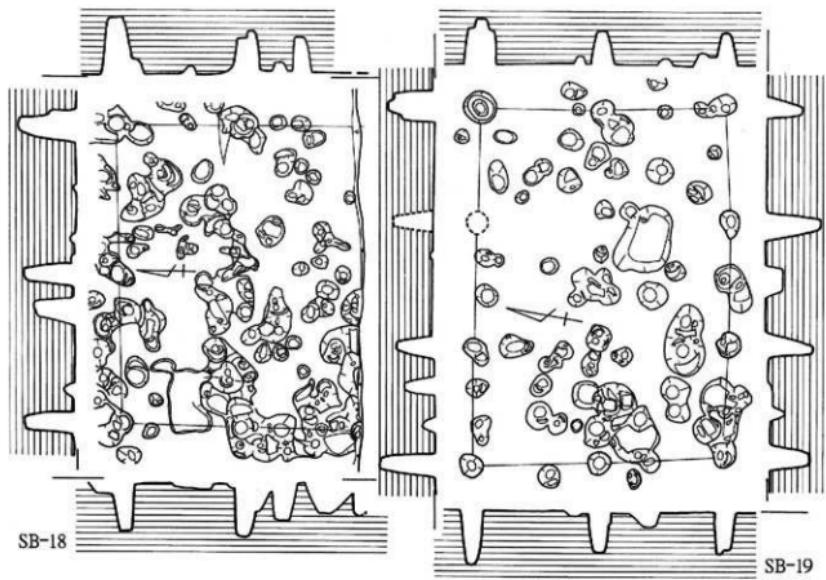
梁行 2 間 (4.46m)、桁行 4 間 (7.96m) の東西方向の建物である。柱穴の規模は、直径28~47cm、深さ20~64cmを測る。主軸方位は、E 8°N である。

### S B-16 (第14図)

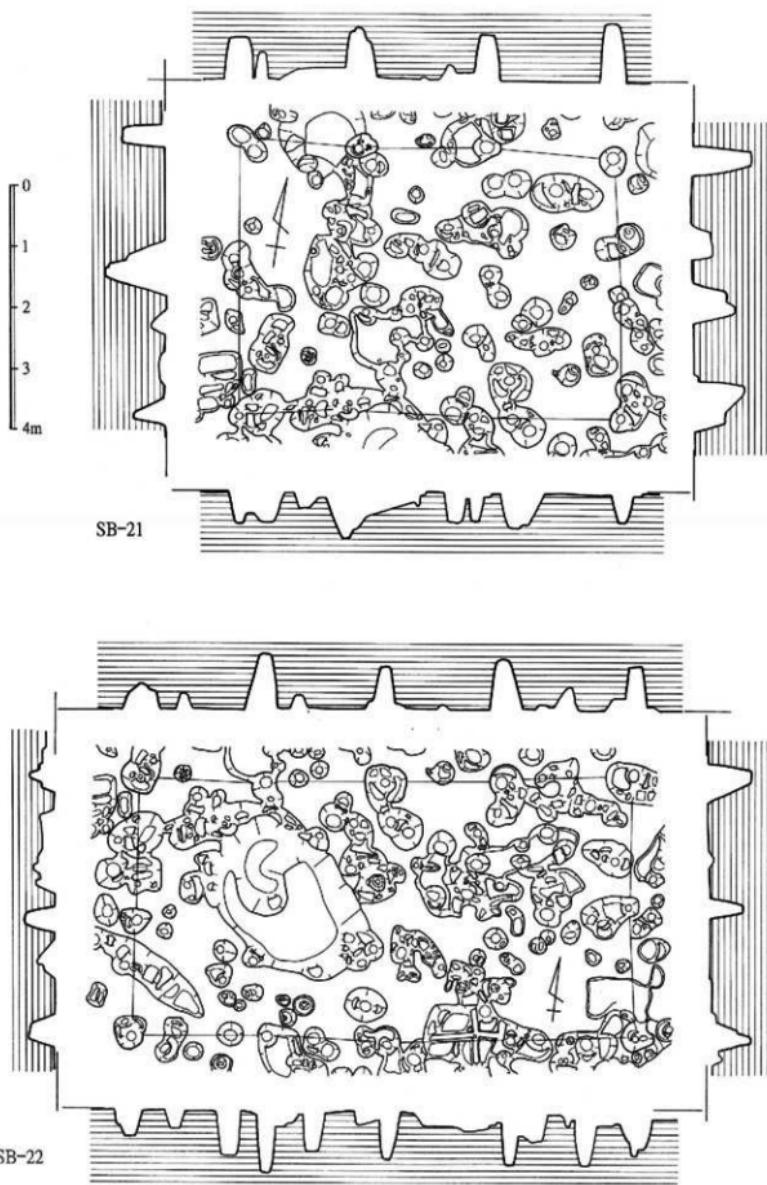
梁行 2 間 (4.0m)、桁行 3 間 (5.86m) の南北方向の建物で、柱穴の規模は、直径30~56cm、



第14図 S B-16・17 遺構実測図



第15図 S B-18~20 遺構実測図



第16図 S B-21・22 遺構実測図

深さ53~109cmを測る。主軸方位は、N 3°Eである。

S B-17 (第14図)

梁行2間(4.16~4.22m)、桁行3間(5.30m)の南北方向の建物である。柱穴の規模は、直径32



第17図 S B-23~25 遺構実測図

～43cm、深さ41～80cmを測る。主軸方位は、N 1°Eである。

#### S B-18 (第15図)

梁行2間(3.76m)、桁行2間(4.90m)の東西方向の建物である。柱穴の規模は、直径32～48cm、深さ65～93cmを測る。主軸方位は、E 2°Nである。

#### S B-19 (第15図)

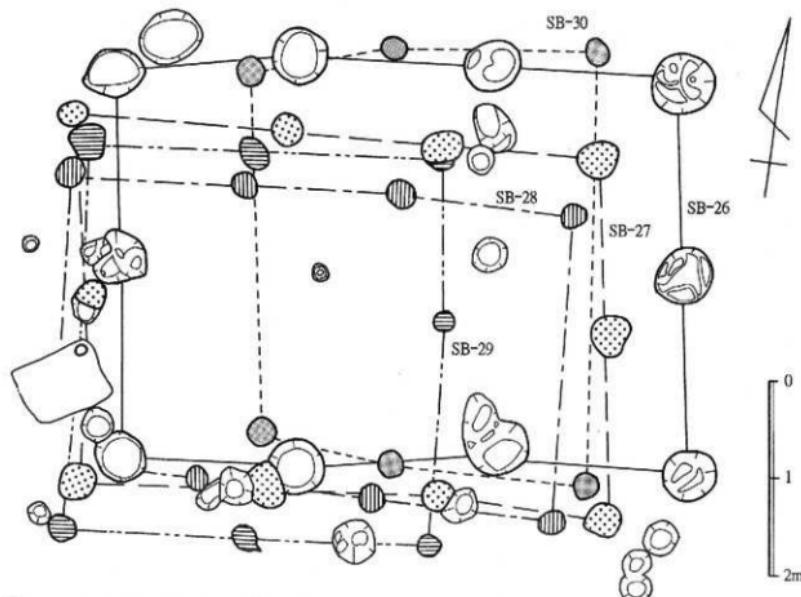
梁行2間(3.94～4.0m)、桁行3間(5.70～5.88m)の東西方向の建物である。柱穴の規模は、直径36～51cm、深さ52～90cmを測る。主軸方位は、E 9°Nである。

#### S B-20 (第15図)

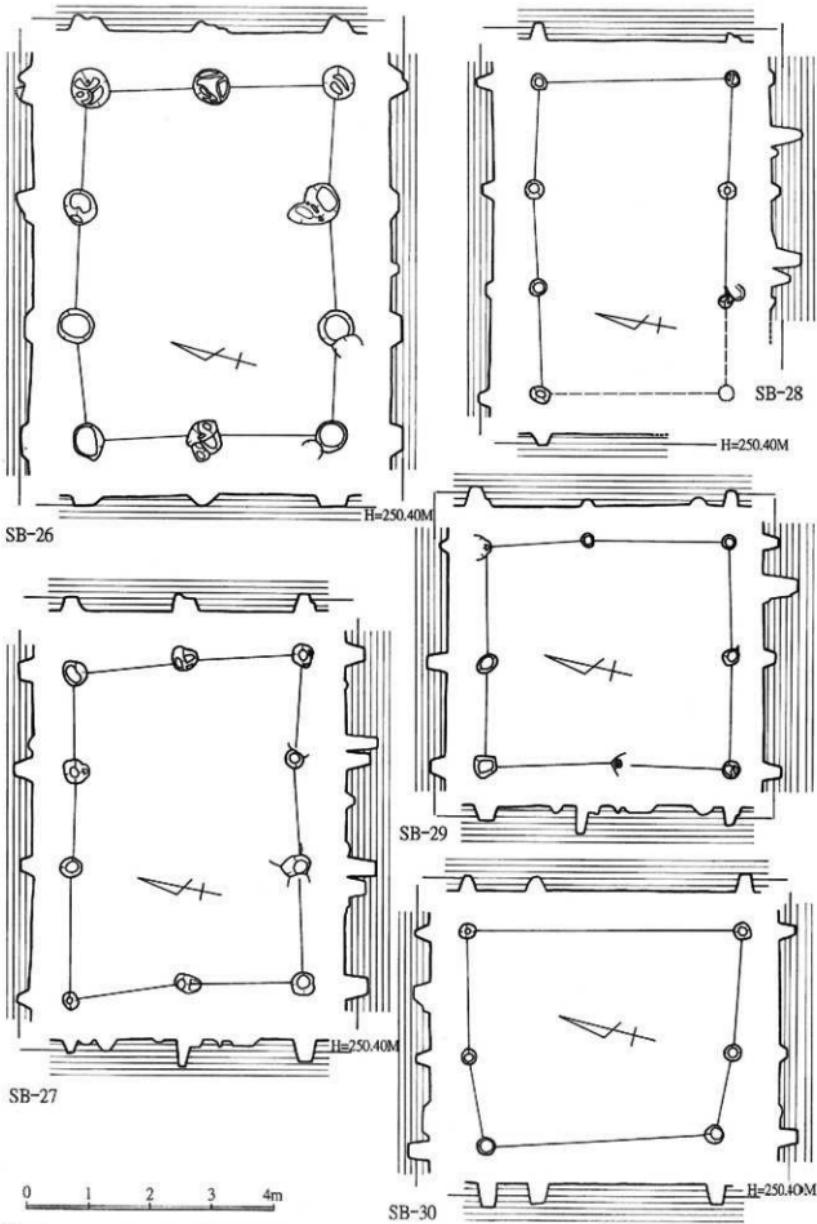
梁行2間(4.0m)、桁行3間(5.90～6.0m)の東西方向の建物である。柱穴の規模は、直径26～50cm、深さ60～95cmを測る。主軸方位は、E 5°Nである。

#### S B-21 (第16図)

梁行2間(2.28～2.56m)、桁行3間(6.0～6.16m)の東西方向の建物である。柱穴の規模は、



第18図 S B-26～30 分布状態



第19図 S B-26~30 遺構実測図

直径30~48cm、深さは46~100cmを測る。主軸方位は、E 9°Nである。

#### S B-22 (第16図)

梁行2間(2.30m)、桁行4間(8.0~8.13m)の東西方向の建物である。柱穴の規模は、直径31~64cm、深さ42~100cmを測る。主軸方位はE 7°Nである。

#### S B-23 (第17図)

梁行1間(2.80~2.92m)、桁行2間(3.98~4.04m)の南北方向の建物である。柱穴の規模は、直径28~44cm、深さ44~86cmを測る。主軸方位は、N 2°Wである。

#### S B-24 (第17図)

梁行1間(2.0~2.06m)、桁行2間(3.92~4.08m)の南北方向の建物である。柱穴の規模は、直径24~44cm、深さ48~64cmを測る。主軸方位は、N 6°Wである。

#### S B-25 (第17図)

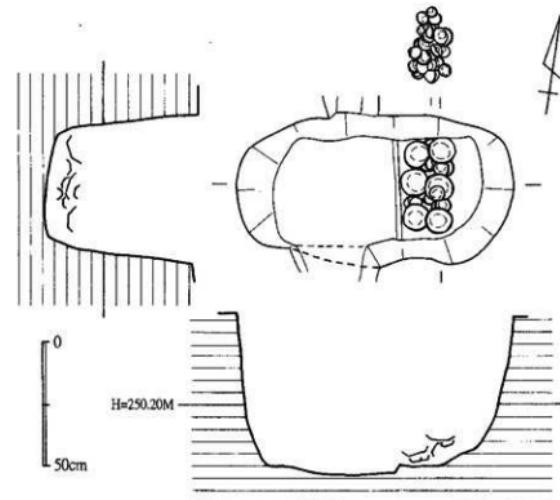
梁行2間(4.06m)、桁行3間(6m前後)の東西方向の建物である。柱穴の規模は、直径37~45cm、深さ60~84cmを測る。主軸方位は、E 8°Nである。

#### S B-26~30 (第18図)

II区の北西部において検出した建物で、4度建て替えられ、徐々に規模が縮小していく。

#### S B-26 (第19図)

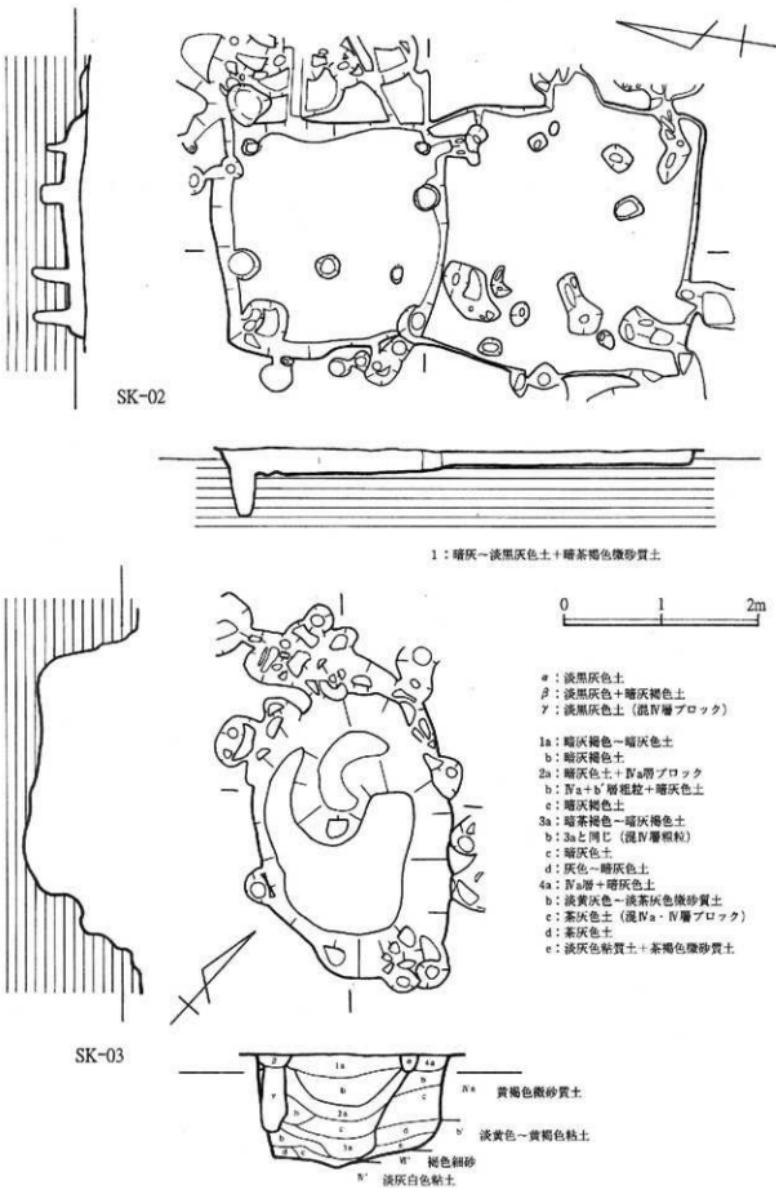
梁行2間(3.96~4.0m)、桁行3間(5.70m)の東西方向の建物である。柱穴の規模は、直径48~67cm、深さ12~27cmを測る。直徑に對して、異常に浅い柱穴である。主軸方位は、E 13°Nである。



#### S B-27 (第19図)

梁行2間(3.70~3.80m)、桁行3間(5.30m)の東西方向の建物である。柱穴の規模は、直径21~40cm、深

第20図 S K-05 遺構実測図



第21図 SK-02・03 遺構実測図

さ22~49cmを測る。主軸方位は、E 10°Nである。

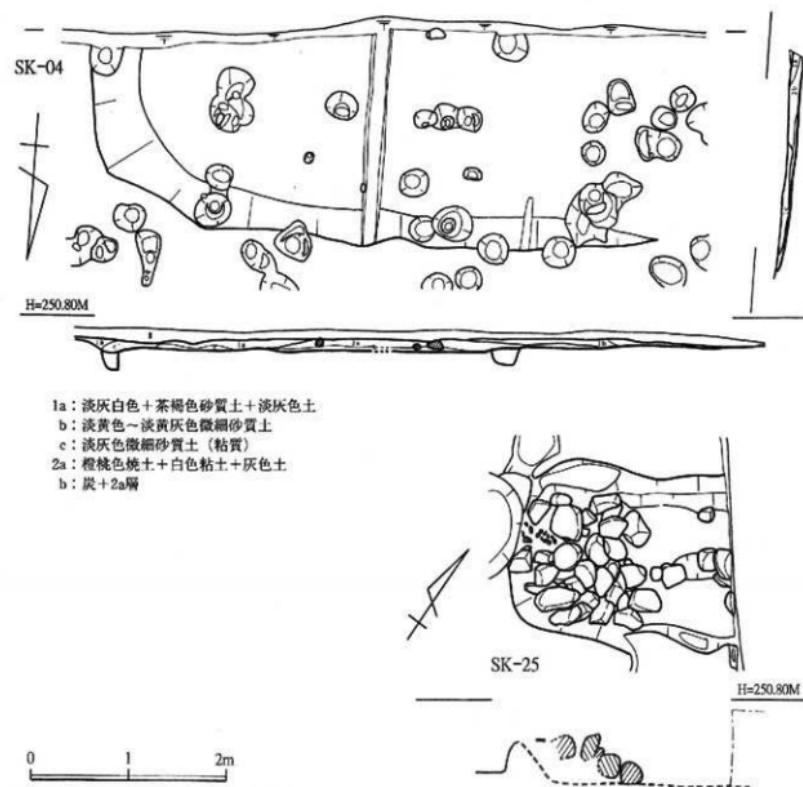
S B-28 (第19図)

梁行1間(3.0~3.12m)、桁行3間(5.1m)の東西方向の建物である。柱穴の規模は、直径22~30cm、深さ10~30cmを測る。主軸方位は、E 10°Nである。

S B-29 (第19図)

梁行2間(3.58~3.70m)、桁行2間(3.90m)の南北方向の建物である。柱穴の規模は、直径19~36cm、深さ10~32cmを測る。主軸方位は、N 13°Wである。

S B-30 (第19図)



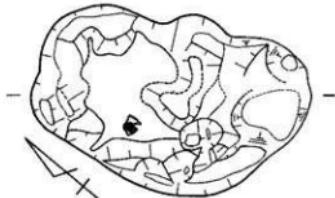
第22図 S K-04・25 遺構実測図

梁行2間(3.32~3.50m)、桁行1間(3.74~4.44m)の建物である。柱穴の規模は、直径22~29cm、深さ13~38cmを測る。主軸方位は、N13°Wである。

#### その他の掘立柱建物跡

S B-09~14・16・17周辺は2~4回の建て替えが行なわれ、S B-22・23周辺は柱穴の過密により、復元しえない建物跡が数10棟存在する。

土坑は、豊穴状遺構1基(S K-04)のほか、長方形の浅く大きいタイプ1基(S K-02)、楕円形を呈し深く大きいタイプ1基(S K-03)、直径1m内外の円形タイプ(I区南東部~II区北東~南西部)数10基(明らかに土壙墓と断定されるものの数基を含む)、不整楕円形のタイプ(S K-01)、さらには祭祀土坑1基(S K-05)などがある。



第23図 SK-01 遺構実測図

#### S K-05 (第20図)

III区東南部、S B-09・10の南梁部付近に位置し、長軸方向も同じである。

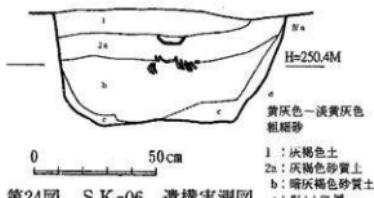
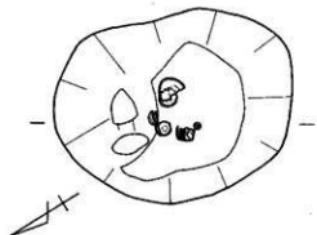
長径113cm、短径50~62cmの楕円形を呈し最深部は66cmを測る。底面中央やや東寄りは1段(4cm)高く掘り残され、幅40cm・奥行き23cmの範囲において、土師質土器の壊6点と小壺27点を検出した。

壊6点は2列に並び、左奥(北東端)の壊以外の中には、焼け灰(径2mm程度の植物質)が入り、中央奥の壊の上には小壺1点が灰の上に置いてあった。

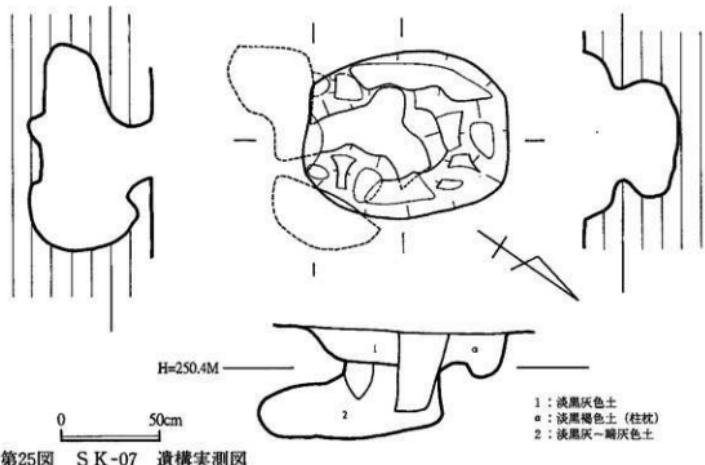
小壺1点と壊6点を除去すると、小壺26点が折り重なっていた。この小壺の中には、有機物は確認されていない。

壊は、口径11.1~11.9cm、底径6.0~6.9cm、高さ3.6~4.3cm、すべて糸切り底であり(第44図)、488以外は極めて類似した法量である。小壺は、口径5.8~6.4cm、底径2.8~3.7cm、高さ2.2~2.8cmと、やや不統一であるが、全て糸切り底である。

小壺は、おそらく、地鎮祭での御神酒を飲んだ器



第24図 SK-06 遺構実測図



第25図 SK-07 遺構実測図

で、使用後は段の上に投げ置いた様子が窺える。その後、壙6点を2列に並べ、御幣を燃やして建築の無事を祈願したものと思われる。

#### S K-02 (第21図)

Ⅲ区の西側、SD-01に南西端を切られた、長さ5.0m、幅2.4~2.6mの略長方形を呈する。南半部は深さ14cm前後で、北半部は1段下がり22~25cmを測る。完掘後の状況は、2基の竪穴状遺構を重複し各々4隅に柱穴がある状況であるが、検出時や断面層序での切り合いは認められなかった。

現時点では、拡幅による結果、長方形を呈していると判断したい。出土遺物は少ないが、土師質土器の皿(449)や青磁の碗(498)などから、15世紀中葉頃の遺構と考えられる。

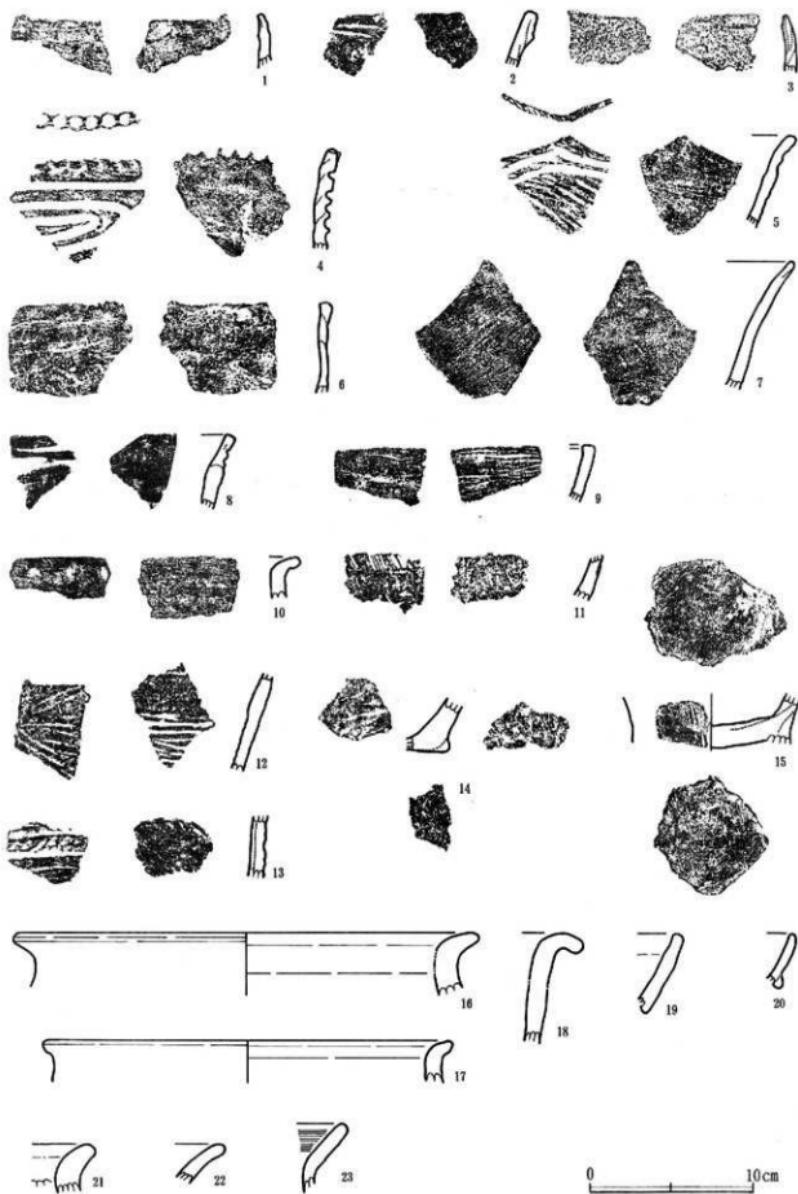
#### S K-03 (第21図)

長径3.2~3.3m、短径2mの梢円形を呈し、最深部は1.2mを測る。断面観察から、掘り直しを確認し、ゆっくりと埋没していくことが判明したが、出土遺物は少ない。機能は判然としないが地下倉庫的な遺構だと思われる。

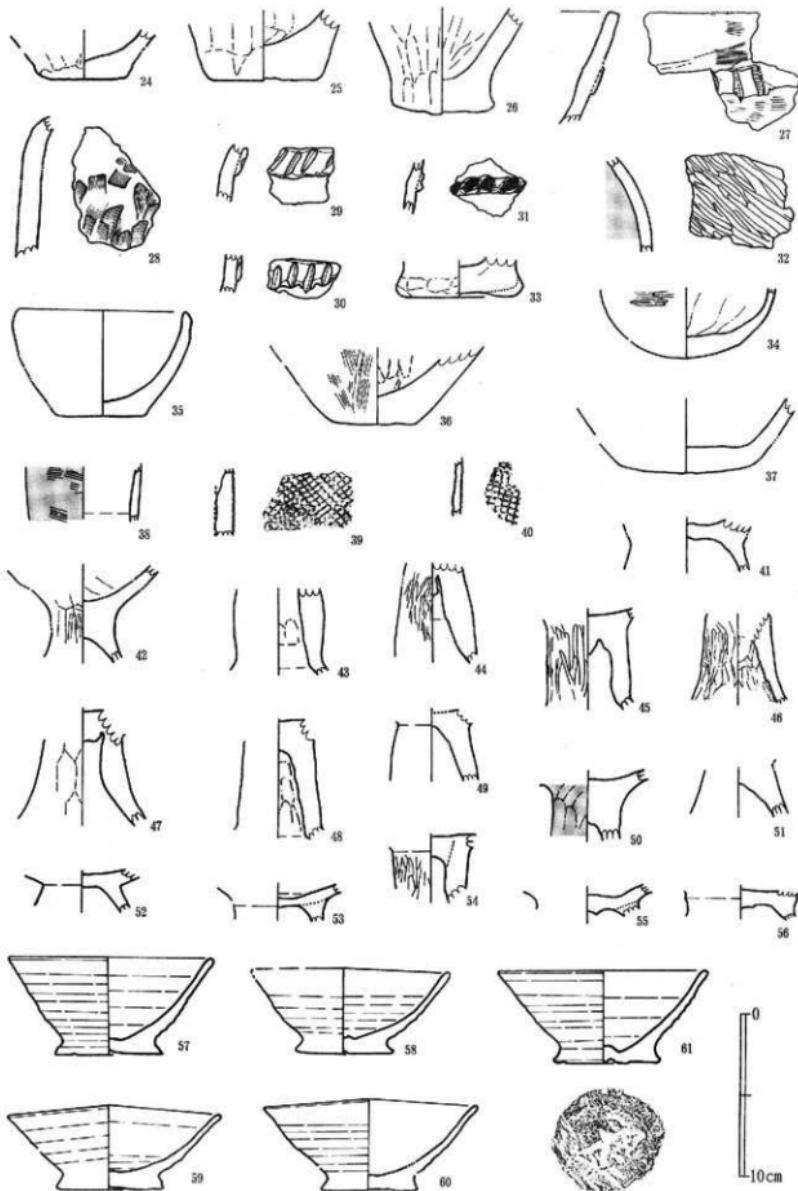
#### S K-04 (第22図)

Ⅲ区の中央南端で検出した、1辺6m前後の竪穴状遺構であるが、後世の開墾により、基底部しか遺存していない。遺構は焼失したらしく、炭片と焼土が多くみられた。北側の掘り肩から40~60cmに位置する直径28cm前後・深さ6~15cmの小柱穴が底面で検出された。

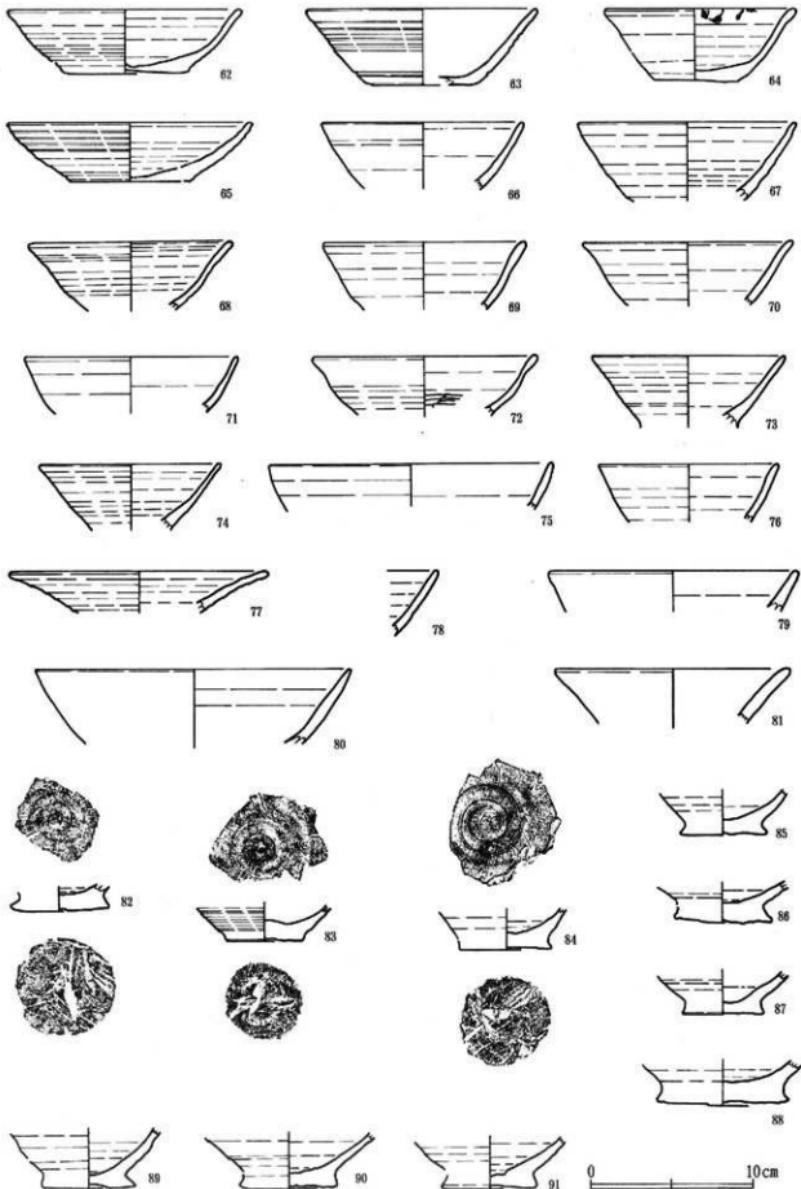
遺構覆土より、15世紀頃と推定される。



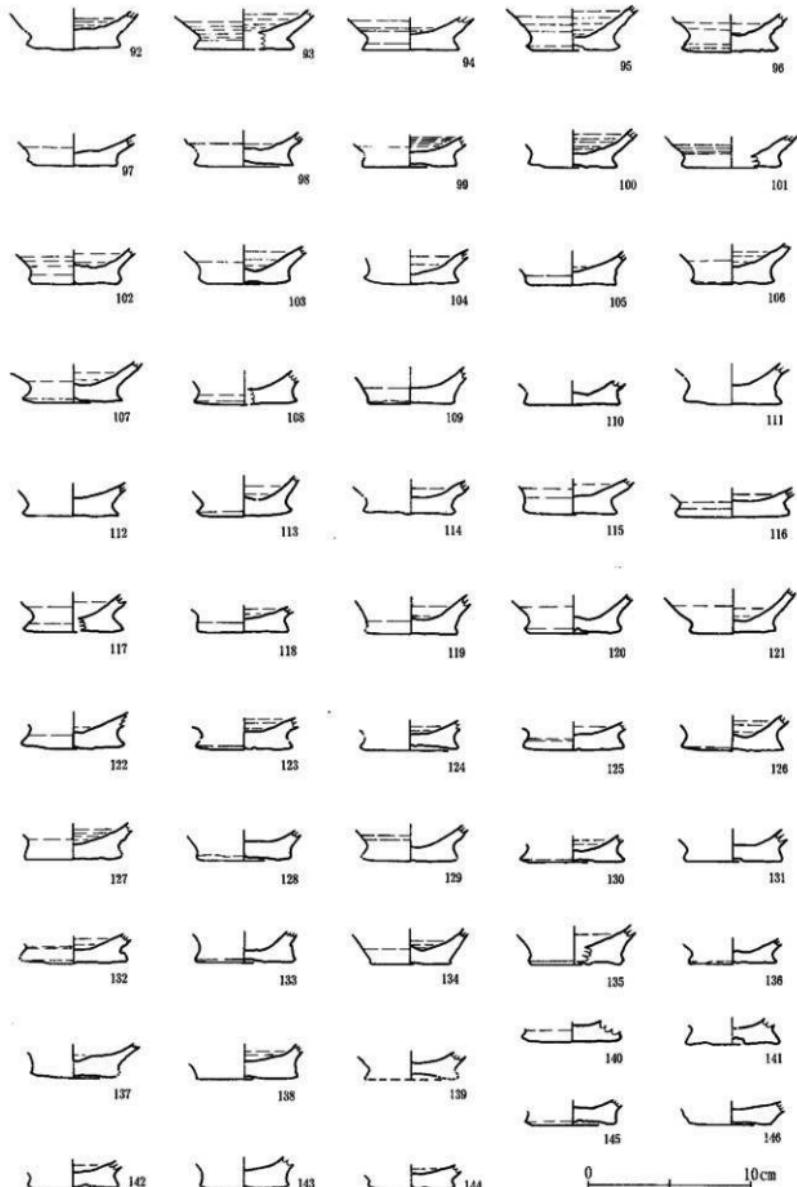
第26図 SX-01 出土遺物実測図（1） 繩文・弥生土器



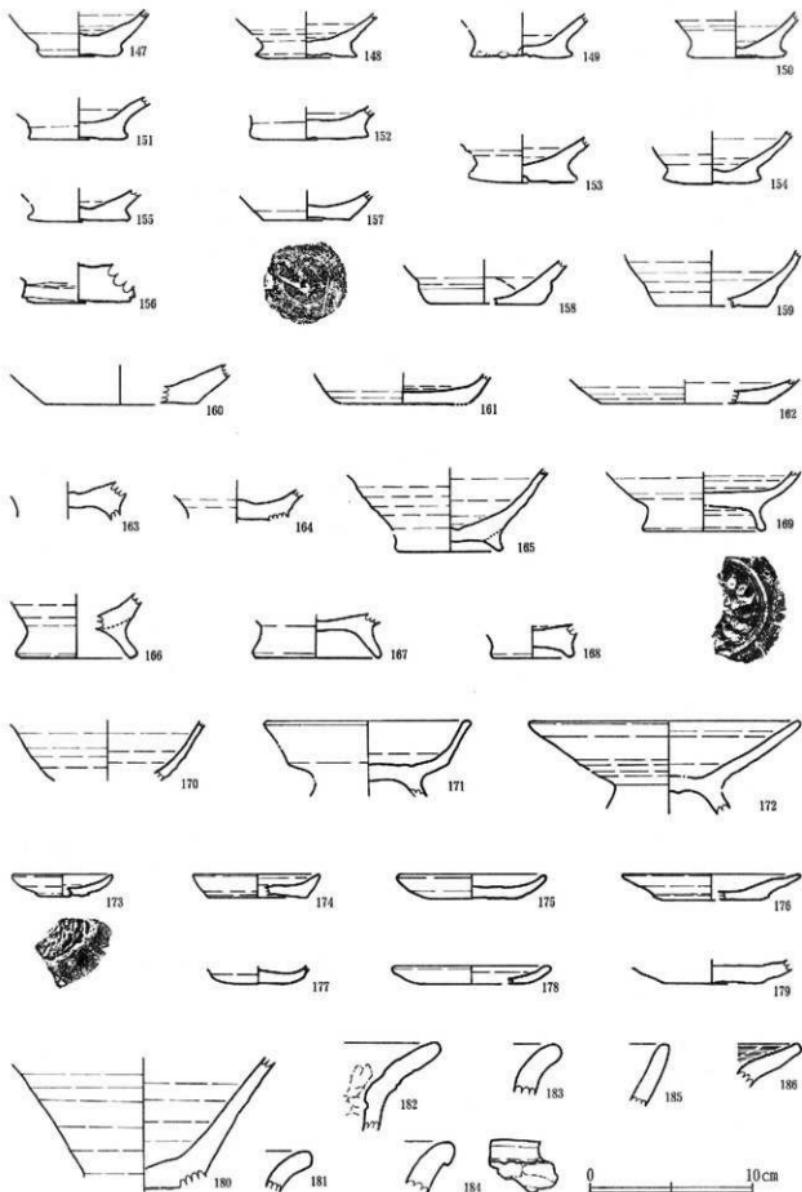
第27圖 SX-01 出土遺物實測圖（2） 土師器（1）



第28図 S X-01 出土遺物実測図（3） 土器（2）



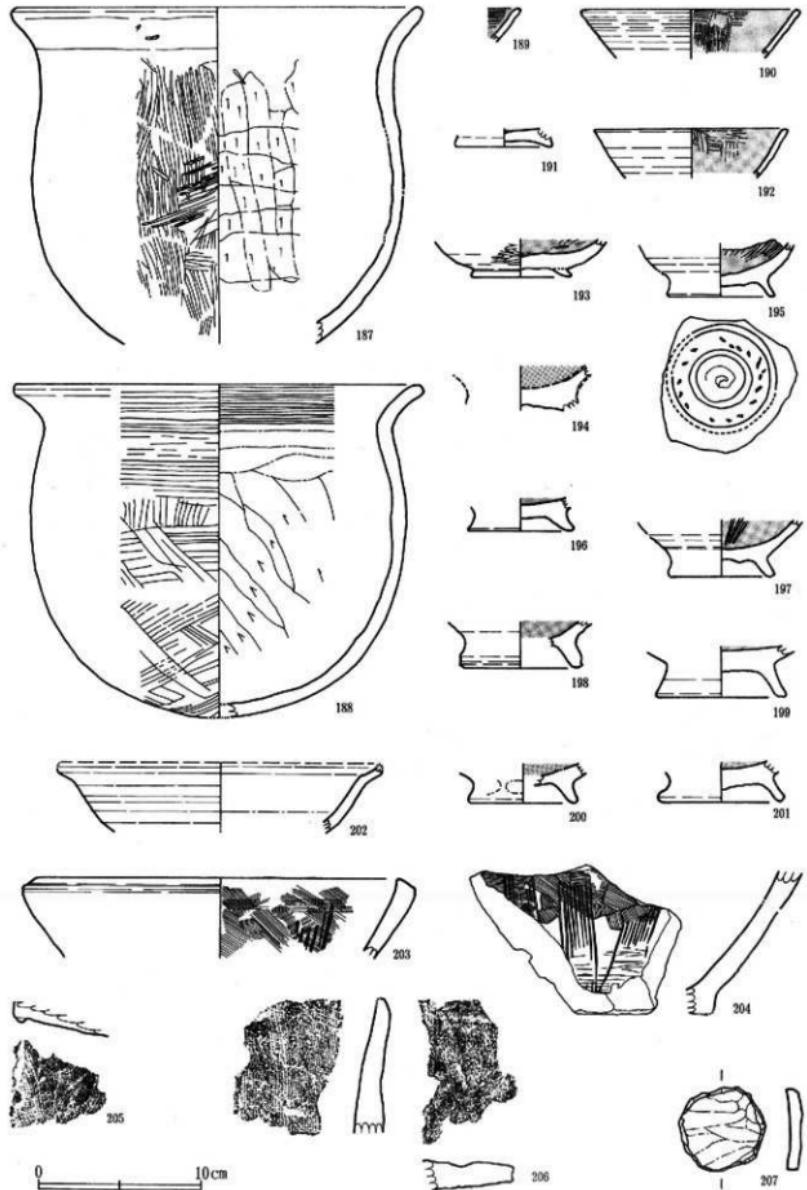
第29図 S X-01 出土遺物実測図 (4)  
土師器 (3)



第30図 S X-01 出土遺物実測図 (5)

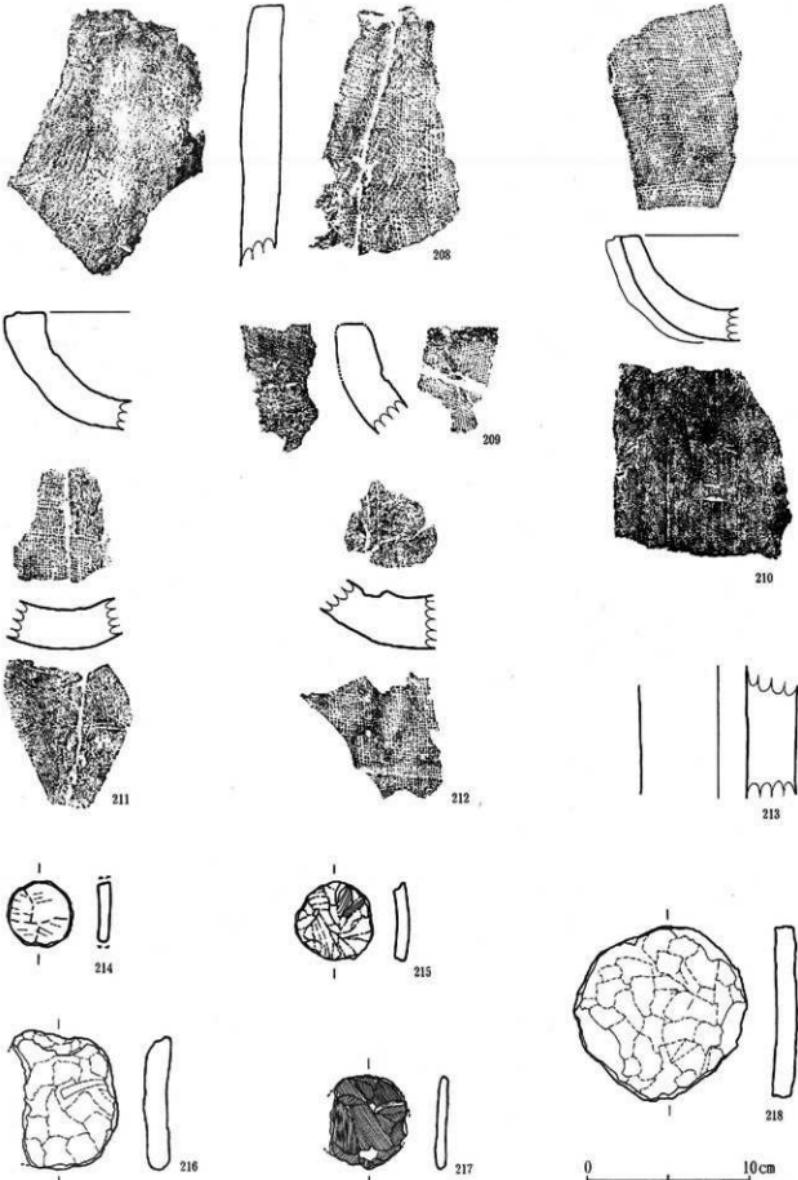
土師器 (4)

174・175は糸切り



第31図 SX-01 出土遺物実測図 (6)

土師器・黒色土器・灰釉陶器・擂り鉢・布目瓦・土器片円盤



第32図 SX-01 出土遺物実測図 (7)

布目瓦 (2)・繩の羽口・土器片円盤

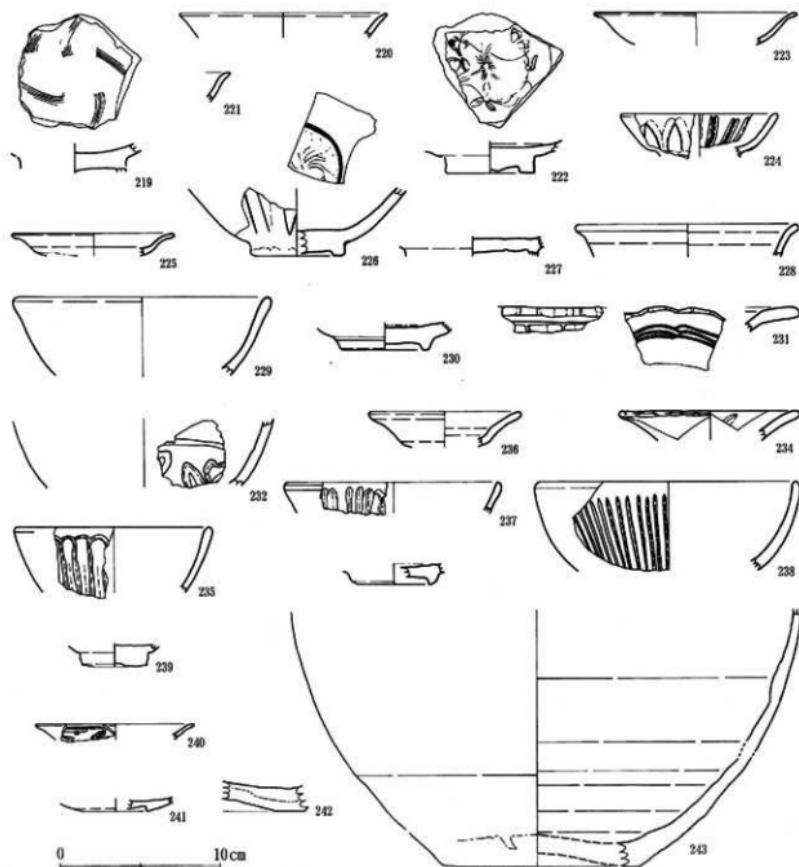
S K -25 (第22図)

II区の北東部で検出した、長さ2.3m以上、幅1.8m前後の土坑で、深さは42cmを測る。底面の東側は、幅26cm前後・深さ2~3cmの溝状掘り込みがある。

西側には、被熱した人頭大の礫と炭片が集中していた。骨片は発見されなかったが、火葬施設の可能性があると思われる。覆土より、16~17世紀頃の遺構と推定する。

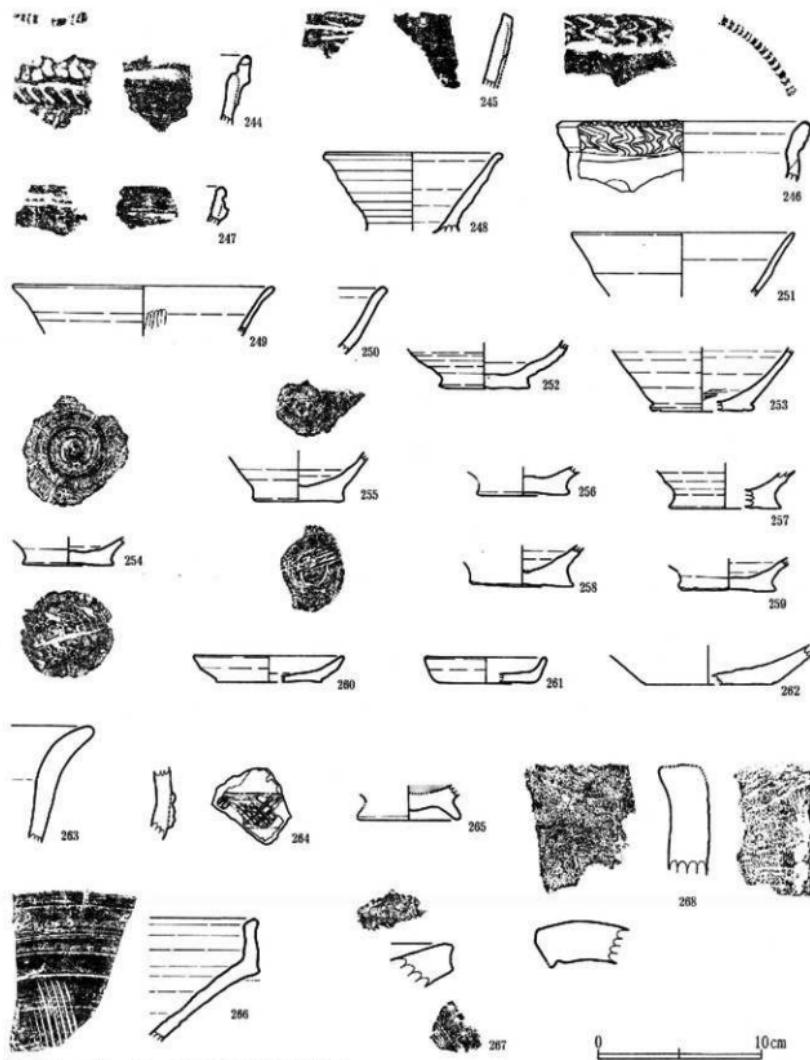
S K -01 (第23図)

I区の東端中央部で検出した、長径1m、短径60~70cmの不整椭円形を呈する土坑で、最深部は21cmを測る。底面は凹凸が激しく、粗掘りのままである。底面中央寄りにおいて、銅鏡22枚が燃り



第33図 S X -01出土遺物実測図 (8) 漢入陶磁器

紐で縛められ、木箱に収めたと思われる状態で出土した。主軸が北向きであること、上部数10cmが削平されており本来は70~80cmの深さが想定されることなどから、土壌墓であると思われる。錢貨の最も新しいものは洪武通宝であり、14世紀後半頃の構築と推定される。



第34図 I区 II ~ IVa層出土遺物実測図